

公益財団法人日本モンキーセンター 事業方針

この法人は定款第4条の定めるところにしたがい、以下の事業をおこなう。

1. 公益事業

- (1) 霊長類に関する総合的な調査研究
- (2) 霊長類の保護及びその生息地の保全に関わる活動
- (3) 霊長類に関する環境教育並びに社会普及活動
- (4) 霊長類に関する図書及び学術誌の刊行
- (5) 霊長類の標本等の資試料の収集・管理及び展示
- (6) 霊長類の福祉に配慮した動物園の設置及び経営
- (7) 霊長類の適切な飼育・展示並びにこれに関する技術的指導及び協力
- (8) 霊長類に関する研究会、講演会の開催
- (9) 霊長類等に関する展示、保全、環境教育及び社会普及活動に関わる人材の育成
- (10) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2. 収益事業

- (1) 動物園における物品並びに飲食物販事業
- (2) 所有する土地・建物の賃貸事業
- (3) その他動物園等に関連する収益事業

I 公益事業

(1) 調査研究

1. 霊長類に関する調査研究の実施

- (1) 霊長類をはじめとする野生生物の社会行動の研究
- (2) 霊長類をはじめとする野生生物の進化に関する研究
- (3) 霊長類をはじめとする野生生物の形態学的研究
- (4) 霊長類をはじめとする野生生物の生態学的研究
- (5) 霊長類をはじめとする野生生物の遺伝学的研究
- (6) 霊長類をはじめとする野生生物の保全研究
- (7) 霊長類の福祉に配慮した飼育管理に関する研究
- (8) 霊長類の福祉に配慮した獣医療に関する研究
- (9) 霊長類を中心とした教材開発に関する研究
- (10) 霊長類標本の作成・管理に関する研究並びに研究利用
- (11) 霊長類の生体及び標本を活用した連携研究の推進
- (12) 研究会等の積極的参加による情報の交換と収集
- (13) 霊長類稀少種の繁殖に関する研究
- (14) 市民参加による霊長類をはじめとした生物多様性の保全に関わる基礎研究

2. 研究倫理ガイドライン

2016年4月1日より施行

外部委員含む7名からなる研究倫理委員会を設置

3. 外部研究費による研究活動（モンキーセンター受入分）

- (1) 日本学術振興会科学研究費基盤研究C（2023～2026年度）
代表者：赤見理恵
分担者：高野智
課題名：動物園と高等学校等の連携による「総合的な探求の時間」の実践
- (2) 日本学術振興会科学研究費基盤研究C（2021～2025年度）
代表者：打越万喜子
課題名：動物園の利用者と動物の双方に適したサウンドスケープの探索
- (3) 日本学術振興会科学研究費基盤研究C（2025～2028年度）
代表者：打越万喜子
課題名：インクルーシブな動物園を目指して多様な利用者と動物の心をアイ・トラッキングで探る
- (4) 日本学術振興会科学研究費基盤研究B（2024～2028年度）
代表者：山梨裕美（京都市動物園）
分担者：林美里
課題名：動物園動物の「生きる」をサポートするシステムの開発
- (5) 公益財団法人トヨタ財団 2023 研究助成プログラム（2023～2025年度）
代表者：山梨裕美（京都市動物園）
分担者：林美里
課題名：動物園でかたちづくる人と動物の共生の形：動物福祉の評価と実践

- (6) 中部大学「問題複合体を対象とするデジタルアース
共同利用・共同研究拠点」共同研究（2025 年度）
代表者：赤見理恵
課題名：妙高笹ヶ峰におけるニホンザル分布拡大と環境
変化モニタリングへのデジタルアースの活用

4. 他機関との連携

- (1) 京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科との共同研究
研究題目：野生霊長類とその生息地の保護保全活動の
ための情報及び技術の相互交換
- (2) 大型類人猿情報ネットワーク（GAIN）との連携
武田康祐
- (3) 地球規模生物多様性情報機構（GBIF）およびサイエンス
ミュージアムネットへの標本情報の提供
- (4) 環境省生物多様性センター モニタリングサイト 1000
里地調査の実施（S118 犬山地域：日本モンキーセンター
哺乳類調査グループ）
園敷地内 3ヶ所にセンサーカメラを設置
設置期間：2025 年 5 月 21 日～8 月 14 日
2025 年 10 月 20 日～2026 年 1 月 4 日
撮影された哺乳類（数字は撮影頭数）：
イノシシ 174、アライグマ 35、タヌキ 34、
キツネ 30、ハクビシン 18、ニホンザル 7、
カモシカ 2、ノウサギ 2、テン 2、イタチ類 1、
ネズミ類 1

5. 研究業績

(1) 論文他

- Hattori Y, Voinov P, Uchikoshi M. (2026) Combinatorial
instrumental sound-making in a captive chimpanzee:
Evolution of vocal externalization. *Annals of the New
York Academy of Sciences.* 1557, no. 1: e70239. doi:
10.1111/nyas.70239
- Kitayama H, Shirai A, Nemoto K, Tawa Y, Watanuki K,
Hayakawa T. (2025) Population genetics of captive spider
monkeys in Japan for ex situ conservation. *Primates.* 66:
375-389. doi: 10.1007/s10329-025- 01192-6
- Otsuru M, Ito A, Oishi M, Takano T, Endo H, Hirasaki
E, Ogihara N. (2025) Anatomical factors restricting
hip extension range of motion in Japanese macaques
and spider monkeys. *Journal of Human Evolution.* 208:
103749. <https://doi.org/10.1016/j.jhevol.2025.103749>.
- Tachikawa R, Watanuki K, Shintaku Y, Okabe N, Takeda
K, Hirose D. (2025) *Malassezia japonica* isolated
from the cerumen of Cercopithecidae and Hylobatidae.
Medical Mycology. 63: myaf078. doi: 10.1093/mmy/
myaf078
- Tanaka R, Takano T, Hirasaki E, Ogihara N. (2026)
Morphological variation in the manual distal phalanges
of chimpanzees (*Pan troglodytes*) in relation to tool-
use behavior. *Journal of Human Evolution.* 210(2026):
103787. doi: 10.1016/j.jhevol.2025.103787.

- Yamanashi Y, Ikkatai Y, Honjo M, Tokuyama N,
Akami R, Wilson DA, Buchanan-Smith HM. (2025)
A comparison of attitudes towards animal welfare
between British and Japanese zoo visitors: Where
and when do cultural differences diverge? *PLOS One.*
20(4): e0320241. doi: 10.1371/journal.pone.0320241.
湯本貴和. (2025) 日本の草原研究と実践の現状. 地域自
然史と保全. 47: 73-76.
湯本貴和. (2025) ヤクシカ個体群管理問題の社会的受容
と科学者の役割. 地球環境. 30: 113-118.

(2) 書籍

- 林美里. (2025) 霊長類の道具使用. In: 日本動物行動学会
(編) 動物の行動と心の事典. pp. 338-339. 朝倉書店.
林美里. (2025) 霊長類学の視点から人間の「言語」を考
える. In: 折田奈甫, 藤井友比呂, 小野創 (編著). 言語
能力は人工知能で解明できるか. pp. 22-26. 岩波書店.
講談社 (編), うめざわしゅん (作品監修), 湯本貴和 (本
文監修). (2025) ヒトとサルの境界線. 159 pp. 講談社.
湯本貴和. (2025) 総説. In: 湯本貴和ほか (編). 図説
日本の里山—73 の里山のくらしと生物多様性. pp.1-
19. 朝倉書店.
湯本貴和. (2025) 松之山・松代. In: 湯本貴和ほか (編).
図説 日本の里山—73 の里山のくらしと生物多様性.
pp.68-69. 朝倉書店.
湯本貴和, 佐久間大輔, 鎌田磨人, 原慶太郎 (編). (2025)
図説 日本の里山—73 の里山のくらしと生物多様性.
170 pp. 朝倉書店.

(3) 連載・記事（モンキー掲載分を除く）

- ① 湯本貴和 小学館 BE-PAL Web 版
『湯本貴和の「野生を喰らう」』
どんな味？熱帯果実初級編のマンガスチンと
ランブータンを食べてみよう！ 2025 年 4 月 3 日
様々な種類があるボルネオのトロピカルフルーツ。
中級編はランバイとランサーだ！ 4 月 10 日
「熱帯果実の王様」ドリアンはトロピカルフルーツ
上級編！どんな味？ボルネオで日本の若者が
食べたなら!? 4 月 17 日
料理旅館「出羽屋」の絶品山菜料理！修験者を迎えて
きた旬の味を食す 5 月 18 日
マタギが白神山地で採った山菜は 11 種類！
早速、山菜鍋でいただいた 5 月 25 日
ボルネオ島のサラワク州で、なかなか味わえない
先住民族の家庭料理にたどり着いた！ 6 月 17 日
ボルネオ島サラワク州の州都クチンは多彩な食を
生み出す。とくに朝食がいいぞ！ 6 月 22 日
ボルネオ島は海鮮料理天国！海や川の豊かで新鮮な
食材と華人たちの出会いが生んだ奇跡 6 月 29 日
琵琶湖・淀川水系にしか生息しなくなったハスを
最後の専門料理店で食した！ 9 月 24 日
琵琶湖の固有種のビワマス。学術上の手違いから
長い間なかった学名が今年ついた！ 9 月 26 日
ビワマスを狙う若き漁師に同行し、不漁続きの
琵琶湖の状態を湖上から体験した！ 9 月 28 日
かつて日本中で獲られ、食されていたボラ。各地に
残る漁法からボラを“食べる”歴史をひもとく

2026 年 1 月 14 日

カラスミを珍重しつつボラを「くさい」魚にした現代人

1月21日

今も残る貴重な「ボラ」の郷土料理と刺身を食べに行った！

1月28日

② 犬山市 広報犬山 「モンキーレポート」

第95回 バックヤードでくらす事情をかかえた
カニクイザル

2025年4月号 奥川みらい

第96回 5月の第1週は“国際マカク週間”

2025年5月号 浮瀬百々香

第97回 未来にジャンプ! Wao ランド

2025年6月号 綿貫宏史朗

第98回 スンダスローロリスが犬山にやってきた!

2025年7月号 土性亮賀

第99回 泳ぐ?泳がない?海とサルの意外な関係

2025年8月号 赤見理恵

第100回 「自然への窓」としての動物園を目指して

2025年9月号 湯本貴和

③ 犬山市 広報犬山 「モンキーヒストリー」

第1回 モンキーセンター70周年に向けて

2025年10月号 綿貫宏史朗

第2回 「若い太陽の塔」が見つめた半世紀

2025年11月号 今井由香

第3回 たき火にあたるサル 伊勢湾台風から始まる歴史

2025年12月号 赤見理恵

第4回 猿二郎館と猿と馬

2026年1月号 新宅勇太

第5回 モンキーワークの20年

犬山の子どものための学びの場として

2026年2月号 高野智

第6回 官林の相生山に動物園が開園!

2026年3月号 綿貫宏史朗

(4) そのほか執筆

伊沢紘生, 筒井颯, 赤見理恵. (2026) 石川県内の野生ニホンザルの個体群動態について. 石川県自然保護センター報告書.

高野智. (2025) 支“猿”者に支えられる 博物館. 文化庁広報誌「ぶんかる」いきいきミュージアム 095. 2025年8月28日公開.

(5) 書籍の編集協力

① 食べた後どうなっているのか図鑑 動物の消化器の秘密 (アイナ・ベスタール 著, 五十嵐加奈子 訳, 日経ナショナル ジオグラフィック, 2025年12月8日発行)

綿貫宏史朗 (監修)

② ニホンザルですが、このたび転職します—とある若ザルの成長ストーリーからみる生態と社会

(都丸亜希子 著, 緑書房, 2026年3月31日発行)

伊谷原一 (監修), 赤見理恵, 辻内祐美 (写真提供)

6. 学会参加

(飼育部、学部のみ。JMC で開催したものを除く)

(1) 第41回日本霊長類学会大会

日程: 2025年7月11日~7月13日

会場: 早稲田大学早稲田キャンパス (東京都新宿区)

林美里, 高野智, 赤見理恵, 新宅勇太

(2) The 30th International Primatological Society Congress

日程: 2025年7月20日~7月25日

会場: Novotel Antananarivo (アンタナナリボ, マダガスカル)

打越万喜子 (現地参加), 林美里 (オンライン参加)

(3) 日本哺乳類学会 2026年度大会

日程: 2025年8月22日~8月25日

会場: 酪農学園大学 (北海道江別市), 札幌教育文化会館 (北海道札幌市)

新宅勇太

(4) 第31回日本野生動物医学会大会

日程: 2025年9月26日~9月28日

会場: アイーナ・いわて県民情報交流センター (岩手県盛岡市) 綿貫宏史朗, 武田康祐, 小谷真智子

(5) The 19th International Symposium on Primatology and Wildlife Science

日程: 2025年11月17日~11月18日

会場: 京都大学理学セミナーハウス (京都府京都市)

新宅勇太

(6) 第27回 SAGA シンポジウム

日程: 2025年11月29日

会場: 中央大学後楽園キャンパス (東京都文京区)

林美里, 赤見理恵, 綿貫宏史朗, 武田康祐, 高田晃行

(7) 第66回日本動物園水族館教育研究会いわき大会

日程: 2026年1月30日~1月31日

会場: アクアマリン福島 (福島県いわき市)

赤見理恵, 川原宇翔

(8) 第7回動物園水族館大学シンポジウム

日程: 2025年2月22日~2月23日

会場: 琵琶湖博物館 (滋賀県草津市)

新宅勇太 (現地参加)

赤見理恵, 江藤彩子 (オンライン)

7. 学会・研究会での発表 (プリマーテス研究会を除く)

赤見理恵. (2025) 霊長類に対する動物観の多様性 ~自由連想法による10年間の調査から~. 第41回日本霊長類学会大会. (東京都新宿区)

赤見理恵, 杉山茂, 松田一希, 杉田暁, 星野智紀, 川原宇翔. (2026) 妙高笹ヶ峰におけるニホンザル分布拡大と環境変化モニタリングへのデジタルアースの活用. 中部大学国際GISセンター問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点成果報告会. (愛知県春日井市)

赤見理恵, 高野智. (2026) 高等学校の探究学習における動物園の利用状況とニーズ調査. 第66回日本動物園水族館教育研究会いわき大会. (福島県いわき市)

赤見理恵, 綿貫宏史朗, 辻内祐美, 荒木謙太, 高野智. (2025) 「世界ニホンザルの日」4年間の成果と課題. 第27回 SAGA シンポジウム. (東京都文京区)

Hayashi M, Takeshita H. (2025) Cognitive precursors of human language: hierarchical combination in object

- manipulation in great apes and human children. XXX International Primatological Society Congress. (Virtual oral presentation)
- 林美里, 梅田裕介. (2025) 中部学院大学における日本モンキーセンターを活用した研究教育実践. 第 41 回日本霊長類学会大会. (東京都新宿区)
- 林美里, 梅田裕介. (2025) 中部学院大学における日本モンキーセンターを活用した環境教育実践. 第 27 回 SAGA シンポジウム. (東京都文京区)
- 堀川晴喜, 奥村文彦, 赤見理恵, 湯本貴和. (2025) 生息地研修を活かした福祉向上の一例～ヤクシマザルの枝葉給餌と被毛改善. 野生動物研究センター共同利用研究会 2025 秋. (京都府京都市)
- 川原宇翔, 川崎千穂, 堀川晴喜, 奥川みらい. (2026) 国際テナガザルの日と世界キツネザルの日を合わせた「ギボレムまつり」開催について. 第 66 回日本動物園水族館教育研究会いわき大会. (福島県いわき市)
- 小谷真智子, 平栗明実, 宮部貴子, 兼子明久, 足立幾磨, 片桐成二, 柳川洋二郎. (2025) 雌チンパンジーにおける合成ジェスタージェン製剤による繁殖抑制効果と製剤切替の影響の評価. 第 31 回野生動物医学学会大会. (岩手県盛岡市)
- 新宅勇太. (2025) 伊谷純一郎氏の研究資料のアーカイブ化に向けた取り組み. 第 41 回日本霊長類学会大会. (東京都新宿区)
- 新宅勇太. (2026) 伊谷純一郎氏が遺した資料 現状の整理から見てきたもの. 霊長類学史研究会 日本霊長類学の「発見」. (京都府京都市)
- Suenaga Y, Nakatani K, Muto D, Endo A, Okamoto S, Zulfan UM, Shintaku Y, Watanuki K. (2025) Relationship Between Brain Weight and Cancer Mortality: Insights from a Comparative Oncological Analysis of Primates. 第 84 回日本癌学会学術集会. (石川県金沢市)
- 立河龍利, 綿貫宏史朗, 新宅勇太, 岡部直樹, 武田康祐, 廣瀬大. (2025) オナガザル科とテナガザル科の耳垢から分離された *Malassezia japonica*. 第 27 回 SAGA シンポジウム. (東京都文京区)
- 高野智, 赤見理恵. (2025) 日本モンキーセンターの高校団体利用状況から高校生への霊長類研究の認知に向けたアプローチを考える. 第 41 回日本霊長類学会大会. (東京都新宿区)
- 武田康祐, 綿貫宏史朗, 平田聡. (2025) 大型類人猿情報ネットワーク (GAIN) を介した類人猿の非侵襲的試料の研究成果について. 第 31 回野生動物医学学会大会. (岩手県盛岡市)
- 武田康祐, 綿貫宏史朗, 平田聡. (2025) 大型類人猿情報ネットワーク (GAIN) を介した類人猿の非侵襲的試料の研究成果について. 第 27 回 SAGA シンポジウム. (東京都文京区)
- 田中洋之, 川本芳, 宮本俊彦, 杉山茂, 星野智紀, 赤見理恵. (2025) ミトコンドリア DNA からみた新潟県妙高市笹ヶ峰地域のニホンザルと近隣地域集団との系統関係 (予備報告). 第 71 回日本霊長類学会大会. (東京都新宿区)
- 田中理暉, 高野智, 平崎鋭矢, 萩原直道. (2025) 道具使用文化の違いがチンパンジー手指末節骨の形態に与える影響. 第 41 回日本霊長類学会大会. (東京都新宿区)
- Uchikoshi M, Yu L, Hattori, Y (2025) Face perception in gibbons (*Hylobates* spp.): An eye tracking study. The 30th International Primatological Society Congress. (Antananarivo, Madagascar)
- 綿貫宏史朗, 田中ちぐさ, 阿野隆平, 武田康祐. (2025) 欧州の動物園におけるニシゴリラの混合飼育 7 事例. 第 27 回 SAGA シンポジウム. (東京都文京区)
- 山梨裕美, 工藤宏美, 赤見理恵, 中山侑, 伴和幸, 徳山奈帆子, 戸澤あきつ. (2025) 写真背景が動物の印象及びペット飼育意向に与える影響: ショウガラゴとヘルマンリクガメを例に. 第 71 回日本霊長類学会大会. (東京都新宿区)
- 湯本貴和. (2025) 落葉広葉樹林文化の特性—照葉樹林文化との比較で. 全国トキノキ学ネットワーク第 2 回鳥取大会. (鳥取県鳥取市)
- Yumoto T. (2025) Paddy field livelihood complex as a sustainable food system for monsoon Asia. Fifteen International Conference on Food Studies (Pretoria, South Africa)
- Yumoto T. (2025). Paddy field livelihood complex as a sustainable food system for monsoon Asia. Fifth Biennial Food and Society Conference (Ho Chi Minh, Vietnam)

8. 講演ほか

- 赤見理恵. (2025) 高校教育での動物園の今日的な活かし方. 第 41 回日本霊長類学会大会公開シンポジウム「霊長類学が照らす高校教育における生物学の未来」. (東京都新宿区)
- 土性亮賀. (2025) 高齢のニシゴリラの嚙下・身体機能低下時に備えた給餌内容を考える取り組み. エンリッチメント大賞 2025 表彰式・受賞者講演会. (東京都文京区)
- 林美里. (2025) ヒトの子どもが人間に育つまで—子どもの発達を深く知ろう. 中部学院大学教育学部オープンキャンパス. (岐阜県各務原市)
- 下村実. (2025) トークショー オオサンショウウオのはなし. 名古屋レプタイルズワールド 2025 秋. (愛知県名古屋市)
- 下村実. (2025) トークショー カメよもやま話. 四国ブリーダーズストリート. (香川県高松市)
- 下村実. (2026) 生き物・自然、とんでもなく面白いけど心配ごともある. 芥川倶楽部 20 周年記念事業シンポジウム「人と生き物に優しい川づくりをめざして～芥川で私たちにできることって?～」. (大阪府高槻市)
- 高野智. (2025) ヒトの来た道 一波乱万丈の進化史—蒲都市生命の海科学館令和 7 年化石の日講演会. (愛知県蒲都市)
- 湯本貴和. (2025) 熱帯の魅力～熱帯林概論. 「熱帯大学 2025」第 1 回講座. (大阪府大阪市)
- 湯本貴和. (2025) ヒトの生態・行動の特徴と環境問題. 愛・知・みらいフォーラム 2025 年度国際理解教育「出前授業」愛知県立瑞陵高等学校. (愛知県名古屋市)
- 湯本貴和. (2025) いま、なぜビーガンなのか?—地球環境・動物愛護・生命倫理の観点から. 日本フードスタ

ディーズカレッジ・シンポジウム「精進料理とビーガン料理の対話」.(大阪府池田市)

湯本貴和. (2025) ヒトにとっての「食」. 日本フードスタディーズカレッジ・シンポジウム「食べることは生きること―食育の大切さを知る」.(大阪府池田市)

湯本貴和. (2025) 西部地域の森のおもしろさ. 屋久島町民向け講演会「ばくらの西部の自然～西部地域の未来を考える」.(鹿児島県屋久島町)

湯本貴和. (2025) きょうと生物多様性センターの取組について. 第49回関西環境管理者交流会.(京都府京都市)

湯本貴和. (2025) きょうと☆いきものフェス! 2025 活動発表会・交流会. コーディネーター.(京都府京都市)

湯本貴和. (2025) 生きものむすぶ・みんなのミュージアムワークショップ. コーディネーター.(京都府京都市)

湯本貴和. (2025) 淡路島でこれからの暮らしを考えるフォーラム第1回「里海の恵みを考える」コーディネーター.(兵庫県南あわじ市)

湯本貴和. (2025) 淡路島でこれからの暮らしを考えるフォーラム第2回「里山の恵みを生かすには」コーディネーター.(兵庫県南あわじ市)

湯本貴和. (2025) 淡路島でこれからの暮らしを考えるフォーラム第3回「誰ひとり取り残さない社会をめざして」コーディネーター.(兵庫県南あわじ市)

湯本貴和. (2026) 淡路島でこれからの暮らしを考えるフォーラム第4回「共感が地球を救う」コーディネーター.(兵庫県南あわじ市)

湯本貴和. (2026) 知りたい! 生命の森・熱帯雨林 樹高70m 林冠の世界. 愛知県獣医師会令和7年度県民公開セミナー.(愛知県犬山市)

湯本貴和. (2026) きょうと生物多様性センター「企業向けの生物多様性セミナー」. コーディネーター.(京都府京都市)

9. 連携研究の受入

2025001

山口庄太郎、結城健介(天野エンザイム株式会社)
霊長類からの微生物分離と酵素供給源としての可能性評価に関する研究

日本モンキーセンターが飼育する葉食性コロブス類の糞便から各種乳酸菌用培地(MRS、BL、TOS、GAM培地)を用いて嫌気条件・37℃で、また一般的な細菌用培地(SCD培地)を用いて好気条件・37℃で菌を分離した。最終的にコロブス類5種9頭から得られた12サンプルの糞便から腸内細菌93株を分離して酵素探索対象として保存した。これら93の分離菌株について、液体培地を用いた培養を実施し、その培養液中の新規酵素を探索した。

2025年度は新たに3種の酵素探索を実施した。しかし有意な活性を示す株を見出すことはできなかった。

本年度を以って本連携研究を完了とする。2016年度より開始した本連携研究において、10年の期間中に延べ25種の異なる酵素のスクリーニングを実施した。一次・二次選抜に選択される菌株・酵素も現れたが、最終的に新規酵素の供給源として働く菌株は見出せなかった。

2025002

狩野文浩(コンスタンツ大学)
霊長類の目の動きに関する種間比較研究

本研究は、霊長類の目の動きの頻度とパターンに着目し、種間比較を通じて視線の動かし方と注意の多様性を明らかにすることを目的としている。今年度は特に、目の動きを定量的に解析するための動画解析パイプラインの構築を主軸として研究を進めた。高解像度映像から眼球運動を抽出し、時間的変化や頻度を自動的に計測する処理系を整備した。また、日本モンキーセンターにおいて複数種の霊長類を対象に追加データの収集を行い、分析基盤を拡充した。これらの基盤整備により、今後は行動文脈や種特性と目の動きとの関係を体系的に比較検討することが可能となった。

2025003

石村有沙(京都大学ヒト行動進化研究センター)
マーモセットと近縁種の比較から見る腸管上皮の樹液食性適応

今年度は、コモンマーモセット2頭、クロミミマーモセット3頭、ポリビアリスザル1頭の解剖に参加する機会を得て、盲腸オルガノイドの作製を試みた。クロミミマーモセットの2個体では細胞増殖が確認できなかったものの、残る4個体ではオルガノイドの増殖が認められ、継代培養および凍結ストックの作製に成功した。これにより、これまでに作成したワタボウシタマリンのオルガノイドと合わせて樹液食の広鼻猿2種および非樹液食の広鼻猿2種の盲腸オルガノイドを揃えることができた。また、マーモセット由来オルガノイドを平面培養することで吸収上皮細胞マーカー遺伝子の発現が上昇することが確認され、栄養吸収機能評価における平面培養系の有用性が示唆された。来年度は、機会がある限りさらなる個体数の確保に努めると同時に、平面培養条件の最適化を進め、栄養吸収機能の評価が可能な系の確立を行い、実際に種間比較を実施することを旨とする。

2025004

村松明穂(秋田県立大学)
飼育下霊長類におけるポータブル式タッチモニタ装置を用いたオープンラボ型比較認知研究

アジア館のマカカ属(アカゲ・ニホン・タイワン・ミナミブタオ・チベット・ボンネット・トク)を対象に、ポータブル式タッチモニタ装置を用いた研究を実施した。

2023年度までは、タッチモニタ課題を、1)画面上の大きなドットをさわる、2)小さなドット、3)複数のドット、4)アラビア数字を順に、という内容で進め、2022年度末の段階で、全グループがアラビア数字の順序学習の段階に至っていた。

2025年度は、装置の刷新と、各グループの死亡・転出・入替え・復帰・新しいグループの形成・関係性の変化に伴う中心参加個体の変化を踏まえ、1)モニタの画面をさわる、2)モニタ上の大きなドットをさわる、2)小さなドット、3)スタートキー押下後に複数の四角形、4)スタートキー後にアラビア数字を順に、という内容でタッチモニタ課題を作成し直した。その結果、これまで装置に近づいてはいたが課題を解くには至らなかった個体も、課題を解くことが出

来るようになった。

2025005

Jarome Ali (New York University)

霊長類の幼児体毛：形態と機能

本研究の目的は、霊長類の幼児色に対する注意バイアスのパターンについて、選考注視法を用いた実験的検証を行うことである。実験では、被験個体に無加工と加工された静止画像をモニターで対呈示する。モニターは暗い木箱の中に置き、小さなぞき窓から見る事ができる。

2025年度は、前年度に作成されたモニター1台の入った木箱を使って、ニホンザルの丘にて予備実験を行ったところ、ニホンザルがのぞき窓からモニターに注視する行動を引き出せることが確認できた。注視行動をよりコーディングしやすくするために、モニター2台が入るように木箱の修正版を作成した。また、呈示用の幼児画像候補の収集が完了し、現在画像を加工している。来年度は、画像の用意ができ次第、ニホンザルの丘およびモンキーバレイの個体を対象に本実験を実施する予定である。

2025006

Jarome Ali (New York University)

Primate Natal Coats: Form and Function (霊長類の幼児体毛：その形態と機能)

ほとんどの脊椎動物は、幼児の色は目立たずカモフラージュする役割を果たすが、鳥類の一部では目立つ幼児色をもつ種があり、研究が進められている。霊長類でもルトンやコロブスでは目立つ幼児色をもつが、研究は進んでいない。

2025年度は、園内で多くの出産があったため、特に発達に伴う幼児の見かけの変化について、写真による記録をおこなった。2024年度生まれの個体（アビシニアコロブス2個体、フランソワルトン1個体、ポリビアリスザル1個体、シロガオオマキザル1個体、ノドジロオマキザル1個体）、および2025年生まれの子供（アビシニアコロブス2個体、ポリビアリスザル2個体、ヤクシマザル2個体、クロミミマーモセット1個体）の発達過程について、週1回の頻度で継続的に写真を撮影した。これらのデータベースをもとに後続の研究を進めていきたい。

2025007

小藪大輔（筑波大学）

霊長類の発生様式の3次元形態学的研究

哺乳類全体が爬虫類や鳥類に比べてどのように発生が異なるか明らかにされてきたものの、胎児サンプルの希少性から、各目における発生過程の大進化パターンを把握するには至っていない。本研究では、日本モンキーセンターが長年蓄積してきた液浸胎児標本コレクションを用いて各霊長類系統のCTデータを収集し、他の哺乳類の発生様式との総合的な比較を試みる。本年度は日本モンキーセンター所蔵の広鼻類であるヨザル（胎児標本12個体）、コモンマーモセット（胎児標本7個体）及び狭鼻類であるチンパンジー（胎児標本1個体）の頭部及び全身のCT撮像を行った。今後撮像個体を増やすとともに、収集したデータを統合し、霊長類の主要系統における胎児期の全身骨格の形態形成の共通性と各系統における特異性を数理的に評価する予定で

ある。

2025008

松本翔馬（滋賀医科大学 動物生命科学研究センター）

非ヒト霊長類胎盤幹細胞株の樹立

2025年度はワオキツネザル3頭、ヤクシマザル1頭、アビシニアコロブス2頭の胎盤検体を譲渡いただき、幹細胞株の樹立を試みた。昨年度同様、いずれの種においても出産後の胎盤から幹細胞株を樹立することができなかった。近年、当研究室では出産後のヒト胎盤ではなく絨毛膜より、従来の胎盤幹細胞と同等の分化能を有する幹細胞株の樹立に成功している（T. Hoshiyama *et al.*, *Placenta*, 2025）。アビシニアコロブスについても絨毛膜由来胎盤幹細胞株の樹立を試みた結果、増殖性の胎盤幹細胞様細胞の樹立に成功した。現在、遺伝子発現プロファイルおよび分化能について詳細な解析を進めている。

2025009

立河龍利（日本大学薬学部）

霊長目の皮膚マイコバイオームを構成する *Malassezia* 属の宿主特異性

昨年度の研究では、非ヒト霊長類 (NHP) を対象として外耳道の耳垢から *Malassezia* 属の分離を行い、本属の菌相および遺伝的多様性について検討した。その結果、ヒトでは稀とされる *Malassezia japonica* が高頻度で分離され、NHP に特異的な菌相が成立していることが示唆された。そこで本年度は、対象を *Malassezia* 属から酵母相全体へと拡張し、NHP 外耳道における多様性評価をすることを目的とした。本研究では、7科23種のNHPを対象とし、左右外耳道から得られた66試料について分離培養を行った。その結果、3科10種から172菌株の酵母が分離され、それらは担子菌門16種、子囊菌門18種に分類された。これらの種にはヒト皮膚から分離報告のある *Malassezia* 属、*Candida* 属、*Trichosporon* 属のものが含まれていた。本年度の結果から、NHP 外耳道における酵母相がヒトと異なる特徴を有することが明らかとなった。次年度は、対象個体数および対象種を増やすと同時に、*Malassezia* 属各種の生理学的特性や耳垢中脂質組成を明らかにすることで、本属の宿主特異性に関する知見について理解を深める。

2025010

村山美穂（京都大学）

パタスモンキーの遺伝的多様性の研究

飼育下のパタスモンキー17個体の試料（フンまたは血液）からDNAを抽出し、ミトコンドリアDNAの塩基配列解析、マイクロサテライトマーカーの型判定を実施し、遺伝的多様性を解析し、野生集団と比較した。比較対象として、野生集団のガーナ5個体とカメルーン6個体、登録配列、別種のみドリザル2個体を用いた。またマイクロサテライト型についても判定を進めた。

ミトコンドリアのDループ領域の解析の結果、野生集団には明確な地域差がみられたのに対し、日本の飼育個体はまとまっておらず、多様な起源に由来すると推測された。野生のパタスモンキーの生息域は広大で、今回の解析では全体をカバーできていないので、飼育個体の原産地を確定

することはできなかったが、今後の飼育繁殖の参考になるかもしれない。マイクロサテライト型については、今後、複数回の判定によって精度を高め、個体間の血縁度の解析を進める予定である。

2025011

五百部裕 (梶山女学園大学)

展示施設前での来園者の行動や滞在時間と展示動物の行動との関連

梶山女学園大学人間関係学部で開講している「ケースメソッドⅡ」という科目の一環として、2025年6月15日(日)10時~15時30分まで園内で調査を行った。調査では、六つの展示施設(モンキースクランブル、リスザルの島、南米館、アフリカ館、Waoランド、ニシゴリラ)の前で、学生3人程度のグループが、来園者の行動や滞在時間や、展示動物の行動や位置を記録した。当日は雨模様で、残念ながら当初期待したサンプル数を得られなかった。そのためデータの統計的な解析は難しく、頻度分布を中心に分析した。その結果、展示施設によって来園者の滞在時間や行動が異なることが明らかになった。リスザルの島やWaoランドのように、展示動物と身近に接することができる施設では、来園者の滞在時間が長い傾向があった。一方で、サンプル数の問題がたぶんにあると推測されるが、展示施設間の動物の行動には大きな違いは認められなかった。

2025012

立脇隆文 (人間環境大学環境科学部)

スローロリス類とオマキザル類の行動評価に関する研究

夜間観察が困難な夜行性動物であるレッサースローロリスを対象に、画像認識技術を導入した行動解析の自動化を目的として、赤外線画像および深度画像を撮影可能なカメラを用いた定点観測を試行した。温暖多湿な条件でシステムが熱暴走を起こさないように対策を施し、夜間連続撮影が可能であることを確認した。さらには、撮影した映像に対して画像処理を適用し、3次元空間における動きの自動検出が可能であることも確認した。

シロガオオマキザルの母子とノドジロオマキザルの代理母と子の計4個体を対象に、展示場内での同居を目的としたオリでのお見合い時から、同居後にかけての異種個体間の社会行動の変化を明らかにすることを目的として、監視カメラを用いた行動観察を行った。お見合い時にはオトナ間で警戒する様子が見られたが、同居後はすべての組合せの間で親和的な行動がみられるようになった。本内容は第70回プリマーテス研究会でポスター発表した。

2025013

Khalid Mazid (京都大学)

Testing callitrichids' behavioral responses to perceived biological contaminants through foraging experiments

本研究は給餌実験を用いてマーモセット科における生物学的汚染への回避行動を調べている。2025年度は主に、実験装置の開発と対象個体の装置への馴致を行った。馴致は計4種を対象とし、南米館の哺育室とホールの2箇所で行った。1個体あたり、1日2セッション、1セッション10~15分であった。これまでのところ、装置に慣れるまでの所要時間や餌への動機づけに個体差が見られた。馴致

フェーズでは、対象個体が安定して、餌の置いてある装置が設置されたら装置に接近し、餌を装置から取るようになることを目標としている。次年度も馴致を継続し、馴致目標が達成された個体から、糞のレプリカを餌と同時に提示する本実験フェーズを始める予定である。

2025014

Raquel Costa (名古屋大学)

類人猿と人間の間におけるターンテイキング型コミュニケーション信号の探求

2025年11月下旬から、名古屋大学2年生のHanifa itriさんと中部学院大学2年生の山口芽生さんの2名の学部生研究補助者の支援のもと、週1~2回の頻度で来園者を対象としたデータ収集を行い、約234件の同意書にもとづいてデータを収集した。初めの数週間、データ収集プロトコルの精緻化と、技術的設定の最適化(カメラ位置の調整や必要に応じた追加カメラの設置など)に充てた。これまでに、本プロジェクトでは、来園者と動物の間のコミュニケーション行動を含む2TB以上のビデオデータを得た。これまでのところ、ニホンザルおよびテナガザルの展示エリアでは、来園者との相互作用が限定的であることが確認されている。主にニシゴリラのタロウおよびチンパンジー2グループに集中してデータを収集しており、これらの種では相互作用のレベルが比較的高かった。夏季シーズンには、ニホンザルおよびテナガザルの展示エリアでのデータ収集を再開する予定である。

2025015

安達希 (京都大学)

霊長類の水分摂取量に関する研究

生態的、系統的に多様な種のデータを収集し、各種の水分摂取量や食物由来の水分量、本来の生息環境による水分要求量の違いを明らかにすることを目的として研究を実施。対象種は、ワオキツネザル、コモンマーモセット、クロミミマーモセット、ワタボウシタマリン、アカテタマリン、ハイアシヨザル、ヤクシマザル、シロテテナガザルの計8種。目視およびカメラでの約24時間の観察により1日の水分摂取量を計測。水皿や給水器を使用して、飲水量を測定。さらに、摂食量を測定し、食餌から摂取している水分量を推定。水分摂取量には、代謝率や蒸発が影響していることが示唆された。

モンキーバレイ内の水場の水質検査は、今後実施予定である。

2025016

半谷吾郎 (京都大学)

ハエを利用した哺乳類の生息調査法の検討

野生動物の生息状況を簡便に調査する方法の確立は、それぞれの種の保全を実施するうえで重要である。近年、ハエやヒルなど、食糞性や吸血性の無脊椎動物のからDNA(iDNA)を抽出し、そこに含まれている哺乳類のDNAを増幅して配列を解読し、その地域に住む動物のリストを作る方法が注目されている(Hanya *et al.*, 2019)。この方法は、カメラトラップや目撃調査などの従来の方法に比べて、調査地で調査にかかる時間が短いなどの有利な点があるが、一方で調査に用いられるようになった歴史が浅く、検討す

べき課題がいくつかある。そのうちのひとつが、ハエを用いた場合、そのハエが動物のDNAを集めた場所と、ハエが採取された場所が、どの程度離れているのかという問題である。本研究は、ハエによって哺乳類のDNAが運ばれる距離を明らかにすることを目的とした。日本モンキーセンターおよび京都大学犬山キャンパスの決まった場所の中だけに外来種である各種の霊長類が住んでいるという条件を生かし、両施設内および犬山市内の各地で採取したハエから、両施設で飼育されている各種霊長類のDNAを次世代シーケンスで検出することを目指した。

2025年8月から9月に、日本モンキーセンター内の10か所でハエの採取を行った。採取されたのは、主にクロバエ科とニクバエ科のハエであった。現在遺伝子解析を実施中である。

2025017

山梨裕美（京都市動物園）

動物園・水族館における実用的なチンパンジー・ゴリラ・ワオキツネザルのQoL記録方法の検討と生涯に渡る変化に関する研究

霊長類のQoL(Quality of Life: 生活の質)は、年齢や環境によって影響される。たとえば、幼少期から成熟期にかけての変化や、高齢になると加齢による機能低下などが考えられ、QoLへの配慮の方策が異なっていく。QoLの変化に関する一般的な傾向を把握するためには、広くデータ収集を行うことが必要となる。そこで今回、チンパンジー・ゴリラ・ワオキツネザルを対象に、QoL評価スコアフォームを用いて比較を行うこととした。日本モンキーセンターを含む複数の国内の動物園において、職員がスコアフォームを用いて記録を行った。ここまでに比較的多くの個体からデータを得られたチンパンジーとワオキツネザルについて分析を行ったところ、チンパンジーは年齢により行動や環境のコントロールなど複数のパラメーターでの変化が見られた。一方、ワオキツネザルはほとんど変化が見られなかった。今後より詳細な検討を行う。

2025018

山田博之（愛知学院大学）

新世界ザルの犬歯外形の比較

現生の多くの新世界ザルの上下顎犬歯について舌側面からみた歯冠外形を各系統分類間で比較した。新世界ザルのオスの上顎犬歯の外形は大きく分けて4つに分けられた。1：熟れた果物を食べるために適した短剣状の形、2：葉食をするホエザル類とムリキで鉤状の形、3：硬い種子をかみ砕くためにチゼル状の形、4：先端が丸く斜めに傾き樹脂を摂るのに適した形である、オスの外形は摂取食物の性状によって変化していた。形と社会構造については、一夫一婦制の種は性的二型がないかあってもわずかである。それに対し、一夫多妻制の種は二型性が一般に強い。犬歯の大きさと形の二型性は多くの種で共通していたが、*Callicebus*, *Callithrix*, *Sapajus*, *Saimiri*, *Ateles*には一見一致が見られなかった。オスの下顎犬歯の形は、*mesiostylid*の位置と遠心基底部の踵状の突起の発達程度により歪六角形へ変化し、種間の差はわずかであった。新世界ザルの犬歯の形には多様性が見られた。

2025019

末永雄介（千葉県がんセンター研究所）

霊長類における比較腫瘍学的解析

ヒトでは大型類人猿に比べてがん死亡率が著しく高いが、霊長類全体での包括的データは限られる。そのため、ヒトの高いがん死亡率が祖先的か派生的かは不明である。本研究では、日本モンキーセンターの65年間（1959～2024年）の剖検記録（128種6,852個体）を用いて腫瘍発生率を解析した。その結果、ヒトに匹敵する死亡率を示す種はなく、高いがん死亡率は派生形質の可能性が示唆された。腫瘍発生率は曲鼻類で直鼻類より有意に高かった。近縁群では、タイワンザルはアカゲザルより、またヤクシマザル (*Macaca fuscata yakui*) は本土のニホンザル (*Macaca fuscata fuscata*) より高かった。これらはいずれも脳体重比の低さと関連し、他の臓器とは関連しなかった。さらに、島嶼効果に加え、有効集団サイズや個体群減少、交配システム、進化的背景も関連が示唆された。

2025020

尾島ミリアム望美（京都大学）

霊長類と腸内のビフィズス菌の共進化：ミルクオリゴ糖の代謝と合成に関わる遺伝子解析

本研究では、ビフィズス菌と霊長類宿主における共生関係の進化的背景を明らかにすることを目的として、日本モンキーセンターで飼育されている個体を対象に腸内細菌およびミルクオリゴ糖合成に関与する遺伝子の調査を進めている。飼育個体から自然に排出された糞便サンプルを用いて腸内細菌叢解析およびビフィズス菌の単離を行うとともに、乳腺組織を用いた宿主側遺伝子の解析を進めている。

現時点までに、7種から糞便サンプルを収集した（ゴリラ、チンパンジー、バーバリーマカク、フランソワルトン、カニクイザル、ヒゲサキ、アビシニアコロブス）。そのうち、フランソワルトン、ゴリラ、およびチンパンジーからビフィズス菌の単離に成功している。さらに、フランソワルトンにおいては、親子の糞便サンプルを対象とした腸内細菌叢解析にも着手している。親との比較を通じて、子の腸内細菌叢の構成の類似性および健康への影響を評価しており、現在関係者とともに論文化の準備を進めている。また、宿主側の解析として、自然死個体から提供された乳腺組織の収集を行っており、ヤクシマザル、カニクイザル、およびアビシニアコロブスのサンプルを採材した。

引き続きその他の種からサンプル収集を進めるとともに、得られた菌株および宿主組織由来データの分子解析を進め、ビフィズス菌の糖利用遺伝子と宿主の糖合成遺伝子との進化的関係性について統合的な解析を行う。

2025021（欠番）

2025022

Catia Correia Caeiro（京都大学ヒト行動進化研究センター）
Visualisation, automation, and development of communication and emotion in primates（霊長類におけるコミュニケーションと感情の視覚化、自動化、発達に関する研究）

今年度は JMC にて、ニホンザルに対し計 2.5 時間、テナガザルに対し計 5 時間、文脈ごとの自然行動（遊び、毛づくろい、攻撃、親和行動など）のシーケンスサンプリングを行った。また、他の施設（ヒト進化研究センター、熊本サンクチュアリ）のテナガザルとボノボに対しても数時間ずつの動画データを収集した。自然行動のデータ収集に加え、ギボンハウスおよびテナガ舎の全個体に対し、それぞれ 1 回以上の馴致、およびテストとしてのポジティブ条件（食物報酬への期待など）の導入を数回行った。また、ニホンザルの顔の表情と身体の動きの動画コーディングも開始した。次年度は継続して、自然文脈および実験的文脈（ポジティブ条件（おもちゃなどの提示）、ネガティブ条件）での行動の動画データを収集する。収集された動画のコーディングも次年度中に完了する予定である。

2025023

佐々木優紀（京都大学）

コモンマーモセットに共生するビフィズス菌の単離

過去に実施されたコモンマーモセットに対する南米原産ガム給餌試験において増加が認められた応答性ビフィズス菌種を単離し、そのガム利用メカニズムを明らかにすることを目的とした。2026 年 3 月、日本モンキーセンター南米館ホールにて単独飼育されているコモンマーモセット「ニック」（給餌試験実施個体の同腹仔）を対象に、排泄タイミングを観察して新鮮糞便を採取した。得られた糞便試料を用い、ビフィズス菌・乳酸菌培養用培地（MRS・TOS 培地）および抗生物質添加培地に塗布し、37℃で嫌気培養を行った。さらに、糞便を南米原産ガム含有液体培地で前培養した試料についても同様に培養した。その結果、現在までに候補となる計 63 株の純粋培養株を取得した。現在、16S rRNA V1/V2 領域を標的としたコロニー PCR およびシーケンス解析を進めており、南米ガム応答性ビフィズス菌の単離・同定を進めている。

2025024

Wanyi Lee（京都大学）

Comparative Analysis of Gut Microbiomes in Captive and Wild Asian and African Primates（飼育下および野生のアジア・アフリカ産霊長類における腸内細菌叢の比較解析）

本研究は、飼育下と野生の霊長類の腸内細菌叢を比較し、飼育管理が腸内細菌叢に与える影響を解明することで、飼育環境の改善に資する科学的根拠を提供することを目的としている。本年度は、計 113 検体のサンプリングができ、そのうち 88 検体について 16S rRNA メタゲノム解析を実施した。

特筆すべき例として、消化器状態の改善が急務であるフランソワルトンの個体「ヨウ」に対し、集中的なモニタリングを実施した。ヨウの腸内細菌叢を、その両親、および他の野生・動物園コロブス個体と比較解析した結果、腸内細菌叢の構成（ β 多様性）評価において、ヨウは他のフランソワルトンのクラスターから大きく離れて、極めて高い特異性を示すことが明らかとなった。この特異性は、長年の人工飼育環境への適応、あるいは慢性的な消化器課題の蓄積を反映している可能性がある。ヨウが遺したこのデータは、単なる一症例の記録に留まらず、次世代の個体がより健やかにするための「改善の指針」となるものである。

2025025

村本大河（明治国際医療大学）

霊長類における皮膚感覚受容器形態のマルチモーダル観察

2025026

伊藤佑真（名古屋大学）

犬山市・官林瓦窯の実態解明

本研究は、尾張でも数少ない古代瓦窯である官林瓦窯について、その所在地特定と操業実態の解明を目的としたものである。

まず、赤色立体地図を用いてモンキーバレイ以東の尾根筋を分析した。すると、窯跡候補地点が 8 箇所抽出された。

次に現地踏査から遺物散布と地形状況の確認を行なった。すると、北緯 35 度 38 分 96 秒 874、東経 136 度 95 分 97 秒 265（旧シカ園西側、モンキーバレイの仕切り柵沿い付近）で軒丸瓦 1 点、平瓦 12 点、丸瓦 1 点が半径約 2m 内に集中して採集された。これらは従来の採集品と同様の特徴を示し、当該地点に瓦窯が存在した可能性を強く支持する。

さらに周辺地形データを収集し、今後の調査に有用な地形図を作成した。

以上、瓦窯位置の概定と基礎データの収集を進めることができた。しかし、窯壁や焼土などといった瓦窯の操業を直接示す遺構は未確認のため、今後はより詳細な地形探査等を実施し、発掘調査を視野に入れた事前調査を継続する必要がある。

2025027

安達希（京都大学）

霊長類の行動的体温調節に関する研究

気温や湿度によって体温調節のとりかたがどのように変化するかを明らかにするために、屋外で飼育されている種を対象に、1 月より行動観察を実施した。アジア館、アフリカ館、新アフリカ館および南米館にて計 27 種を対象に観察を行った。目視で 10 分に 1 回、アクティビティ（休息、移動、採食、毛づくろい）、姿勢（休息時場合のみ）、個体のいる場所（日向か日蔭か、床の上か木の上か、など）を記録。飲水行動についてのみビデオカメラでの記録も行った。1 月から現時点まで冬と春の観察を実施。引き続き、10 月ごろまで春および夏の観察を実施予定である。

2025028

吉田善哉（コペンハーゲン大学）

動物園と幹細胞研究の連携に関する科学哲学的研究

動物園と幹細胞研究の連携について調査するため、2026 年 1 月に日本モンキーセンターを訪問し、獣医師、飼育員、研究員、キュレーター等の職員にインタビューを行った。また、同センター事務所に保管されていた資料を閲覧・複写した。以上の調査を通じて、霊長類の死亡個体からの組織標本の採取とその研究機関への提供のプロセスについて動物園職員の側からの有用な知見を得ることができた。加えて、そうした組織間連携を円滑にするプラットフォームとしての「大型類人猿情報ネットワーク」(GAIN) の役割

と、その設立・発展の経緯についても詳しい情報が得られた。本調査によって得られた情報は未だ整理・分析の最中であるが、2026年7月に英国にて開催されるふたつの学会(Society for Philosophy of Science in Practice および British Society for the Philosophy of Science)にて報告することが決まっている。またその後、論文の形式にまとめ、学術誌へと投稿予定である。

10. 連携研究に伴う標本の貸し出し

(1) 2025007

申請者：小藪大輔

題目：霊長類の発生様式の3次元形態学的研究

貸出：チンパンジー、コモンマーモセット、ヨザル
全身液浸標本 計21点

期間：2026年2月5日～2月20日

11. 日本モンキーセンター屋久島研修所

2020年7月より運用開始

所在地：鹿児島県屋久島町永田

利用目的：屋久島での調査研究・教育・研修・実習
セミナー・ワークショップ・シンポジウム等の開催

利用料金： 宿泊有り 1,000円/泊/人

宿泊無し 半日300円/人

1日500円/人

12. 野外調査

(1) 白山（ニホンザル調査隊への参加）

2026年2月10日～2月16日

赤見理恵

(2) 笹ヶ峰（妙高高原）

2025年9月17日～9月15日

赤見理恵、星野智紀

2026年2月17日～2月20日

赤見理恵、徐沈文、川原宇翔

13. 生息地研修

(1) 宮崎県幸島（京都大学野生動物研究センター幸島観察所）

2025年5月27日～5月29日

下村実、川崎千穂、高田晃行、堀川晴喜

2025年9月9日～9月11日

赤見理恵、川原宇翔、宗像大和、奥川みらい

(2) 四国（高知県柏島ほか）

2025年6月15日～6月18日

下村実、綿貫宏史朗、阿野隆平、阪倉若菜

(3) 宮城県金華山

2025年6月24日～6月27日

赤見理恵、奥村文彦、土性亮賀

(4) 静岡県波勝崎

2025年10月9日～10月10日

高野智、赤見理恵、辻内祐美

14. その他

(1) 研究活動ミーティング

日程：2025年7月7日

基調講演：末永雄介（千葉県がんセンター研究所）

(2) 保全活動

1. ギニア共和国 野生チンパンジー保全のための「緑の回廊」への支援事業 期間：2017年4月～

- (1) 京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科との共同研究に基づく保全活動
期間：2023年4月～2028年3月

2. スローロリス保全センターの運営

- (1) 飼育個体の福祉向上・飼育環境改善
(2) 連携研究等による研究の推進
(3) ウェブページの公開
https://sites.google.com/view/jmc-fr5/SLCC_Home

3. 希少霊長類の飼育下繁殖

- (1) 公益社団法人日本動物園水族館協会生物多様性委員会の活動への各種協力

4. 犬山市と連携した希少淡水魚の保全活動

(3) 環境教育並びに社会普及活動

1. 学習利用

(1) 団体入園者数

団体区分	2025年度		2024年度比	
	件数	人数	件数	人数
幼稚園・保育園	36	2,654	105.9%	77.9%
小学校	68	4,933	111.5%	96.9%
中学校	8	648	114.3%	98.5%
高等学校	11	622	100.0%	100.8%
大学・短大・専門学校	29	747	82.9%	76.4%
特別支援・養護学校	1	5	100.0%	5.7%
福祉・介護施設	24	388	218.2%	258.7%
一般・その他	17	320	41.5%	43.7%
合計	194	10,317	96.5%	88.0%

(2) 教育プログラム利用状況

利用団体数： 147件（前年比94.2%）
8,275名（前年比88.6%）

	2025年度	2024年度比
レクチャー	143	93.5%
スポットガイド団体利用	115	97.5%
キュレーター等によるガイドツアー	11	78.6%
行動観察実習	12	80.0%
標本を用いた骨学実習	9	90.0%
骨パズル	5	500.0%
ロコモーション観察ワークシート	9	75.0%
バックヤード見学	6	150.0%
「知ったことを伝えよう」ワークシート	11	68.8%
事前学習教材	23	79.3%
その他	6	75.0%
合計	350	92.1%

(3) 犬山市と連携した授業づくり

① 小学校4年生 モンキーワーク

理科「わたしたちの体と運動」に関連したプログラム

東小学校 4年生 52名 2025年5月28日
池野小学校 4年生 13名 5月28日
今井小学校 3・4年生 11名 5月28日
栗栖小学校 3・4年生 10名 5月28日
城東小学校 4年生 83名 6月4日
犬山西小学校 4年生 93名 6月4日
犬山南小学校 4年生 71名 6月11日
楽田小学校 4年生 78名 6月11日
羽黒小学校 4年生 88名 6月18日
犬山北小学校 4年生 76名 6月18日

② 中学校 モンキーワーク

南部中学校 1年生 125名 2025年5月27日
東部中学校 1年生 115名 6月3日
犬山中学校 3年生 195名 10月16日
城東中学校 1年生 132名 11月11日

- (4) 名古屋経済大学 体験型プロジェクト (FI)
「犬山学講座／日本モンキーセンター」
- 第1回 ガイダンス・日本モンキーセンターとは
(場所:名古屋経済大学)
2025年4月8日 高野智
- 第2回 霊長類学入門・事前学習(場所:名古屋経済大学)
2025年4月15日 高野智
- 第3回 霊長類の多様性(1)(場所:日本モンキーセンター)
2025年4月22日 高野智
- 第4回 霊長類の多様性(2)(場所:日本モンキーセンター)
2025年5月6日 高野智
- 第5回 動物の進化を学ぶ(1)
(場所:日本モンキーセンター)
2025年5月13日 高野智
- 第6回 霊長類行動観察入門(1)
(場所:日本モンキーセンター)
2025年5月20日 赤見理恵
- 第7回 霊長類学の最前線(1)
(場所:日本モンキーセンター)
2025年5月27日 川上文(中部大学)
- 第8回 霊長類行動観察入門(2)
(場所:日本モンキーセンター)
2025年6月3日 赤見理恵
- 第9回 動物の進化を学ぶ(2)
(場所:日本モンキーセンター)
2025年6月10日 高野智
- 第10回 霊長類学の最前線(2)
(場所:京都大学ヒト行動進化研究センター)
2025年6月17日 今井啓雄(京都大学)
- 第11回 環境問題と霊長類(場所:日本モンキーセンター)
2025年6月24日 新宅勇太
- 第12回 博物館としての動物園
(場所:日本モンキーセンター)
2025年7月1日 綿貫宏史朗
- 第13回 期末課題制作(1)(場所:日本モンキーセンター)
2025年8月18日 高野智
- 第14回 期末課題制作(2)(場所:名古屋経済大学)
2025年8月19日 高野智
- 第15回 期末課題発表(場所:名古屋経済大学)
2025年8月21日 高野智、赤見理恵

(5) 科学教育における高等学校、中学校等との継続的な連携

① 愛知県立明和高等学校

1. MC ガイダンス「行動観察」

日程:2025年4月24日

対象:1年生生徒 364名

内容:講演「霊長類を研究する:ラボからフィールドまで」
(林美里)

レクチャー「動物園でもできる!動物の行動観察
入門」(赤見理恵)

(場所:犬山市民文化会館)

ワークシート学習(場所:日本モンキーセンター)

観察を踏まえて2025年5月28日に発表会を実施。
赤見が参加して講評をおこなった。

2. 研究活動

日程:随時

内容:生徒若干名が総合的な探究の時間ないし生物部の活動として来園し、園内の動物を対象に研究活動を実施した。エドゥケーターの指導のもとで研究をまとめ、第41回日本霊長類学会大会で1件、第70回プリマーテス研究会で1件のポスター発表をおこなった。

② 南山高等学校・中学校女子部「科学研究実践活動
霊長類学入門」

日程:随時

生徒有志が1年を通して来園し、研究活動を実施。第41回日本霊長類学会大会で1件、第70回プリマーテス研究会で1件のポスター発表をおこなった。

③ 武庫川女子大学附属中学校2年生「サイエンスツアー」

日程:2025年7月28日

内容:東海地方の数カ所の施設を訪問するツアーの訪問先のひとつとして来園。レクチャーと実習を組み合わせたプログラムを実施。

④ 多治見西高等学校附属中学校2年生「動物学研修」

日程:2025年11月4日

内容:アウトリーチでの講義と骨パズル

日程:2025年11月19日

内容:日本モンキーセンターにおける実習

2. 教育普及活動の充実につながる各種ツールの開発

(1) 学校団体向け「学習利用の手引き」

3. 教員研修会の誘致

(1) 春日井市理科学研究会

日程:2025年8月8日

内容:レクチャー、ワークシート学習、事例紹介

4. アウトリーチ活動

(1) 教育活動の実践における職員の講師派遣

① 信州大学理学部生物学コース

日程:2025年4月22日

対象:15名

内容:妙高高原笹ヶ峰地域に進出したニホンザル

赤見理恵

② 熊本マリスト学園中学校

日程:2025年7月22日、24日

対象:中学2年生 約60名

内容:課外授業「外来種対策」の課題制作に対する助言
講演「希少な生き物の保全と動物園」

綿貫宏史朗

③ 犬山市立楽田小学校

日程:2025年10月2日

対象:2年生 64名

内容:国語授業「動物園のじゅうい」

江藤彩子

- ④ 犬山市立楽田小学校
 日程：2025年10月7日
 対象：5年生 89名
 内容：理科授業「人の誕生 サルの誕生と人の誕生の違い」 赤見理恵
- ⑤ 多治見西高等学校附属中学校
 日程：2025年11月4日
 対象：2年生 20名
 内容：講義「サルについて学ぶとはどういうことか」
 実習「ヒトとチンパンジーの骨格標本からわかること」 高野智
- ⑥ 犬山市立犬山西小学校
 日程：2026年1月15日
 対象：5年生 78名
 内容：理科授業「サルの誕生と人の誕生の違い」 赤見理恵

(2) 職員の派遣

- ① 京都市動物園 野生動物学のすすめ
 日程：2025年4月12日～4月13日
 場所：京都市動物園（京都府京都市）
 内容：ブース出展、活動紹介レクチャー
 新宅勇太、綿貫宏史朗、武田康祐、川原宇翔
- ② アンバサダーと飼育員さんのトーク&ライブ
 ペインティング
 日程：2025年6月4日
 場所：ジュンク堂書店名古屋栄店（愛知県名古屋市）
 内容：水田詩織氏とのトークイベントほか
 阿野隆平
- ③ 熱田神宮 緑陰教室
 日程：2025年8月1日
 場所：熱田神宮宝物館（愛知県名古屋市）
 対象：小学校1～3年生 約320名
 内容：講演「サルの話」 赤見理恵
- ④ 犬山産業振興祭
 日程：2025年10月11日
 場所：犬山市民文化会館（愛知県犬山市）
 内容：ブース出展、グッズ販売 赤見理恵
- ⑤ 日独青少年交流事業プログラム
 日程：2025年10月13日
 場所：犬山国際ユースホテル（愛知県犬山市）
 対象：ドイツからの青少年19名、引率3名、通訳1名
 内容：野生動物調査体験 赤見理恵
- ⑥ 澤田酒造 酒蔵開放
 日程：2026年2月21日、22日
 場所：澤田酒造（愛知県常滑市）
 内容：ブース出展、グッズ販売 高野智、江藤彩子

(3) 地元、近隣の学校訪問（誘致・広報活動）

犬山市を中心に、出前授業等の機会も利用して誘致の呼びかけ

(4) 社会貢献

- ① 日本霊長類学会 保全・福祉担当理事 林美里
 ② 日本子ども学会 理事 林美里
 ③ あいちサイエンスフェスティバル2025 実行委員 高野智
 ④ 愛知県尾張北部生態系ネットワーク協議会 委員 高野智

- ⑤ 名古屋経済大学犬山学研究センター 客員教授 高野智
 ⑥ 日本霊長類学会 代議員 赤見理恵
 ⑦ 日本動物園水族館教育研究会 運営委員 赤見理恵
 ⑧ 特定非営利活動法人屋久島いきもの調査隊 監事 赤見理恵
 ⑨ 日本哺乳類学会 分類群名・標本検討委員会 委員 新宅勇太
 ⑩ 日本哺乳類学会 和文誌編集委員会 委員 新宅勇太
 ⑪ 日本霊長類学会 Primates 誌 Editorial Assistant 新宅勇太
 ⑫ NPO 法人市民 ZOO ネットワーク 理事 綿貫宏史朗
 ⑬ 日本野生動物医学会 評議員 綿貫宏史朗
 ⑭ 日本野生動物医学会 野生動物保全・福祉委員 綿貫宏史朗
 ⑮ 神戸どうぶつ王国 生物多様性保全担当顧問 綿貫宏史朗
 ⑯ 日本動物園水族館協会 生物多様性委員会 保全戦略部副部長 綿貫宏史朗
 ⑰ 札幌市市民動物園会議認定動物園支援事業部会 委員 綿貫宏史朗
 ⑱ 一般社団法人野生生物生息域外保全センター 理事 綿貫宏史朗
 ⑲ International Primatological Society The Welfare and Captive Care Committee 打越万喜子
 ⑳ サル類の疾病と病理のための研究会 幹事 岡部直樹

5. 特別展・特集展示の開催

(1) 特別展「Wao ランド展

～20年目のありがとうございマダガスカル!～

会期：2025年3月20日～2025年6月30日

会場：ビジターセンター 特別展示室

主担当：綿貫宏史朗

(2) 特別展「海とサルの交わるどころ」

会期：2025年7月19日～2025年11月30日

会場：ビジターセンター 特別展示室

特別協力：船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

協力：野外民族博物館リトルワールド

内覧会：2025年7月18日 11:00～、16:00～

計17名参加

主担当：赤見理恵

(3) 特別展「70ストーリーズ」

会期：2026年3月20日～開催中

会場：ビジターセンターほか

主担当：新宅勇太

(4) 企画展「キンシコウ来園40周年」

会期：2025年3月16日～2025年6月2日

会場：ビジターセンター 常設展示室・企画展示室

主担当：赤見理恵、新宅勇太

(5) 「動物園長の部屋」

日程：2024年7月20日～

場所：ビジターセンター内

- (6) 民俗資料展示 「日本モンキーセンター所蔵 民俗資料
猿二郎コレクション」
会期：2017年10月13日～開催中
場所：木之下城伝承館 堀部邸
協力：特定非営利活動法人 古代瀬波の里・文化遺産
ネットワーク

6. 2025年度モンキーキャンパス

主催：公益財団法人日本モンキーセンター
共催：京都大学野生動物研究センター
受講費：12,000円（全6回分）
（ただし2025年4月1日時点で20才以下の
受講者は9,000円、友の会年会費は別途）

方式：ビジターセンターホールでの会場受講
もしくはZOOMによるオンライン受講
録画した講義の見逃し配信を実施

受講者数：88名

プログラム：

- 第1回 2025年6月8日
講師：五箇公一
（国立環境研究所生物多様性領域）
「なぜ外来生物は防除しなくてはならないのか？
～終わりなき侵略者との闘い」
- 第2回 2025年7月6日
講師：颯田葉子
（総合研究大学院大学統合進化科学研究センター）
「ヒトとヒト以外の霊長類のゲノム比較から
探る遺伝的多様性のメカニズム」
- 第3回 2025年8月3日
講師：楠田哲士（岐阜大学応用生物科学部）
「動物園との協働による絶滅危惧種の繁殖研究
から生息域外保全へ」
- 第4回 2025年9月7日
講師：小田隆（京都精華大学マンガ学部）
「古生物復元画と系統樹マンダラポスターの
制作プロセス」
- 第5回 2025年10月5日
講師：古市剛史（京都大学名誉教授）
「ヒト科におけるメスの生き方の選択」
- 第6回 2025年11月2日
講師：室山泰之（東洋大学経営学部）
「野生動物とどうつきあうかー現状とこれから」

7. モンキーキャンパスサークル活動の実施

モンキーキャンパス受講者をメンバーとして活動
募集型サークル

- ①資料サークル（担当：高野、新宅）
- ②行動観察サークル（担当：赤見）

自主活動型サークル

- ①畑サークル
- ②エンリッチメントサークル
- ③つたえ隊

8. モンキーキャンパス研修ツアー

(1) 屋久島研修ツアー

日程：2025年12月4日～12月7日
場所：鹿児島県屋久島
参加者：7名
引率：湯本貴和、赤見理恵、江戸暢章

(2) 屋久島研修ツアー アドバンストコース

日程：2025年12月7日～12月10日
場所：鹿児島県屋久島
参加者：2名
引率：湯本貴和、赤見理恵

(3) タイ研修ツアー

日程：2026年1月24日～1月30日
場所：タイ・ペッチャブリー県
Khao Krapak-Khao Tao Mo 保護区
Kaeng Krachan 国立公園ほか
講師：豊田有（京都大学野生動物研究センター）
参加者：13名
引率：湯本貴和、阪倉若菜

9. モンキー日曜サロンの開催

主催：公益財団法人日本モンキーセンター
京都大学野生動物研究センター
* Zoomでのオンライン配信も併用して開催

第88回

日程：2025年6月29日
演題：「毒を持つ外来種を捕食するカンムリワシの
不思議」
講師：戸部有紗（京都大学野生動物研究センター）

10. 特別展「海とサル」の交わる場所

関連イベント「海とサルのゲストトーク」

主催：公益財団法人日本モンキーセンター
京都大学野生動物研究センター
特別協力：船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

第1回

日程：2025年9月21日
演題：「川と生きる上高地のニホンザル」
講師：土橋彩加（信州大学）

第2回

日程：2025年10月19日
演題：「下北半島のサルー自然がほほえむとき」
講師：松岡史朗
（NPO法人ニホンザル・フィールドステーション）

第3回

日程：2025年10月26日
演題：「海とサル：カニクイザルの新天地適応能力」
講師：豊田有（京都大学）

第4回	2025年8月16日	金華山	奥村文彦
日程：2025年11月16日	2025年10月11日	幸島	奥川みらい
演題：「水中考古学からわかる船の進化の歴史： 古代エジプト～大航海時代」	2025年10月12日	幸島	川原宇翔
講師：山船晃太郎（船舶考古学）	2025年10月13日	幸島	宗像大和
	2025年11月22日	波勝崎	高野智
	2025年11月23日	波勝崎	辻内祐美
	2025年11月24日	波勝崎	赤見理恵

第5回
日程：2025年11月30日
演題：「島に住むニホンザル」
講師：鈴木崇文（京都大学）

第80回「世界のウマ科動物、その多様性の少なさ」
2026年1月4日 綿貫宏史朗

11. 写生大会の開催

(1) 第69回日本モンキーセンター写生大会 優秀作品展の開催
期間：2024年7月20日～2025年7月13日
場所：ビジターセンター内企画展示室

第81回「馬を守る猿 民俗資料に見る猿と馬のかかわり」
2026年1月18日 新宅勇太

(2) 第70回日本モンキーセンター写生大会の開催
後援：文部科学省、愛知県、愛知県教育委員会、
岐阜県教育委員会、犬山市、犬山市教育委員会、
京都大学野生動物研究センター
募集期間：2025年4月1日～6月2日
応募点数：250点
審査会：2025年6月20日
入選点数：43点（特別賞11点、特選12点、入選20点）

第82回「犬山市に生息する野生動物」
2026年3月7日
2026年3月15日（延期） 武田康祐

表彰式：2025年7月19日
場所：ビジターセンターホール
参加者：受賞者およびその家族、79名

第83回「日本と世界のテナガザル」
2026年3月8日 綿貫宏史朗

(3) 第70回日本モンキーセンター写生大会優秀作品展の開催
期間：2025年7月19日～開催中
場所：ビジターセンター内企画展示室

第84回「動物園で耳をすましてみると
—みんなはどんな音を聞いている？」
2026年3月14日 打越万喜子

第85回「自分の体とくらべてわかる、サルのかなまの
骨のひみつ」
2026年3月28日 高野智

第86回「笹ヶ峰ニホンザル調査とデジタルアース」
2026年3月29日 赤見理恵

12. ミュージアムトーク

*友の会会員向けに Zoomでのオンライン配信も併用

第74回「特別展企画のうらばなし」
2025年4月6日（猿JOY！感謝祭特別企画）
高野智、赤見理恵、新宅勇太、綿貫宏史朗

第75回「キツネザルとマダガスカル生きものたち」
2025年4月26日、4月27日、4月29日
（ライト ver.） 赤見理恵

第76回「頭のホネから見るキツネザル」
2025年5月3日、5月4日（ライト ver.）
新宅勇太

第77回「キツネザルのジャンプのひみつ」
2025年5月5日、5月6日（ライト ver.）
高野智

第78回「Waoランド前史 八重山研究所について語る！」
2025年6月22日（延期） 10月25日
綿貫宏史朗、坂口真悟

第79回「私が見た海とサル」（ライト ver.）
2025年8月9日 四国 綿貫宏史朗
2025年8月10日 四国 阪倉若菜
2025年8月11日 幸島 堀川晴喜
2025年8月12日 幸島 川崎千穂
2025年8月13日 金華山 土性亮賀
2025年8月14日 幸島 高田晃行
2025年8月15日 四国 阿野隆平

13. オンライン講座の開催

(1) 続・霊長類学基礎講座 2025
（全6回、2024年度に第1回から第4回を実施）
方式：ビジターセンターでの聴講
Zoomによるオンライン配信（2週間の見逃し配信）
定員：各回90名
料金：各回800円（18歳未満500円）
全6回受講 4000円（18歳未満2500円）

第5回「霊長類の飼育展示史」
2025年4月19日 綿貫宏史朗
第6回「ヒトの来た道」
2025年5月10日 高野智

(2) 霊長類学基礎講座 2026
（全6回、2026年度に第5回、第6回を実施）
方式：ビジターセンターでの聴講
Zoomによるオンライン配信（2週間の見逃し配信）
定員：各回90名
料金：各回800円（18歳未満500円）
全6回受講 4000円（18歳未満2500円）

第1回「霊長類学入門」
2026年1月17日 高野智
第2回「霊長類の多様性生物学」
2026年2月7日 新宅勇太

第3回「霊長類の発達と子育て」

2026年2月28日

林美里

第4回「霊長類の社会」

2026年3月21日

綿貫宏史朗

14. 動物園イベント

(1) 通年イベント

① オンラインガイド

休園日、YouTubeでガイドをライブ配信（15分程度）

2025年度 計142回開催

② 園内ガイド 計453回開催

③ ニシゴリラ タロウさんのお食事タイム

計272回開催

④ スタンプラリー

園内7か所にスタンプを設置、オリジナルイラストの台紙を有料配布

2025年4月： 飼育の日

2025年5月： 国際マカク週間

2025年6月～8月： チンパンジーの日

2025年9月～11月： マダガスカル首都

2025年12月～2026年2月： 世界野生生物の日

2026年3月～： 飼育の日

⑤ クイズラリー

園内各所にオリジナルクイズを設置

年4回更新

⑥ 月刊『さるしり!』

各担当施設において、月毎のテーマに合わせて紹介

園内10か所に設置

4月：こんな動きに注目!

5月：こどものときの特徴

6月：ほお袋ある?ない?

7月：一緒にくらす他の動物

8月：歯!

9月：世界の長寿記録

10月：食べかたの特徴

11月：メンテナンス、大変ナンス

12月：毛の特徴

1月：オスとメス

2月：種名の秘密

3月：保全の実例

(2) 見学会・ガイドツアー

① 見学会「バックヤード」

日程：2025年4月13日、5月25日、6月29日、

10月5日、11月16日

13:00～13:40

のべ参加者数：68名

② 見学会「スローロリス保全センター」

日程：2025年4月29日、5月31日、6月15日、

9月13日、10月4日、11月9日、12月13日、

2026年2月11日

13:00～13:30

のべ参加者数：84名

③ 見学会「飼料倉庫」

日程：2025年5月11日、6月8日、7月6日、

8月16日、9月14日、11月23日、

2026年2月8日、3月22日

13:00～13:30

のべ参加者数：38名

④ 動物園の“裏側”から見る霊長類の社会

日程：2025年5月11日（不催行）、5月25日、

10月4日、11月9日

11:00～12:00

のべ参加者数：17名

赤見理恵、武田直子、奥村文彦

⑤ 動物園の“裏側”から見る身近な野生動物

日程：2026年1月25日、3月22日

11:00～12:00

のべ参加者数：12名

赤見理恵、江戸暢章

⑥ 水の楽習会

日程：2025年7月27日 8:30～10:00

参加者数：7名

下村実

⑦ 飼育員のお絵描き教室

日程：2025年6月21日、8月2日、11月22日、

2026年3月8日

13:00～13:30

のべ参加者数：17名

(3) おしごと体験

① おやつをつくろう!

日程：2025年4月20日（2プログラム実施）、

5月24日、6月7日、6月22日、7月12日、

7月13日、8月11日、8月30日、9月6日、

9月15日、9月20日、10月13日、

10月26日、11月1日、11月2日、11月8日、

11月24日、11月29日、2026年2月1日、

2月7日、2月21日、2月22日、2月23日、

2月28日、3月7日、3月14日、3月20日、

3月21日、3月28日、3月29日

13:00～13:30を基本として実施

のべ参加者数：291名

② 個体をみわけよう!

日程：2025年5月17日（ノドジロオマキザル）

6月1日（Waoランド・ワオキツネザル）

6月14日（チベットモンキー）

8月23日（ジェフロイクモザル・中止）

9月28日（バーバリーマカク）

11月15日（チベットモンキー）

11月30日（ノドジロオマキザル）

のべ参加者数：17名

③ 葉っぱをあつめよう!

日程：2025年4月12日、5月18日

13:00～13:30

のべ参加者数：13名

④ 記念日をお祝いしよう!

日程：2025年4月26日 ヨザル・ザクロ

4月27日 アヌビスヒヒ・ヤカン

5月10日 カニクイザル・アサガオ

6月28日 バーバリーマカク・ユンフーとクー

7月5日 マンドリル・ディスコ

アカオザル・エース

8月3日 アヌビスヒヒ・キゴマ

9月7日 ノドジロオマキザル・レオナルド

9月21日 ボンネットモンキー・シャンミン

カニクイザル・シエル

10月11日 ノドジロオマキザル・パル(不催行)

12月6日 ワタボウシタマリン・ヒー(不催行)

12月7日 アヌビスヒヒ 4頭

12月14日 トクモンキー・ファム
2026年1月31日 トクモンキー・フィルダー
13:00～14:00

のべ参加者数：49名

⑤ 獣医さんを知ろう！

日程：2025年7月26日、8月2日
11:00～11:45

のべ参加者数：2名

(4) 猿 JOY！感謝祭（4月開催分）

① ロングラン LIVE 配信

日程：2025年4月4日
内容：YouTube で開園前、昼、夕方の様子を配信

② ありがとう動画配信

配信日：2025年4月4日 17:00

③ 交流会

日程：2025年4月5日
内容：来園者との交流イベント
・麺 Labo & チーム泥酔プレゼンツ交流会
・個体カードで神経衰弱
・めざせ飼育員マスター
・○×クイズ大会～北エリア ver.
・新作メニュー試食会&ティータイム

④ 裏側ツアー

日程：2025年4月6日
内容：非公開エリアのガイドツアー
アフリカセンター、バックヤード、標本庫
ニホンザルの丘、新アフリカ館原野と森の家

⑤ ミュージウムトーク特別版

日程：2025年4月6日
内容：「特別展のうらばなし」と題した座談会

⑥ JMC クリエーターズマーケット「猿日～En-niche～」

日程：2025年4月5日、6日

⑦ イベントラリー「10Q ラリー」

日程：2025年4月5日、4月6日

⑧ 特別出店

日程：2025年4月5日、4月6日
出店者：kurimaro collection（いきものクッキー）
ウイングいちご（いちごと加工品）

(5) 国際マカク週間

① マカクガイドツアー

日程：2025年5月1日、5月2日

② マカクッキング（おしごと体験）

日程：2025年5月3日～5月6日
内容：「おやつをつくらう！」のマカク週間特別版

③ ○×マカクイズ

日程：2025年5月3日、5月5日

④ マカクガイド

日程：2025年5月4日（マカクたちの名前の由来）
5月6日（マカクたちの尻尾の長さ）

⑤ とにかくマカクモーニングツアー

日程：2025年5月5日 8:45～10:00

⑥ バーチャルツアー： リスペクト フォー マカクス
エブリウェア

日程：2025年5月6日
内容：野生のシシオザル・ボンネットモンキーの
調査地から Zoom で中継
JMC からのプレゼンテーション

協力：Macaque Coalition, Asia for Animals Coalition

⑦ かくかくしかじかマカクの日

日程：2025年5月7日
内容：休園日の貸し切りガイド

⑧ スタンプラリー～国際マカク週間 ver.～

日程：2025年5月1日～6月2日

⑨ マカクラベ～マカクたちの尻尾の長さを知ろう～

日程：2025年5月1日～
内容：アジア館前・モンキーバレイ前に輪投げを設置

⑩ 限定オンラインショップ

期間：2025年4月15日～5月31日
プラットフォーム：SUZURI

(6) 第8回飼育施設対抗なんでもアピール選手権大会
通称『甲子猿』

日程：2025年7月19日、7月20日、7月26日、
7月27日（予選）
8月9日、8月10日（準決勝）
8月24日（決勝） 13:00～13:30
8月31日（祝勝会）

場所：ビジターセンターホールおよび YouTube 配信
内容：飼育施設を8チームに分けて担当者が動画や
写真で動物の魅力や個性をプレゼンテーション
現地および X 上で投票（結果は翌日生配信）

(7) 世界ゴリラの日

① 日本のゴリラ飼育6園協同イベント『ライブ配信で
見る、ゴリラたちの今』

日程：2025年9月23日 13:30～14:30
内容：6園からの YouTube 配信

② 日本のゴリラ飼育6園協同イベント『スマホ回収
プロジェクト』

NPO 法人テラ・ルネッサンスのプロジェクトに協働
回収場所：アフリカセンター屋内観覧通路

③ 日本のゴリラ飼育6園協同イベント『日本のゴリラ
たちの過去と現在～そして未来～』（ポスター展示）

場所：アフリカセンター屋内観覧通路

④ 世界ゴリラの日記念公式オフ会

「ニシゴリラのタロウさんを囲む会」
日程：2025年9月24日 8:00～13:00
参加者：24名

(8) テナガザル・キツネザルコラボフェス ギボレムまつり

① ○×クイズ

日程：2025年10月18日（テナガザル ver.）
10月19日（テナガザル&キツネザル ver.）
10月31日（キツネザル ver.）

② ガイドを聞いて体験！

日程：2025年10月18日（キツネザル ver.）
10月19日、10月24日（テナガザル ver.）

- ③ キツネザルさがし・テナガザルさがし
期間：2025年10月18日～11月3日
内容：園内に設置した各10種のパネルからキーワードを集める。完成した人にプレゼント。

- ④ 園内ラジオ JMC WAVE
日程：2025年10月18日～11月3日 1日4回
内容：園内放送によるキツネザル・テナガザルの話題提供

- ⑤ Instagram ライブ配信
日程：2025年10月21日、10月28日

- ⑥ 特別ガイドを特等席で！ 腕なが～いヒトコンテスト
日程：2025年10月24日、10月25日

- ⑦ Wao ランド特別エリアにご招待！
日程：2025年10月25日～10月31日

- ⑧ モーニングツアー 日光浴を一緒にしよう！
日程：2025年11月1日 8:30～10:00
参加者：17名

- ⑨ VS トーク
日程：2025年11月3日 13:00～13:45
内容：テナガザル・キツネザル両担当者によるプレゼンテーション対決

- ⑩ ギボレムまつり展示コーナー

(9) 世界ニホンザルの日

- ① ポスターの作製・掲示
- ② 海とサルのごストーク
「島に住むニホンザル」
日程：2025年11月30日
講師：鈴木崇文（京都大学野生動物研究センター）
- ③ オンラインガイド 世界ニホンザルの日 Ver.
日程：2025年12月2日、12月3日
- ④ 生息地から事後配信～屋久島のニホンザル（ヤクシマザル）～
2026年1月4日 YouTubeにて公開

(10) 冬の風物詩 たき火にあたるサル

- 期間：2025年12月22日（冬至）～
2026年1月31日の土・日・祝および
1月2日（計15日）
時間：11:30～14:00
12:00～13:00の間にオンラインガイド
14:00よりキーパーズガイド
（ほかほかおイモタイム）

(11) クリスマスイベント

- ① サルへクリスマスプレゼント
2025年12月20日～12月22日で動物へのプレゼント（飼料）を受領
12月23日、12月24日に動物へプレゼント
- ② ご来猿いただいたみなさまにクリスマスプレゼント！
2025年12月20日～12月22日の来園者全員に粗品を贈呈

(12) 年末年始イベント

- ① 縁起物「奇跡のみかん」の配布
日程：2026年1月1日～1月3日
場所：アフリカセンター
10:00より各日先着30個を配布

- ② モンキーセンターからのお年玉♪
末尾「36」「8936」の年賀ハガキ持参者にプレゼント
受付期間：2025年1月1日～2月28日

- ③ モーニングツアー サルたちと初日の出を見る会
日程：2026年1月1日 6:55～10:00
参加者：25名

- ④ サルおせち
内容：飼育員作成の「サルおせち」をふるまう園内ガイド（13:00～）：

2026年1月1日

Wao ランド（ワオキツネザル）

1月2日 アフリカ館（パタスモンキー、アカオザル、ショウハナジログエノン、ベルベットモンキー）

1月3日 アフリカセンター（ニシゴリラ、バーバリーマカク）

1月4日 ヒヒの城（アヌビスヒヒ）

1月5日 リスザルの島（ボリビアリスザル）

1月8日 ギボンハウス（テナガザル全種）

1月9日 南米館（フサオマキザル）

1月10日 アジア館（チベットモンキー、トクモンキー、フランソワルトン）

1月11日 新アフリカ館 原野と森の家（アビシニアコロプス、マンドリル、マントヒヒ、パタスモンキー）

1月12日 アフリカセンター（チンパンジー）

Web 配信（YouTube）：

1月6日 バックヤード（カニクイザルほか）

1月7日 ニホンザルの丘（ニホンザル）

(13) 猿 JOY! 感謝祭（2月開催分）

- ① ありがとう動画配信（YouTube）
配信日：2026年2月6日
- ② ロングラン LIVE 配信（YouTube）
配信日：2026年2月13日
内容：15分程度の配信を9:00～16:00で12回実施
- ③ お宝公開ガイド
日程：2026年2月14日 10:30～
内容：2020年にTV番組で取り上げた資料等の特別展示のガイド
- ④ JMC マニア決定戦
日程：2026年2月14日 13:00～13:30
- ⑤ ヒヒの城イチゴまつり～おやつをつくろう！感謝祭 ver.～
日程：2026年2月14日 14:00～14:30
- ⑥ 裏側ツアー
日程：2026年2月15日 13:00～13:45
コース：アフリカセンター、病院、標本庫、ニホンザルの丘、新アフリカ館原野と森の家
- ⑦ みんなでお絵かき～70周年あの日このサル～
日程：2026年2月15日 14:00～14:30
内容：無料休憩所の壁面に描いた絵に色を塗る
- ⑧ JMC クリエーターズマーケット「猿日～EN-niche～」
日程：2026年2月14日、2月15日
- ⑨ イベントラリー「10Qラリー」
日程：2026年2月14日、2月15日
- ⑩ 私たちに会いに来て！ミーグリつきキーパーズガイド
日程：2026年2月14日、2月15日

⑪ マニアックガイド

日程：2026年2月14日、2月15日
コース：こんなところに進化の秘密が!?マニアック
骨ガイド 高野智
チンパンジーにも思春期?!恋?! 林美里
名は体を表す?マニアックに種名をたどる
新宅勇太
世界の珍猿をめぐる 綿貫宏史朗

(14) 特定日開催

① シロガオサキのモップくん お誕生日記念イベント

日程：2025年4月13日
内容：モーニングツアーと公式オフ会
参加者：25名

② VS 飼育員

日程：2025年4月19日
内容：飼育作業や飼育員の技術にちなんだ4種目で
飼育員と対決

③ 澤田酒造まつり@日本モンキーセンター

日程：2025年4月20日
出店者：澤田酒造、月肴、kurimaro collection
犬山朝市
同日開催：JMCクリエイターズマーケット
猿日～澤田酒造まつりの陣～

日程：2025年11月16日
出店者：澤田酒造、月肴、kurimaro collection
犬山朝市、ウイングいちご、名栄社、
八百屋のケンちゃん

同日開催：JMCクリエイターズマーケット
猿日～澤田酒造まつりの陣式～

④ 特別展関連イベント

ココリコ田中と学ぼう!サルと海のふしぎな関係
日程：2025年8月17日 10:30～12:00
内容：ココリコ田中直樹氏と下村園長による
スペシャルトーク

⑤ 動物慰霊祭

日程：2025年10月17日
備考：10月11日～17日の間、慰霊祭のお供え物を募集
来賓：原欣伸犬山市長

⑥ 【祝! W1周年】NMB48 水田詩織と祝う特別イベント

日程：2026年2月17日

⑦ チベットモンキーお別れ会

日程：2026年3月1日

⑧ ザルバースデー

日程：2026年3月20日

15. ワイルドサマーキャンプ

日程：第1回 2025年7月29日～7月30日
参加者：24名
第2回 2025年8月5日～8月6日
参加者：23名
対象：小学校3年生～中学校3年生
定員24名(最少催行人数12名)
内容：レクチャー・行動観察・石器作り
カメラトラップ設置 など
参加費：21,000円(友の会年会費2000円を含む)

連携：名古屋 ECO 動物海洋専門学校
「企業プロジェクト」を受け入れ、
学生15名が参加
園内でのラリー企画を立案・実施したほか、
運営全般を補助

16. 外部イベントへの会場提供

(1) 犬山フルまちミュージアム 2025 企画展

「TARO EXPLODED 若い太陽の塔と対立の交差点」
主催：犬山フルまちミュージアム実行委員会
協力：公益財団法人日本モンキーセンター
後援：犬山市
国際芸術祭「あいち 2025」パートナーシップ・プログラム

① 展示

日程：2025年10月12日～11月30日
会場：ビジターセンター内企画展示室および園内各所

② ミュージアムトーク&エクスカーション

「プリミティブ。表現・創造の根源」
日程：2025年11月1日 13:30～17:00
登壇者：大杉浩司
(元川崎市岡本太郎美術館キュレーター)
齋藤亜矢(京都芸術大学教授)
高野智(日本モンキーセンターエドゥケーター)

会場：ビジターセンターホールほか

③ 開催記念アートワークショップ

「ヘンテコになって、ヘンテコを生みだそう」
日程：2025年11月1日 13:00～15:00
ファシリテーター：池田育望(愛知中学・高等学校)
会場：無料休憩所

④ 開催記念 ニシゴリラタロウのおやつづくり体験

日程：2025年11月1日 11:00～11:40
主催：日本モンキーセンター

⑤ 開催記念 誰よりも早く展示を見るモーニングツアー

日程：2025年10月12日(不催行)
主催：日本モンキーセンター

⑥ 開催記念 モーニングツアー～心残りがないように～

日程：2025年11月30日 8:30～10:00
主催：日本モンキーセンター

(2) NHK 朝の連続テレビ小説誘致署名キックオフイベント

日程：2025年11月16日 10:00～15:00
主催：犬山市
内容：丹波篠山市とのオンライン中継
クイズスタンプラリーなど

17. ホームページの充実

- (1) 日本語サイト <https://www.j-monkey.jp/>
Webサイトの更新件数：218件
(サポーター専用ページを除く)
主な更新：トップページ写真、ニュース
Web 霊長類図鑑、イベント案内 など

- (2) 外国語サイト
(英) <https://www.j-monkey.jp/lng/en/index.html>

- (3) 寄附・支猿サイト
<https://sites.google.com/view/helpjmc>

- (4) スローロリス保全センターサイト
https://sites.google.com/view/jmc-fr5/SLCC_Home

18. メールマガジン「新JMC通信」の発行

2025年度配信数 28回
猿JOY! 感謝祭、友の会のつどい開催します！
2025年4月2日
見学会「バックヤード」4/13(日)に開催します！
4月9日
VS 飼育員、澤田酒造まつり開催します！ 4月16日
GWのモンキーセンターは「マカク」づくしです！
4月23日
続・日本モンキーセンター霊長類学基礎講座2025
最終回申し込みは明日まで！ 5月7日
モンキーキャンパスの申し込みは5/18まで！
5月14日
モンキーキャンパスの申込締切を5/25(日)までに
延長しました 5月21日
南米館クラウドファンディングに挑戦中！ 6月11日
見学会「バックヤード」、モンキー日曜サロン
6/29(日)開催！ 6月25日
特別展「海とサルの間」ところ」内覧会を開催します
7月14日
海とサルのゲストトーク9/21(日)に開催します！
9月16日
「見学会」申し込み受付中です！ 9月24日
10/12(日)友の会のつどいを開催します 10月9日
10/17(金)は創立69周年記念日 動物慰霊祭を
執りおこないます 10月15日
10/24(金)は国際テナガザルの日！ 10月22日
10/31(金)は世界キツネザルの日！ 10月29日
見学会「動物園の“裏側”から見る霊長類の社会」
11/9(日)開催！ 11月6日
澤田酒造まつり@日本モンキーセンター 11/16(日)
開催！ 11月13日
ミュージアムトークライトver.11/22~24で開催します！
11月20日
特別展「海とサルの間」ところ」11/30(日)で
終了します 11月27日
冬の風物詩「たき火にあたるサル」12/22(月・冬至)
から始まります！ 12月18日
お正月イベントのお知らせ 12月30日
干支講演会「ウマとヒトをつなぐ」1/10(土)
開催します！ 2026年1月8日
日本モンキーセンター霊長類学基礎講座2026
初回講座は1/17(土)開催！ 1月14日

猿JOY! 感謝祭2/14(土)、15(日)開催します！
2月11日
ミュージアムトーク3/7(土)、8(日)で開催します！
3月5日
ミュージアムトーク3/14(土)、15(日)で開催！
申込受付中のイベントもたくさんです！ 3月12日
特別展「70ストーリーズ」オープンしました！
3月26日

19. ブログ「飼育の部屋」

<https://www.j-monkey.jp/jmckeep/>
2025年度投稿数 238件
(うち126件はオンラインサロン限定記事)

20. Facebookを通じた情報発信

<https://www.facebook.com/japanmonkeycentre/>
投稿数：7件
フォロワー数：3,571(2026年3月31日時点)

21. X(旧Twitter)を通じた情報発信

日本語版
https://x.com/j_monkeycentre
投稿数：2,225件
フォロワー数：46,337(2026年3月31日時点)

(1)「〇〇の日」ポスト

関係する国際デー、記念日などにあわせた記事を投稿
2025年5月1~7日 国際マカク週間
5月22日 国際生物多様性の日
7月14日 世界チンパンジーの日
8月15日 国際ワタボウシタマリンの日
9月13日 国際スローロリスの日
9月24日 世界ゴリラの日
10月24日 国際テナガザルの日
10月31日 世界キツネザルの日
12月3日 世界ニホンザルの日
2026年3月3日 世界野生生物の日

英語版

<https://x.com/JpnMonkeyCentre>
投稿数：0件
フォロワー数：563(2026年3月31日時点)

22. YouTubeの配信(動画・スライドショー)

公式チャンネル
2025年度新規公開動画：26本、ショート動画69本
動物園イベント・特別展関連動画
飼育職員撮影の動物動画
園長の部屋
ライブ配信：187回
チャンネル登録者数：7,722(2026年3月31日時点)

23. Instagramからの配信

<https://www.instagram.com/jpnmonkeycentre/>
2025年度新規投稿：775件
(投稿、リール動画、ストーリーズ)
フォロワー数：12,457(2026年3月31日時点)

24. マスメディアへの情報提供

(1) プレスリリース

「飼育の日」にイベント「VS 飼育員」を開催します！
2025年4月15日
ニシゴリラのタロウが52歳になります！ 4月15日
動物園なのに海！？ 特別展「海とサルとの交わる場所」
7月19日（土）にオープン！ 7月10日
「甲子猿」開催のお知らせ 7月14日
アビシニアコロブス出産のお知らせ 7月18日
ボリビアリスザル出産のお知らせ 7月22日
「ココリコ田中と学ぼう！サルと海のふしぎな関係」
8/17(日)開催 8月13日
日本モンキーセンターにて実施中のクラウドファンディング
「動物病院・バックヤードの大型暖房機を買い替えたい」の
お知らせ 9月2日
犬山フルまちミュージアム主催企画展「TARO
EXPLODED 若い太陽の塔と対立の交差点」開催に
ついて 10月2日
10/17（金）動物慰霊祭開催のお知らせ 10月14日
特別展に、「ゆかいなきもの図鑑」などで有名な
ぬまがさわたりさんの書き下ろしイラストが登場しました！
10月22日
エンリッチメント大賞「正田賞」受賞のお知らせ
10月23日
12/3は「世界ニホンザルの日」です！ 11月27日
冬の風物詩『たき火にあたるサル』今年も開催します
12月5日
クロミミマーモセット出産のお知らせ 12月15日
2026年お正月イベントのお知らせ 12月22日
名駅の都市型サウナ「SAUNA MONKEY」との提携について
2026年2月3日
チベットモンキー引っ越しのお知らせ 2月16日

(2) 新聞記事掲載 17件

(3) テレビ 41件

(4) ラジオ 0件

(5) 雑誌等掲載 7件（広報犬山連載を除く）

(6) Webサイト 13件

(7) その他 ポスター 1件

※確認できたもののみ

(4) 図書及び学術誌の刊行

1. 和文誌「モンキー」の発行

モンキー編集委員会（2026年3月31日現在）

編集長

林美里（中部学院大学、日本モンキーセンター）

編集委員

赤見理恵（日本モンキーセンター）

今井由香（日本モンキーセンター）

江藤彩子（日本モンキーセンター）

川上文人（中部大学）

齋藤亜矢（京都芸術大学）

新宅勇太（京都大学、日本モンキーセンター）

高野智（日本モンキーセンター）

田和優子（多摩動物公園）

早川卓志（北海道大学）

平田加奈子（京都大学）

平田聡（京都大学）

松田一希（京都大学）

山梨裕美（京都市動物園）

湯本貴和（日本モンキーセンター）

綿貫宏史朗（日本モンキーセンター）

協賛団体

天野エンザイム株式会社

株式会社畑中建築事務所

株式会社フェイスワン

支援団体

株式会社三和化学研究所

大学等賛助会員

中部大学

中部学院大学

名古屋 ECO 動物海洋専門学校

人間環境大学環境科学部フィールド生態学科・環境データ

サイエンス学科

協力

京都大学野生動物研究センター

京都大学長瀬学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院

京都芸術大学文明哲学研究所

京都市動物園

バックナンバーの公開：

<https://www.j-monkey.jp/lng/jmonkey/index.html>

目次

10巻1号（2025年6月1日発行）

表紙写真 ボノボ

（撮影：湯本貴和 撮影地：コンゴ民主共和国）

特集グラビア 世界の熱帯雨林といきものたち 2-3

連載「ぼくはこうしてゴリラになった」第34回

モンキーセンターに職を得る：山極壽一 4-5

連載「生態学者が往く」第30回 エジプト・アブシンベルの旅： 湯本貴和 6-7	日本モンキーセンターだより 高知県の“幻の”野猿公苑を訪ねる： 綿貫 宏史朗 52-53
連載「タイ王国を巡る」第13回 タイで一番美しい仏像とアッサムモンキーに出会う旅 〈前編〉： 豊田有 8-9	世界の霊長類第18回 ワオキツネザル： 赤見理恵 54
連載「大型類人猿探訪」第37回 「人間性」とは何か： 林美里 10-11	収蔵資料めぐり第18回 eb-1157 魔除け猿面： 新宅勇太 55
連載「ワイワイワイルドライフ」第13回 ウマは血縁によらない社会をつくる： 前田玉青 12-13	雑誌モンキーのご案内・団体協賛制度のご案内 56 ニュース・編集後記 裏表紙裏
連載「自然と芸術」第34回 文明と野生： 吉岡洋 14-15	10巻3号（2025年12月1日発行） 表紙 チンパンジー（撮影：高野智 撮影地：タンザニア ゴンベ国立公園）
連載「動物園・水族館だより」第28回 動物園で鳥を「みる」： 内藤アンネグレート素 16-17	表紙裏 パント・フート： 伊谷原一 特集グラビア ジェーン・グドール博士とゴンベ国立公園 58-59
連載「環境教育実践」第35回 ボルネオフレンドシップキャンプ： 吉成咲希 18-19	連載「ぼくはこうしてゴリラになった」第36回 動物園と野生をつなぐ： 山極壽一 60-61
アッサムモンキーの調査地を探して：インド・ネパール編： 小川秀司 20-21	連載「生態学者が往く」第32回 インド・アーグラの旅： 湯本貴和 62-63
熱帯のタネまき屋さん、サイチョウ類： 北村俊平 22-23	連載「タイ王国を巡る」第15回 海とサル：港町にくらすカニクイザル〈前編〉： 豊田有 64-65
日本モンキーセンターだより はじめての屋久島： 川原宇翔 24-25	連載「大型類人猿探訪」第39回 ジェーン・グドールさんを偲んで： 林美里 66-67
世界の霊長類第17回 ハイイロスレンダーロリス： 綿貫宏史朗 26	連載「ワイワイワイルドライフ」第15回 石垣島でカムリワシを追う： 村山美穂 68-69
収蔵資料めぐり第17回 Pr. 5724 ほか ワオキツネザルの尾の骨はいくつ あるのか： 高野智 27	連載「自然と芸術」第36回 漆工芸制作に使われる動物の素材： 三田村有芳 70-71
雑誌モンキーのご案内・団体協賛制度のご案内 28 ニュース・編集後記 裏表紙裏	連載「動物園・水族館だより」第30回 飼育員、ウガンダで野生のチンパンジーに会う： 櫻井ひかり・新美圭汰 72-73
10巻2号（2025年9月1日発行） 表紙写真 ニホンザル（撮影：高野智 撮影地：宮崎県幸島） 特集グラビア スタッフの見た海とサル 30-31	連載「環境教育実践」第37回 「動物園教育研究会」の初期事務局を担当して： 水野礼子 74-75
連載「ぼくはこうしてゴリラになった」第35回 花山原生林の調査： 山極壽一 32-33	「下北のサル」を撮りつづけて： 松岡史朗 76-77
連載「生態学者が往く」第31回 ルーマニア・ブコヴィナの旅： 湯本貴和 34-35	耳垢にひそむ小さな住人たち— <i>Malassezia</i> 研究の新しい アプローチ： 立河龍利 78-79
連載「タイ王国を巡る」第14回 タイで一番美しい仏像とアッサムモンキーに出会う旅 〈後編〉： 豊田有 36-37	日本モンキーセンターだより 非公開エリアでのクラウドファンディング： 藤森唯 80-81
連載「大型類人猿探訪」第38回 イメージする心： 林美里 38-39	世界の霊長類第19回 コモンリスザル： 綿貫宏史朗 82
連載「ワイワイワイルドライフ」第14回 氷河がつくる海でアザラシの行動に迫る： 櫻木雄太 40-41	収蔵資料めぐり第19回 Pr. 5604 アカゲザル：種子骨のはなし： 高野智 83
連載「自然と芸術」第35回 藍の学校・琉球篇を振り返る： 梅崎由起子 42-43	雑誌モンキーのご案内・団体協賛制度のご案内 84 ニュース・編集後記 裏表紙裏
連載「動物園・水族館だより」第29回 動物を通して世界を知る、わたしたちを知る： 山梨裕美 44-45	10巻4号（2026年3月1日初版発行） 表紙 ニシゴリラ（撮影：安井早紀 撮影地：京都市動物園）
連載「環境教育実践」第36回 木更津社会館保育園における「森の保育園」の試み： 直井洋司 46-47	特集グラビア 動物園のゴリラ 86-87
アッサムモンキーの群れについていくアカゲザルのオスたち： 小川秀司 48-49	連載「ぼくはこうしてゴリラになった」第37回 フォッシー博士との最後の出会い： 山極壽一 88-89
野生動物への関心と人間—動物のつながりに関する意識： 日本の動物園訪問者のデータ報告：ラケル コスタ 50-51	連載「生態学者が往く」第33回 バンガラディッシュ・シュンドルボンの旅： 湯本貴和 90-91

連載「タイ王国を巡る」第 16 回	
海とサル：港町にくらすカニクイザル〈後編〉：	
豊田有	92-93
連載「大型類人猿探訪」第 40 回	
チンパンジー・アイの思い出： 林美里	94-95
連載「ワイワイワイルドライフ」第 16 回	
マレーシア・ボルネオ島の動物に出会う： 村山美穂	96-97
連載「自然と芸術」第 37 回	
タカラガイと終わらない対話： 大辻都	98-99
連載「動物園・水族館だより」第 31 回	
ゴリラたちの成長～独り立ちと出産を経験して：	
安井早紀	100-101
連載「環境教育実践」第 38 回	
ボノボが身近であることは「守りたい」につながるか？：	
徳山奈帆子	102-103
島にすむニホンザル： 鈴木崇文	104-105
なぜ日本モンキーセンターで若い太陽の塔の展示が	
おこなわれたか： 戸田祐希利・服部敦	106-107
日本モンキーセンターだより	
エンリッチメント大賞 2025 表彰式・受賞者記念講演に	
いってきました： 土性亮賀	108-109
世界の霊長類第 20 回	
パタスモンキー： 赤見理恵	110
収蔵資料めぐり第 20 回	
eb-3327 浅草観世音額 鶴退治図： 新宅勇太	111
雑誌モンキーのご案内・団体協賛制度のご案内	112
ニュース・お知らせ・編集後記	裏表紙裏

2. 書籍の刊行

- (1) 増補改訂版 霊長類図鑑 サルを知ることがヒトを知ること
発行日：2025 年 10 月 17 日
発行所：京都通信社
ISBN: 978-4-903473-63-5

(5) 標本等の資料の収集・管理及び展示

1. 骨格・液浸・剥製・毛皮標本

(1) 標本点数

学名	和名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
Cheirogaleidae	コビトキツネザル科	4	7	7	1	4	0
<i>Microcebus murinus</i>	ハイイロネズミキツネザル	4	7	7	1	4	0
Lemuridae	キツネザル科	75	77	61	73	9	9
<i>Eulemur fulvus</i>	ブラウンキツネザル	1	2	2	2	0	1
<i>Eulemur macaco</i>	クロキツネザル	7	9	7	8	0	1
<i>Eulemur mongoz</i>	マンゲースキツネザル	6	7	4	0	3	2
<i>Lemur catta</i>	ワオキツネザル	43	39	31	35	4	4
<i>Varecia variegata</i>	クロシロエリマキキツネザル	17	20	17	28	2	1
Lemuridae sp.		1	0	0	0	0	0
Galagidae	ガラゴ科	34	41	25	23	7	6
<i>Galago senegalensis</i>	ショウガラゴ	27	29	21	17	4	5
<i>Galagoides demidoff</i>	コビトガラゴ	0	2	0	0	0	0
<i>Otolemur crassicaudatus</i>	オオガラゴ	6	9	4	6	3	1
Galagidae sp.		1	1	0	0	0	0
Lorisidae	ロリス科	78	92	69	35	9	14
<i>Loris tardigradus</i>	スレンダーロリス	7	9	6	1	3	0
<i>Nycticebus bengalensis</i>	ベンガルスローロリス	1	3	3	0	0	0
<i>Nycticebus coucang</i>	スンダスローロリス	41	32	13	4	3	3
<i>Nycticebus pygmaeus</i>	レッサースローロリス	22	38	38	28	0	9
<i>Perodicticus potto</i>	ポト	6	10	9	2	3	2
Lorisidae sp.		1	0	0	0	0	0
Tarsiidae	メガネザル科	2	5	5	2	3	4
<i>Carlito syrichta</i>	フィリピンメガネザル	2	5	5	2	3	4
Callitrichidae	マーモセット科	667	651	559	373	46	52
<i>Callimico goeldii</i>	ゲルディモンキー	15	18	13	13	2	3
<i>Callithrix geoffroyi</i>	シロガオマーモセット	31	39	35	11	3	4
<i>Callithrix jacchus</i>	コモンマーモセット	140	117	92	66	2	9
<i>Callithrix penicillata</i>	クロミミマーモセット	44	53	52	40	2	8
<i>Calithrix</i> sp.		5	0	0	0	0	0
<i>Mico argentata</i>	シルバーマーモセット	25	27	19	4	3	2
<i>Mico humeralifera</i>	サンタレムマーモセット	9	14	14	17	0	1
<i>Cebuella pygmaea</i>	ピグミーマーモセット	86	93	86	78	7	11
<i>Leontopithecus rosalia</i>	ゴールデンライオンタマリン	17	16	9	6	7	3
<i>Saguinus bicolor</i>	フタイロタマリン	2	2	2	0	1	0
<i>Saguinus geoffroyi</i>	ジェフロイタマリン	11	11	10	0	1	0
<i>Saguinus imperator</i>	エンペラータマリン	5	6	5	6	2	0
<i>Saguinus labiatus</i>	ムネアカタマリン	35	36	31	18	3	1
<i>Saguinus leucopus</i>	シロテタマリン	8	9	6	0	3	0
<i>Saguinus midas</i>	アカテタマリン	14	16	16	6	2	2
<i>Saguinus mystax</i>	クチヒゲタマリン	30	33	31	23	2	2
<i>Saguinus oedipus</i>	ワタボウシタマリン	102	94	81	51	2	4
<i>Saguinus</i> sp.		8	0	0	0	0	0
<i>Leontocebus fuscicollis</i>	セマダラタマリン	7	5	1	3	1	0
<i>Leontocebus nigricollis</i>	クロクビタマリン	62	53	47	22	1	0
<i>Leontocebus weddelli</i>	ウェッデルタマリン	11	9	9	9	2	2
Aotidae	ヨザル科	75	75	44	43	5	11
<i>Aotus</i> sp.	ヨザル	75	75	44	43	5	11

学名	和名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
Cebidae	オマキザル科	147	132	110	85	7	9
<i>Sapajus apella</i>	フサオマキザル	20	19	12	23	2	0
<i>Cebus albifrons</i>	シロガオオマキザル	9	10	11	8	1	1
<i>Cebus capucinus</i>	ノドジロオマキザル	10	12	16	9	1	1
<i>Cubus olivaceus</i>	ナキガオオマキザル	1	2	1	5	0	0
<i>Cebus</i> sp.		4	0	0	0	0	0
<i>Saimiri boliviensis</i>	ボリビアリスザル	9	12	11	14	0	5
<i>Saimiri sciureus</i>	コモンリスザル	89	77	59	26	3	2
Cebidae sp.		5	0	0	0	0	0
Atelidae	クモザル科	93	97	64	49	18	12
<i>Alouatta caraya</i>	クロホエザル	11	12	12	1	4	0
<i>Alouatta guariba</i>	カッシュクホエザル	1	1	1	0	2	0
<i>Alouatta seniculus</i>	アカホエザル	5	2	2	1	0	0
<i>Alouatta</i> sp.		6	1	1	0	0	0
<i>Ateles belzebuth</i>	ケナガクモザル	3	10	5	2	2	0
<i>Ateles fusciceps</i>	コロンビアクロクモザル	0	1	0	0	0	0
<i>Ateles geoffroyi</i>	ジェフロイクモザル	22	34	23	32	4	4
<i>Ateles paniscus</i>	クロクモザル	12	17	8	0	3	1
<i>Ateles hybrid</i>	クモザル (種間交雑)	1	0	0	0	0	0
<i>Ateles</i> sp.		14	0	0	0	0	0
<i>Lagothrix lagothricha</i>	ウーリーモンキー	13	17	10	12	3	6
<i>Lagothrix lagothricha cana</i>	ハイイロウーリーモンキー	4	2	2	1	0	1
<i>Lagothrix</i> sp.		1	0	0	0	0	0
Pitheciidae	サキ科	37	36	33	16	15	1
<i>Callicebus cupreus</i>	ドウイロティティ	2	1	2	0	2	0
<i>Callicebus donacophilus</i>	ボリビアハイイロティティ	5	5	4	0	2	1
<i>Callicebus moloch</i>	ダスキーティティ	13	13	14	8	2	0
<i>Callicebus torquatus</i>	エリマキティティ	1	1	0	0	0	0
<i>Callicebus</i> sp.		2	1	1	0	1	0
<i>Cacajao calvus rubicundus</i>	アカウアカリ	3	2	1	0	2	0
<i>Chiropotes satanas</i>	クロヒゲサキ	2	0	0	0	0	0
<i>Chiropotes chiropotes</i>	ヒゲサキ	0	1	0	0	0	0
<i>Pithecia monachus</i>	モンクサキ	5	6	5	0	4	0
<i>Pithecia pithecia</i>	シロガオサキ	4	6	6	8	2	0
Cercopitheciidae	オナガザル科	2972	2075	1574	799	92	152
<i>Macaca arctoides</i>	ベニガオザル	11	13	8	5	0	0
<i>Macaca assamensis</i>	アッサムモンキー	5	6	4	1	0	0
<i>Macaca cyclopis</i>	タイワンザル	68	66	54	26	2	3
<i>Macaca fascicularis</i>	カニクイザル	677	309	199	123	1	71
<i>Macaca fuscata fuscata</i>	ニホンザル	711	528	402	187	11	18
<i>Macaca fuscata yakui</i>	ヤクシマザル	452	347	251	126	3	2
<i>Macaca fuscata</i>	(ニホンザル)	10	1	1	0	0	0
<i>Macaca maura</i>	ムーアモンキー	9	11	5	1	1	0
<i>Macaca mulatta</i>	アカゲザル	146	118	109	17	0	0
<i>Macaca nemestrina</i>	ミナミブタオザル	38	38	34	24	1	0
<i>Macaca nigra</i>	クロザル	9	7	7	0	0	0
<i>Macaca ochreata brunescens</i>	ブーツマカク	2	0	0	0	0	0
<i>Macaca radiata</i>	ボンネットモンキー	67	60	42	38	2	3
<i>Macaca silenus</i>	シシオザル	12	14	14	8	2	0
<i>Macaca sinica</i>	トクモンキー	17	20	18	13	0	4
<i>Macaca sylvanus</i>	バーバリーマカク	17	19	16	10	2	2
<i>Macaca thibetana</i>	チベットモンキー	6	5	5	1	0	0
<i>Macaca tonkeana</i>	トンケアンモンキー	2	0	0	0	0	0
<i>Macaca hybrid</i>		2	1	0	0	3	0
<i>Macaca</i> sp.		94	0	0	0	0	0

学名	和名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
<i>Cercocebus atys</i>	スーティーマンガベイ	5	5	3	2	1	1
<i>Cercocebus lunulatus</i>	シロカンムリマンガベイ	7	9	8	5	2	1
<i>Cercocebus agilis</i>	アジルマンガベイ	2	1	2	0	0	0
<i>Cercocebus chrysogaster</i>	ゴールデンマンガベイ	2	4	4	1	0	0
<i>Cercocebus torquatus torquatus</i>	シロエリマンガベイ	4	5	2	1	1	0
<i>Cercocebus hybrid</i>		2	1	2	0	0	0
<i>Cercocebus sp.</i>		3	0	0	0	0	0
<i>Lophocebus albigena</i>	ホオジロマンガベイ	2	2	1	0	2	0
<i>Mandrillus leucophaeus</i>	ドリル	13	12	3	5	3	1
<i>Mandrillus sphinx</i>	マンドリル	18	16	13	16	1	0
<i>Papio anubis</i>	アヌビスヒヒ	64	49	40	62	1	1
<i>Papio cynocephalus</i>	キイロヒヒ	17	15	6	0	0	0
<i>Papio hamadryas</i>	マントヒヒ	6	5	6	16	0	1
<i>Papio papio</i>	ギニアヒヒ	6	7	7	0	0	0
<i>Papio sp.</i>		15	0	0	0	0	1
<i>Theropithecus gelada</i>	ゲラダヒヒ	5	5	2	2	1	0
<i>Allenopithecus nigroviridis</i>	アレンモンキー	1	1	1	1	1	0
<i>Cercopithecus albogularis</i>	サイクスモンキー	8	10	9	1	2	1
<i>Cercopithecus ascanius</i>	アカオザル	10	9	7	0	0	1
<i>Cercopithecus ascanius schmidti</i>	シュミットグエノン	5	4	4	0	1	0
<i>Cercopithecus cephus</i>	クチヒゲグエノン	5	6	4	0	1	0
<i>Cercopithecus diana</i>	ダイアナモンキー	2	3	2	0	1	0
<i>Cercopithecus doggetti</i>	シルバークグエノン	2	1	0	0	1	0
<i>Cercopithecus hamlyni</i>	フクロウグエノン	1	3	2	0	2	1
<i>Cercopithecus lhoesti</i>	ロエストグエノン	4	5	5	1	1	0
<i>Cercopithecus mitis</i>	ブルーモンキー	2	2	1	0	0	1
<i>Cercopithecus mona</i>	モナモンキー	12	13	9	10	1	1
<i>Cercopithecus neglectus</i>	ブラッサグエノン	15	16	13	3	1	2
<i>Cercopithecus petaurista buettikoferi</i>	バツティコファーグエノン	10	11	7	3	1	2
<i>Cercopithecus sp.</i>		3	1	1	0	0	1
<i>Chlorocebus aethiops</i>	サバンナモンキー	16	13	10	5	4	1
<i>Chlorocebus cynosuros</i>	マルブラウクモンキー	2	3	3	0	0	0
<i>Chlorocebus pygerythrus</i>	ベルベットモンキー	2	1	1	0	0	0
<i>Miopithecus talapoin</i>	タラポアン	14	14	12	2	4	1
<i>Miopithecus ogouensis</i>	キタタラポアン	0	1	1	0	0	0
<i>Erythrocebus patas</i>	パタスモンキー	126	82	68	21	2	5
<i>Cercopithecinae sp.</i>		21	0	0	0	0	0
<i>Colobus angolensis</i>	アンゴラコロブス	15	23	22	5	3	0
<i>Colobus guereza</i>	アビシニアコロブス	17	25	24	4	2	6
<i>Colobus polykomos</i>	キングコロブス	6	1	0	0	0	1
<i>Ptilocolobus badius</i>	ニシアカコロブス	3	3	0	0	3	1
<i>Presbytis melalophos</i>	クロカンムリリーフモンキー	0	1	1	0	0	0
<i>Semnopithecus entellus</i>	ハヌマンラングール	51	54	39	17	4	11
<i>Trachypithecus cristatus</i>	シルバールトン	25	30	30	27	2	1
<i>Trachypithecus francoisi</i>	フランソワルトン	13	11	11	5	3	2
<i>Trachypithecus obscurus</i>	ダスキールトン	11	10	7	0	1	1
<i>Trachypithecus pileatus</i>	ボウシラングール	6	7	4	2	3	0
<i>Trachypithecus vetulus</i>	カオムラサキラングール	3	3	2	0	1	1
<i>Trachypithecus vetulus vetulus</i>	ニシカオムラサキラングール	1	1	0	0	1	1
<i>Presbytis sp.</i>		4	0	0	0	0	0
<i>Nasalis larvatus</i>	テングザル	6	7	6	2	5	1
<i>Pygathrix nemaeus</i>	アカアシドゥ克蘭グール	1	0	0	0	1	0
<i>Colobinae sp.</i>		1	1	0	0	0	0
<i>Cercopithecidae sp.</i>		22	0	0	0	0	0

学名	和名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
Hylobatidae	テナガザル科	87	52	39	9	12	17
<i>Hylobates agilis</i>	アジルテナガザル	11	9	6	2	2	0
<i>Hylobates klossii</i>	クロステナガザル	2	2	0	0	0	0
<i>Hylobates lar</i>	シロテナガザル	43	19	15	1	4	2
<i>Hylobates moloch</i>	ワウワウテナガザル	3	4	3	2	1	0
<i>Hylobates pileatus</i>	ボウシテナガザル	5	1	0	0	1	2
<i>Hylobates (moloch + lar)</i>		1	1	1	0	0	0
<i>Hylobates</i> sp.		8	0	0	0	0	13
<i>Hoolock hoolock</i>	フーロックテナガザル	2	2	2	0	0	0
<i>Nomascus concolor</i>	カンムリテナガザル	3	2	4	0	1	0
<i>Symphalangus syndactylus</i>	フクロテナガザル	9	12	8	4	3	0
Hominidae	ヒト科	28	30	19	10	16	1
<i>Pongo pygmaeus</i>	ボルネオオランウータン	8	6	3	1	3	1
<i>Pan troglodytes</i>	チンパンジー	12	19	11	9	5	0
<i>Gorilla gorilla gorilla</i>	ニシローランドゴリラ	6	3	3	0	6	0
<i>Gorilla beringei graueri</i>	ヒガシローランドゴリラ	2	2	2	0	2	0
Primates 科不明	霊長目 科不明	1	0	0	0	0	0
misc. Primates		1	0	0	0	0	0
Scandentia	登木目	24	21	10	2	5	5
<i>Dendrogale melanura</i>	ミナミホソオツパイ	1	0	0	0	0	0
<i>Tupaia belangeri</i>	キタツパイ	10	13	8	2	1	5
<i>Tupaia gracilis</i>	ホソツパイ	1	0	0	0	0	0
<i>Tupaia minor</i>	ショウツパイ	1	0	0	0	0	0
Tupaiaidae sp.		10	8	2	0	4	0
<i>Ptilocercus lowii</i>	ハネオツパイ	1	0	0	0	0	0
Other mammals	その他の哺乳類	234	27	0	48	2	9
Artiodactyla	偶蹄目	81	0	0	2	1	1
Carnivora	食肉目	71	0	0	0	1	3
Chiroptera	翼手目	1	0	0	0	0	0
Diprodontia	双前歯目	18	0	0	0	0	0
Dermoptera	皮翼目	1	0	0	0	0	0
Lagomorpha	兎形目	10	12	0	0	0	0
Perissodactyla	奇蹄目	4	0	0	0	0	0
Pilosa	有毛目	1	0	0	0	0	0
Rodentia	齧歯目	37	15	0	42	0	2
Eulipotyphla	真無盲腸目	10	0	0	4	0	3
Others	その他	29	2	0	16	7	4
Aves	鳥類	21	0	0	0	6	4
Reptilia	爬虫類	8	1	0	10	1	0
Amphibian	両生類	0	0	0	2	0	0
Actinopterygii	硬骨魚類	0	1	0	4	0	0
霊長類 計		4300	3370	2609	1518	243	288
霊長類以外 計		287	50	10	66	14	18
総計		4587	3420	2619	1584	257	306
2025年度 収集数		16	7	7	0	0	0

2. 寄生虫標本

宿主		寄生虫			
学名	和名	線虫	条虫	吸虫	その他
Cheirogaleidae	コビトキツネザル科	0	1	0	0
<i>Microcebus murinus</i>	ハイイロネズミキツネザル	0	1	0	0
Galagidae	ガラゴ科	5	3	0	1
<i>Galago senegalensis</i>	ショウガラゴ	2	1	0	0
<i>Otolemur crassicaudatus</i>	オオガラゴ	3	2	0	1
Lorisidae	ロリス科	9	5	1	1
<i>Loris tardigradus</i>	スレンダーロリス	3	0	0	0
<i>Nycticebus coucang</i>	スンダスローロリス	6	4	1	1
<i>Nycticebus pygmaeus</i>	レッサースローロリス	0	1	0	0
Tarsiidae	メガネザル科	0	1	0	0
<i>Tarsius syrichta</i>	フィリピンメガネザル	0	1	0	0
Callitrichidae	マーモセット科	93	2	1	6
<i>Callimico goeldii</i>	ゲルディモンキー	0	1	0	0
<i>Mico argentata</i>	シルバーマーモセット	4	0	0	1
<i>Callithrix geoffroyi</i>	シロガオマーモセット	3	0	0	0
<i>Callithrix jacchus</i>	コモンマーモセット	45	0	0	1
<i>Cebuella pygmaea</i>	ピグミーマーモセット	2	0	0	0
<i>Leontopithecus rosalia</i>	ゴールドデンライオンタマリン	0	0	0	2
<i>Saguinus fuscicollis</i>	サドルバックタマリン	1	0	0	0
<i>Saguinus labiatus</i>	ムネアカタマリン	2	0	0	0
<i>Saguinus leucopus</i>	シロテタマリン	1	0	0	0
<i>Saguinus midas</i>	アカテタマリン	2	0	0	1
<i>Saguinus mystax</i>	クチヒゲタマリン	9	0	0	0
<i>Saguinus nigricollis</i>	クロクビタマリン	20	1	1	0
<i>Saguinus oedipus</i>	ワタボウシタマリン	4	0	0	1
Cebidae	オマキザル科	15	3	0	0
<i>Cebus capucinus</i>	ノドジロオマキザル	0	1	0	0
<i>Saimiri sciureus</i>	コモンリスザル	15	2	0	0
Aotidae	ヨザル科	1	0	0	0
<i>Aotus</i> sp.	ヨザル	1	0	0	0
Atelidae	クモザル科	11	3	0	1
<i>Alouatta caraya</i>	クロホエザル	0	2	0	0
<i>Alouatta</i> sp.		0	1	0	0
<i>Ateles geoffroyi</i>	ジェフロイクモザル	1	0	0	0
<i>Ateles panisucus</i>	クロクモザル	8	0	0	1
<i>Lagothrix lagotricha</i>	フンボルトウーリーモンキー	2	0	0	0
Pitheciidae	サキ科	2	2	0	0
<i>Callicebus cupreus</i>	ドウイロティティ	1	0	0	0
<i>Callicebus moloch</i>	ダスキーティティ	0	2	0	0
<i>Pithecia monachus</i>	モンクサキ	1	0	0	0
Cercopitheciidae	オナガザル科	243	14	11	8
<i>Macaca cyclopis</i>	タイワンザル	5	1	0	0
<i>Macaca fascicularis</i>	カニクイザル	51	1	8	3
<i>Macaca fuscata fuscata</i>	ニホンザル	76	7	0	0
<i>Macaca fuscata yakui</i>	ヤクシマザル	33	2	0	0
<i>Macaca maura</i>	ムーアモンキー	2	0	0	0
<i>Macaca mulatta</i>	アカゲザル	26	1	0	2
<i>Macaca nemestrina</i>	ブタオザル	1	0	0	1
<i>Macaca radiata</i>	ボンネットモンキー	2	0	0	0
<i>Macaca sylvanus</i>	バーバリーマカク	1	0	0	0
<i>Macaca thibetana</i>	チベットモンキー	1	0	0	0
<i>Macaca hybrid</i>		1	0	0	0
<i>Mandrillus sphinx</i>	マンドリル	1	0	0	0
<i>Papio anubis</i>	アヌビスヒビ	1	0	0	0

宿主		寄生虫			
学名	和名	線虫	条虫	吸虫	その他
<i>Papio cynocephalus</i>	キイロヒヒ	6	1	0	0
<i>Papio hamadryas</i>	マントヒヒ	1	0	0	0
<i>Papio papio</i>	ギニアヒヒ	1	0	0	0
<i>Cercopithecus albogularis</i>	サイクスモンキー	1	0	0	0
<i>Cercopithecus ascanius</i>	アカオザル	0	1	0	0
<i>Cercopithecus mitis</i>	ブルーモンキー	1	0	0	0
<i>Cercopithecus mona</i>	モナモンキー	1	0	0	0
<i>Chlorocebus aethiops</i>	サバンナモンキー	1	0	0	0
<i>Miopithecus talapoin</i>	タラポアン	2	0	0	0
<i>Erythrocebus patas</i>	パタスザル	24	0	1	0
<i>Colobus guereza</i>	アビシニアコロブス	0	0	1	0
<i>Ptilocolobus badius</i>	ニシアカコロブス	1	0	0	0
<i>Semnopithecus entellus</i>	ハヌマンラングール	2	0	0	2
<i>Trachypithecus francoisi</i>	フランソワルトン	0	0	1	0
<i>Trachypithecus obscurus</i>	ダスキールトン	1	0	0	0
Hylobatidae	テナガザル科	8	2	0	0
<i>Hylobates agilis</i>	アジルテナガザル	1	0	0	0
<i>Hylobates lar</i>	シロテナガザル	3	2	0	0
<i>Hoolock hoolock</i>	フーロックテナガザル	1	0	0	0
<i>Symphalangus syndactylus</i>	フクロテナガザル	3	0	0	0
Hominidae	ヒト科	15	0	0	0
<i>Pan troglodytes</i>	チンパンジー	15	0	0	0
Scandentia	登木目	4	0	0	0
Tupaiaidae sp.		4	0	0	0
Others	その他	1	0	0	1
Aves	鳥類	1	0	0	1
霊長類 計		402	36	13	17
総計		407	36	13	18
2025年度 収集数		0	0	0	0

3. 複製資料

標本番号	学名	性別・部位等
KNM-CA 380	<i>Micropithecus clarki</i>	下顎骨
KNM-SO 700	<i>Rangwapithecus gordonii</i>	上顎骨
KNM-RU 1850	<i>Dendropithecus macinnesi</i>	上下顎骨
KNM-RU 2087	<i>Proconsul nyanzae</i>	下顎骨
KNM-RU 7290	<i>Proconsul heseloni</i>	頭骨
KNM-SO 396	<i>Proconsul major</i>	下顎骨
KNM-FT 46	<i>Kenyapithecus wickeri</i>	上顎骨片と犬歯
KNM-KP 29281, 29283, 28285B, 28285A	<i>Australopithecus anamensis</i>	上下顎, 脛骨
KNM-WT 40000	<i>Kenyanthropus platyops</i>	頭骨
KNM-WT 17000	<i>Paranthropus aethiopicus</i>	頭骨
KNM-ER 406	<i>Paranthropus boisei</i>	頭骨
KNM-ER 729	<i>Paranthropus boisei</i>	下顎骨
KNM-CA 732	<i>Paranthropus boisei</i>	頭骨
KNM-ER 999	<i>Homo habilis</i>	大腿骨
KNM-ER 1470	<i>Homo rudolfensis</i>	頭骨
KNM-ER 1472	<i>Homo habilis</i>	右大腿骨
KNM-CA 1802	<i>Homo habilis</i>	下顎骨
KNM-ER 1813	<i>Homo habilis</i>	頭骨
KNM-ER 3733	<i>Homo ergaster</i>	頭骨
KNM-WT 15000	<i>Homo ergaster</i>	全身骨格
KNM-WT 16999	<i>Afropithecus turkanensis</i>	頭骨
OH-2	<i>Australopithecus afarensis</i>	下顎骨
OH-5	<i>Paranthropus boisei</i>	頭骨
OH-7	<i>Homo habilis</i>	下顎骨
OH-8	<i>Homo habilis</i>	足骨
OH-13	<i>Homo habilis</i>	上下顎骨
OH-24	<i>Homo habilis</i>	頭骨
WN-64 (Peninj-160)	<i>Paranthropus boisei</i>	下顎骨
SK 48	<i>Paranthropus robustus</i>	頭骨
STS 5	<i>Australopithecus africanus</i>	頭骨
Taung Child	<i>Australopithecus africanus</i>	頭骨
Peking Man	<i>Homo erectus</i>	頭骨
Sangiran 17	<i>Homo erectus</i>	頭骨
Kabwe Skull	<i>Homo heidelbergensis</i>	頭骨
La Ferrassie 1	<i>Homo neanderthalensis</i>	頭骨
LB-1	<i>Homo floresiensis</i>	頭骨
CGM 40237	<i>Aegyptopithecus zeuxis</i>	頭骨
PIN 3381-236	<i>Parapresbytis eohanuman</i>	下顎骨
GSP 15000	<i>Sivapithecus indicus</i>	頭骨
<i>A. afarensis</i> 復元頭蓋	<i>Australopithecus afarensis</i>	頭骨
Zos 50	<i>Gorilla gorilla</i>	オスの頭骨
Zos 53	<i>Pan troglodytes</i>	オスの頭骨
SH-10	<i>Homo sapiens</i>	男性の頭骨
JMC-Re-1	<i>Homo sapiens</i>	男性の全身骨格
JMC-Re-2	<i>Pan troglodytes</i>	オスの全身骨格
JMC-Re-3	<i>Homo sapiens</i>	アジア人男性の頭骨
JMC-Re-4	<i>Pan troglodytes</i>	オスの頭骨
JMC-Re-5	<i>Gorilla gorilla</i>	オスの頭骨
JMC-Re-6	<i>Homo sapiens</i>	女性の頭骨、骨盤、右上腕骨、右大腿骨
JMC-Re-7	<i>Homo sapiens</i>	子供（5歳）の頭骨、骨盤、右上腕骨、右大腿骨
JMC-Re-8	<i>Panthera leo</i>	頭骨
JMC-Re-9	<i>Daubentonia madagascariensis</i>	頭骨
JMC-Re-10	<i>Daubentonia madagascariensis</i>	右前肢

標本番号	学名	性別・部位等
JMC-Re-11	<i>Tarsius</i> sp.	頭骨
JMC-Re-12	<i>Cynocephalus volans</i>	頭骨
JMC-Re-13	<i>Castor canadensis</i>	頭骨
JMC-Re-14	<i>Phascolarctos cinereus</i>	頭骨
JMC-Re-15	<i>Homo sapiens</i>	胎児頭骨
JMC-Re-16	<i>Pan troglodytes</i>	胎児頭骨
JMC-Re-17	<i>Pan troglodytes</i>	骨盤

2025 年度収集数 0 点

4. 分野別民俗資料点数(猿二郎コレクション)

分類番号	種別	点数
00		
050	逐次刊行物	16
070	和書	31
090	古書	17
200		
288.9	旗	1
300		
336.94	暖簾、看板	20
337.31	金貨	3
337.32	銀貨	4
337.33	補助貨幣(銅貨など)	1
337.4	紙幣	2
348.6	タバコ関係	32
375.9	教科書	8
380	風俗、習慣、民俗	37
383.3	アクセサリ、マスコット、根付	149
383.55	髪飾、小間物 (くし、こうがい、かんざし)	3
383.9	居住、民具	5
386	祭礼	2
387	信仰、民間信仰と迷信	47
387.1	絵馬	202
400		
458	岩石	11
470	植物	13
474.8	菌類	7
489.9	霊長類	1
499.88	薬用動物	1
500		
524	天井	1
524.86	出入口(窓、戸)	3
535.2	時計	2
545.28	電灯支持具、照明	4
545.5	灯具(行燈、提灯、ランプ)	4
573.38	タイル	6
576.4	蠟燭	1
581	金属製品	7
581.1	鋳物製品	32
581.7	刃物類(スプーン、 フォーク、ナイフ、鉄)	6
583	木製品	13
583.92	竹製品	3
583.94	蔓製品(藤、籐、あけび)	3
583.96	藁製品	2

分類番号	種別	点数
583.97	縄製品	1
586.27	綿製品(たおる、てぬぐい)	14
586.37	麻製品	4
586.78	織機	1
588.38	飴菓子	5
588.39	雑菓子	5
588.55	果実酒(容器)	17
589.211	和服	7
589.215	子供服、Tシャツ	2
589.224	ネクタイ	5
589.225	ハンカチ	7
589.23	靴下、足袋	4
589.24	マフラー、ネックチーフ	2
589.253	靴、スリッパ	1
589.27	ハンドバック、袋物(財布)	21
589.28	ボタン、タイピン、カフス	9
589.3	傘、扇、団扇	19
589.4	洋傘	1
589.49	杖、ステッキ	1
589.5	ブラシ	1
589.7	文房具、運動具、貯金箱	105
594.1	モール	4
596.5	厨房具、食器	62
597	住居、家具、調度	38
597.2	カーテン、簾、タペストリー	16
597.7	床飾、インテリア	2
599.8	絵本	3
600		
629.61	灯籠	9
674.7	宣伝広告用印刷物、新聞、PR誌、 シール、チラシ、案内状、シオリ	219
674.71	千社札	44
674.72	ポスター	164
674.73	カレンダー	24
675.18	包装、ラベル、容器	39
675.181	マッチラベル	274
688.5	観光みやげ物	219
693.8	切手、葉書、スタンプ	276
699.67	ラジオ、テレビ、演劇、娯楽	1
700		
711.9	仮面(郷土玩具を除く)	15
713	木彫	345
714	石彫	96
717	粘土彫刻、テラコッタ、蠟、石鹼	7

分類番号	種別	点数
718.4	石仏、仏像	5
720	絵画	37
721.2	大和絵、絵巻物	36
721.3	水墨画	10
721.6	写生画	15
721.7	文人画、南画、俳画、色紙	81
721.8	浮世絵、錦絵、大津絵	49
724.8	ガラス絵	1
726.58	絵葉書	125
726.7	児童画	1
726.8	影絵（シュリエット）	1
728.8	書跡	9
729.3	墨	4
729.5	硯	8
729.6	文鎮	9
729.7	水差し	5
733	木版画、版木	22
739.1	印章材料	10
745	陽画（写真）	47
751.3	陶磁器（皿、絵皿）	455
751.31	灰皿	21
751.32	徳利、杯	17
751.33	急須、湯呑	17
751.4	埴輪、古瓦	16
751.5	ガラス工芸	22
751.9	プラスチック	53
752	漆工芸	3
753.7	刺繍	11
753.8	染物	2
754	木工芸	97
754.7	竹工芸	36
754.9	紙工芸（折り紙、せん紙、ペーパークラフト）	38
755.4	牙角細工	21

分類番号	種別	点数
755.5	革細工	3
755.6	貝細工	6
756.14	鍍金	97
756.6	刀剣、鐔	14
756.7	甲冑	1
759	人形、玩具	367
759.9	郷土玩具、郷土人形	19
759.91	土人形、土笛、土面	564
759.92	首人形	13
759.93	土鈴、陶鈴、鈴	184
759.94	張り子	105
759.95	凧	5
759.96	張り子面、土面子	160
759.97	紙塑	5
759.98	練り物	6
759.99	木、竹、その他	164
774	歌舞伎	2
777.1	人形浄瑠璃	6
777.8	影絵芝居、ギニョール、マリオネット	30
791.5	茶器、菓子器	23
792.6	香合、香炉	16
793.5	花器	7
900		
909.3	童話	10
000	未分類	1
合計		5,887 点

2025 年度新規登録数 208 点

5. 音響・映像資料

2026 年 3 月 31 日現在、42 点の映像資料、および以下の映像機器が登録されている。

ビデオデッキ		液晶プロジェクター	
SONY VHS SLV-F6	1	東芝 TLP781J	1
カラービデオカメラ		EPSON EMP1710	1
SONY CCD-G5	1	EPSON EH-TW5200	1 (PWS)
デジタルビデオカメラ		CD/DVD プレーヤー / レコーダー	
Panasonic NV-GS50	1	SONY DVP-NS53P	1
SONY DCR-PC5	1	Panasonic DVD-S39	1
SONY DCR-HC62	1	Victor SR-DVM700	1
デジタルハイビジョンビデオカメラ		CCD-001	1
Panasonic HDC-HS100	2	テレビモニター	
8mm 映写機		TOSHIBA REGZA 37C7000	1
エルモ E80	1	By D:sign d:4222GJV3	1
16mm 映写機		Panasonic VIERA TH-37TX50	1
BELL & HOWELL	1	I・O Data LCD-MF223FBR-T	1 (PWS)
スライドプロジェクター		Panasonic TH-42AS600	1 (PWS)
ファミリーキャビン	1		
Master Lux	1		
オーバーヘッドプロジェクター	1		

6. 図書資料

2025 年度に登録した資料は、次のとおりである。

図書	11 点
定期刊行物（雑誌類等）	420 点

2026 年 3 月 31 日現在、保有する登録図書資料（製本分を含む）は、次のとおりである。

和書	6,185 点
洋書	3,745 点
計	9,930 点

逐次刊行物を受贈した機関は次のとおりである。

〈一般および研究関係等〉

Springer	岩波書店	市民 ZOO ネットワーク	南山考古文化人類学研究会
愛銀教育文化財団	栄研化学株式会社	全日本写真連盟	日本写真著作権協会
あいち FG 教育文化財団	大阪自然環境保全協会	中部科学技術センター	日本人類学会
愛知学院大学歯学会	神奈川大学日本常民文化研究所	同志社大学博物館学芸員課程	日本生物多様性情報イニシアチブ
あいち健康プラザ	環境省自然環境局生物多様性センター	名古屋経済大学地域連携センター	日本動物愛護協会
愛知県生涯学習推進センター	京都大学生態学研究センター	名古屋市立大学大学院医学研究科	日本動物心理学会
石川県白山自然保護センター	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科	なごや生物多様性センター	農林水産省動物検疫所
一般社団法人実践倫理宏正会	國學院大學博物館学研究室	なごや生物多様性保全活動協議会	ボルネオ保全トラスト・ジャパン
犬山市	国立感染症研究所	成田山名古屋別院大聖寺	三重県林業研究所
犬山フルまちミュージアム	飼育野生動物栄養研究会		明治大学学芸員養成課程
岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター			山階鳥類研究所
			立教大学学校・社会教育講座

〈博物館等〉

秋吉台科学博物館	崙山会	田原市博物館	平塚市博物館
熱田神宮宝物館	春日井市道風記念館	中部大学民族資料博物館	福井市自然史博物館
犬山城白帝文庫	神奈川県立生命の星・地球博物館	徳島県立鳥居龍蔵記念博物館	藤原岳博物館
茨城県自然博物館	刈谷市歴史博物館	徳島県立博物館	鳳来寺山自然科学博物館
岩手県立博物館	北九州市立自然史・歴史博物館	栃木県立博物館	北海道博物館
江戸東京博物館	自然史友の会	鳥取県立博物館	みのかも文化の森
大阪歴史博物館	岐阜県博物館	富山市科学博物館	みよし市立歴史民俗資料館
大阪市立自然史博物館	京都大学総合博物館	豊橋市美術博物館	山口県立山口博物館
大府市歴史民俗資料館	群馬県立自然史博物館	名古屋市博物館	和歌山県立自然博物館
大町山岳博物館	国立民族学博物館	日本大学生物資源科学部博物館	
岡崎市美術博物館	たばこと塩の博物館	日本博物館協会	

〈動物園・水族館等〉

AOAO SAPPORO	伊丹市昆虫館	札幌市円山動物園	名古屋港水族館
秋田市大森山動物園	岡崎市東公園動物園	世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ	日本動物園水族館教育研究会
アクアマリンふくしま	男鹿水族館 GAO	東京動物園協会	日本動物園水族館協会
アクアワールド茨城県大洗水族館	葛西臨海水族園	東京動物園ボランティアーズ	のとじま水族館
旭川市旭山動物園	鴨川シーワールド	動物園研究会	浜松市動物園
熱川バナナワニ園熱帯動植物友の会	京都市動物園	鳥羽水族館	日立市かみね動物園
	高知県立のいち動物公園	豊橋総合動植物公園	福山市立動物園
	釧路市動物園		碧南海浜水族館

(6) 霊長類の福祉に配慮した動物園の設置及び経営

1. 飼育動物一覧（2026年3月31日現在）

(1) 霊長類

種名	学名	合計	オス	メス	不明
ワオキツネザル	<i>Lemur catta</i>	46	17	29	0
クロシロエリマキキツネザル	<i>Varecia variegata</i>	1	0	1	0
クロキツネザル	<i>Eulemur macaco</i>	1	1	0	0
スンダスローロリス	<i>Nycticebus coucang</i>	2	1	1	0
レッサースローロリス	<i>Nycticebus pygmaeus</i>	3	1	2	0
ポト	<i>Perodicticus potto</i>	2	1	1	0
コモンマーモセット	<i>Callithrix jacchus</i>	1	1	0	0
クロミミマーモセット	<i>Callithrix penicillata</i>	10	5	2	3
アカテタマリン	<i>Saguinus midas</i>	6	4	2	0
ムネアカタマリン	<i>Saguinus labiatus</i>	1	0	1	0
ワタボウシタマリン	<i>Saguinus oedipus</i>	4	3	1	0
ヨザル	<i>Aotus spp.</i>	9	4	5	0
シロガオサキ	<i>Pithecia pithecia</i>	1	1	0	0
ヒゲサキ	<i>Chiropotes chiropotes</i>	1	0	1	0
ノドジロオマキザル	<i>Cebus capucinus</i>	6	2	4	0
シロガオオマキザル	<i>Cebus albifrons</i>	5	2	3	0
フサオマキザル	<i>Sapajus apella</i>	22	12	10	0
ボリビアリスザル	<i>Saimiri boliviensis</i>	24	15	9	0
コロンビアクロクモザル	<i>Ateles fuscipes</i>	2	0	2	0
ペルークロクモザル	<i>Ateles chamek</i>	1	1	0	0
クモザル（種間交雑）	<i>Ateles hybrid</i>	5	4	1	0
ジェフロイクモザル	<i>Ateles geoffroyi</i>	4	1	3	0
バーバリーマカク	<i>Macaca sylvanus</i>	15	8	7	0
トクモンキー	<i>Macaca sinica</i>	21	8	13	0
ボンネットモンキー	<i>Macaca radiata</i>	13	4	9	0
シシオザル	<i>Macaca silenus</i>	7	2	5	0
ミナミブタオザル	<i>Macaca nemestrina</i>	4	2	2	0
カニクイザル	<i>Macaca fascicularis</i>	66	31	35	0
アカゲザル	<i>Macaca mulatta</i>	3	0	3	0
タイワンザル	<i>Macaca cyclopis</i>	1	1	0	0
チベットモンキー	<i>Macaca thibetana</i>	2	1	1	0
ニホンザル	<i>Macaca fuscata fuscata</i>	112	53	59	0
ヤクシマザル	<i>Macaca fuscata yakui</i>	128	68	60	0
アヌビスヒヒ	<i>Papio anubis</i>	78	32	46	0
マントヒヒ	<i>Papio hamadryas</i>	4	2	2	0
マンドリル	<i>Mandrillus sphinx</i>	8	3	5	0
サイクスモンキー	<i>Cercopithecus alboglaris</i>	1	0	1	0
ブラッザグエノン	<i>Cercopithecus neglectus</i>	2	1	1	0
アカオザル	<i>Cercopithecus ascanius</i>	4	0	4	0
ショウハナジログエノン	<i>Cercopithecus petaurista</i>	1	0	1	0
ベルベットモンキー	<i>Chlorocebus pygerythrus</i>	6	1	5	0
キタタラポアン	<i>Miopithecus ogouensis</i>	2	1	1	0
パタスモンキー	<i>Erythrocebus patas</i>	6	2	4	0
フランソワルトン	<i>Trachypithecus francoisi</i>	2	1	1	0
アビシニアコロブス	<i>Colobus guereza</i>	7	4	3	0
アンゴラコロブス	<i>Colobus angolensis</i>	1	1	0	0
シロテテナガザル	<i>Hylobates lar</i>	3	3	0	0
ボウシテナガザル	<i>Hylobates pileatus</i>	4	3	1	0
ミュラーテナガザル	<i>Hylobates muelleri</i>	1	0	1	0
フクロテナガザル	<i>Symphalangus syndactylus</i>	8	4	4	0
ニシゴリラ	<i>Gorilla gorilla gorilla</i>	1	1	0	0
チンパンジー	<i>Pan troglodytes</i>	7	5	2	0
計		675	318	354	3

(2) その他動物

種名	学名	合計	オス	メス	不明
イヌ	<i>Canis familiaris</i>	1	0	1	0
シバヤギ	<i>Capra hircus</i>	1	1	0	0
総計		2	1	1	0

2. プリーディングローン動物一覧 (2026年3月31日現在)

(1) 貸付動物

種名	個体数	出園日 / 誕生日	現飼育施設
ウーリーモンキー <i>Lagothrix lagothricha</i>	オス 1	1999年2月18日 (横浜市立よこはま動物園で出生)	横浜市立よこはま動物園
シシオザル <i>Macaca silenus</i>	オス 1	1999年9月3日 (長野市茶臼山動物園で出生)	天王寺動物園
ブラッサグエノン <i>Cercopithecus neglectus</i>	オス 1	2003年5月4日 (広島市安佐動物公園にて出生)	広島市安佐動物公園
シシオザル <i>Macaca silenus</i>	メス 1	2005年11月12日 (出園)	東武動物公園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2014年7月23日 (出園)	旭川市旭山動物園
	メス 2		
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 5	2014年10月21日 (出園)	神戸どうぶつ王国
	メス 2		
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 2	2014年10月21日 (出園) (神戸どうぶつ王国から移動)	那須どうぶつ王国
ブラッサグエノン <i>Cercopithecus neglectus</i>	メス 1	2014年10月23日 (神戸市立王子動物園にて出生)	神戸市立王子動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 2	2014年11月16日 (出園)	熊本市動植物園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2014年11月27日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
ボリビアリスザル <i>Saimiri boliviensis</i>	メス 1	2014年11月27日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
フサオマキザル <i>Sapajus apella</i>	メス 2	2014年11月27日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2015年6月23日 (出園)	札幌市円山動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 1	2015年6月29日 (熊本市動植物園にて出生)	熊本市動植物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 10	2015年10月19日 (出園)	NIFREL
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	メス 1	2015年11月24日 (出園)	浜松市動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 1	2016年3月12日 (旭川市旭山動物園にて出生)	旭川市旭山動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 2	2016年3月16日 (熊本市動植物園にて出生)	熊本市動植物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2016年4月5日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	神戸どうぶつ王国
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 1	2016年4月5日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	那須どうぶつ王国
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2016年6月6日 (熊本市動植物園にて出生)	熊本市動植物園
シロテテナガザル <i>Hylobates lar</i>	オス 1	2016年6月30日 (出園)	伊豆シャボテン動物公園
ヨザル <i>Aotus trivirgatus</i>	オス 1	2016年6月30日 (出園)	伊豆シャボテン動物公園
コモンマーモセット <i>Callithrix jacchus</i>	オス 1	2016年9月10日 (出園)	東京都恩賜上野動物園
	メス 1		
ヨザル <i>Aotus trivirgatus</i>	メス 1	2016年9月10日 (出園)	東京都恩賜上野動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 1	2016年10月8日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	那須どうぶつ王国
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2017年4月3日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	神戸どうぶつ王国
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2018年3月15日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	神戸どうぶつ王国
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 1	2018年3月15日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	那須どうぶつ王国
ボリビアリスザル <i>Saimiri boliviensis</i>	メス 1	2018年3月16日 (出園)	豊橋総合動植物公園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2018年4月14日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	神戸どうぶつ王国
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2018年8月19日 (浜松市動物園にて出生)	浜松市動物園

種名	個体数	出園日 / 誕生日	現飼育施設
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 4	2019年1月16日 (出園)	富士自然動物公園
アカテタマリン <i>Saguinus midas</i>	オス 1	2019年1月31日 (出園)	伊豆シャボテン動物公園
コモンマーモセット <i>Callithrix jacchus</i>	メス 1	2019年3月20日 (出園)	川崎市夢見ヶ崎動物公園
フクロテナガザル <i>Symphalangus syndactylus</i>	オス 1	2019年11月10日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
ウーリーモンキー <i>Lagothrix lagothricha</i>	メス 1	2020年10月27日 (出園)	横浜市立よこはま動物園
フクロテナガザル <i>Symphalangus syndactylus</i>	オス 1	2020年10月27日 (出園)	秋田市大森山動物園
ボウシテナガザル <i>Hylobates pileatus</i>	メス 1	2021年1月13日 (横浜市立よこはま動物園にて出生)	横浜市立よこはま動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 1	2021年3月7日 (旭川市立旭山動物園にて出生)	旭川市立旭山動物園
シロテナガザル <i>Hylobates lar</i>	オス 1	2021年3月27日 (出園)	福岡市動植物園
ワタボウシタマリン <i>Saguinus oedipus</i>	メス 1	2023年4月12日 (出園)	いしかわ動物園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	メス 1	2023年5月30日 (出園)	宮崎市フェニックス自然動物園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2023年6月5日 (出園)	おびひろ動物園
ワタボウシタマリン <i>Saguinus oedipus</i>	オス 1	2023年6月13日 (出園)	浜松市動物園
	メス 1		
ヨザル <i>Aotus sp.</i>	オス 1	2023年10月7日 (伊豆シャボテン動物公園にて出生)	伊豆シャボテン動物公園
アカテタマリン <i>Saguinus midas</i>	オス 1	2024年1月26日 (市川市動植物園にて出生)	市川市動植物園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2024年2月27日 (出園)	静岡市立日本平動物園
	メス 1		
ウーリーモンキー <i>Lagothrix lagthricha</i>	オス 2	2024年6月18日 (出園)	横浜市立よこはま動物園
チベットモンキー <i>Macaca thibetana</i>	メス 1	2024年6月18日 (出園)	横浜市立よこはま動物園
ヒゲサキ <i>Chiropotes chiropotes</i>	メス 1	2024年11月28日 (出園)	静岡市立日本平動物園
チンパンジー <i>Pan troglodytes</i>	メス 1	2025年3月17日 (出園)	天王寺動物園
ジェフロイクモザル <i>Ateles geoffroyi</i>	メス 1	2025年10月13日 (出園)	到津の森公園
マントヒヒ <i>Papio hamadryas</i>	オス 1	2025年12月8日 (出園)	千葉市動物公園
	メス 1		
チベットモンキー <i>Macaca thibetana</i>	メス 2	2026年3月10日 (出園)	横浜市立よこはま動物園

(2) 借受動物

種名	個体数	来園日 / 誕生日	来園元
ボウシテナガザル <i>Hylobates pileatus</i>	オス 1	1994年5月19日 (来園)	横浜市立野毛山動物園 (帰属は横浜市立よこはま動物園)
シロガオサキ <i>Pithecia pitecia</i>	オス 1	2006年3月17日 (来園)	静岡市立日本平動物園
コロンビアクロクモザル <i>Ateles fuscipes</i>	メス 1	2010年12月16日 (来園)	愛媛県立とべ動物園
クロシロエリマキツネザル <i>Varecia variegata</i>	メス 1	2011年4月30日 (出生)	JMC 生まれ (帰属は静岡市立日本平動物園)
チンパンジー <i>Pan troglodytes</i>	メス 1	2013年6月6日 (来園)	豊橋総合動植物公園
フランソワルトン <i>Trachypithecus francoisi</i>	メス 1	2016年4月22日 (出生)	JMC 生まれ (帰属は鯖江市西山動物園)
クロキツネザル <i>Eulemur macaco</i>	オス 1	2017年11月8日 (来園)	浜松市動物園
フランソワルトン <i>Trachypithecus francoisi</i>	オス 1	2022年11月22日 (来園)	横浜市立よこはま動物園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	メス 1	2023年11月28日 (来園)	日立市かみね動物園 (帰属は大牟田市動物園)
スンダスローロリス <i>Nycticebus coucang</i>	オス 1	2024年10月24日 (来園)	恩賜上野動物園 (帰属は札幌市円山動物園)
スンダスローロリス <i>Nycticebus coucang</i>	メス 1	2024年10月27日 (来園)	札幌市円山動物園
クロミミマーモセット <i>Callithrix penicillata</i>	メス 1	2024年11月16日 (来園)	千葉市動物公園
ヒゲサキ <i>Chiropotes chiropotes</i>	メス 1	2024年11月28日 (来園)	静岡市立日本平動物園
ブラッサグエノン <i>Cercopithecus neglectus</i>	メス 1	2024年11月28日 (来園)	静岡市立日本平動物園
クロミミマーモセット <i>Callithrix penicillata</i>		2025年5月8日 (出生)	JMC 生まれ (帰属は千葉市動物公園)
ポト <i>Perodicticus potto</i>	オス 1	2025年12月8日 (来園)	那須ワールドモンキーパーク
レッサースローロリス <i>Nycticebus pygmaeus</i>	メス 1	2025年12月8日 (来園)	千葉市動物公園

3. 動物の異動

(1) 出園

① 霊長類

ブリーディングローン 3種5頭
 内訳：到津の森公園
 千葉市動物公園
 横浜市立よこはま動物園

ジェフロイクモザル *Ateles geoffroyi*
 マントヒヒ *Papio hamadryas*
 チベットモンキー *Macaca thibetana*

メス1頭
 オス1頭、メス1頭
 メス2頭

(2) 来園

① 霊長類

ブリーディングローン 2種2頭
 内訳：千葉市動物公園
 那須ワールドモンキーパーク

レッサースローロリス *Nycticebus pygmaeus*
 ポト *Perodicticus potto*

メス1頭
 メス1頭

(3) 出産（現存・死亡は2026年3月31日現在）

種名	学名	出産	現存	死亡
ワオキツネザル	<i>Lemur catta</i>	3	0	3
クロミマーモセット	<i>Callithrix penicillata</i>	5	3	2
ボリビアリスザル	<i>Saimiri boliviensis</i>	2	2	0
ヤクシマザル	<i>Macaca fuscata yakui</i>	2	2	0
フランソワルトン	<i>Trachypithecus francoisi</i>	1	0	1
アビシニアコロブス	<i>Colobus guereza</i>	2	2	0
計 6種		15	9	6

(4) 死亡

① 霊長類

種名	学名	死亡
ワオキツネザル	<i>Lemur catta</i>	3
コモンマーモセット	<i>Callithrix jacchus</i>	2
クロミマーモセット	<i>Callithrix penicillata</i>	4
ボリビアリスザル	<i>Saimiri boliviensis</i>	1
ヒゲサキ	<i>Chiropotes chiropotes</i>	1
ジェフロイクモザル	<i>Ateles geoffroyi</i>	1
ニホンザル	<i>Macaca fuscata fuscata</i>	3
ヤクシマザル	<i>Macaca fuscata yakui</i>	7
カニクイザル	<i>Macaca fascicularis</i>	6
トクモンキー	<i>Macaca sinica</i>	1
シシオザル	<i>Macaca silenus</i>	2
マンドリル	<i>Mandrillus sphinx</i>	1
フランソワルトン	<i>Trachypithecus francoisi</i>	2
アビシニアコロブス	<i>Colobus guereza</i>	1
計 14種		35

4. 高齢動物（年齢は2026年3月31日現在）

種名	個体名	性別	年齢	摘要
ヨザル <i>Aotus sp.</i>	ザザ	メス	35	1990/6/7 生
ヨザル <i>Aotus sp.</i>	ヨタロウ	オス	30	1995/7/30 生
ノドジロオマキザル <i>Cebus capucinus</i>	マライア	メス	31	1994/12/3 生
フサオマキザル <i>Sapajus apella</i>	トム	オス	33	1992/4/4 生
コロンビアククロクモザル <i>Ateles fuscipes</i>	ブカルバ	メス	41	1985/3/22 生
コロンビアククロクモザル <i>Ateles fuscipes</i>	オバケ	メス	51 以上	1974/6/27 来園
ペルーククロクモザル <i>Ateles chamek</i>	アイレス	オス	31 以上	1994/2/18 来園
ジェフロイクモザル <i>Ateles geoffroyi</i>	レイコ	メス	40	1985/4/5 生
ジェフロイクモザル <i>Ateles geoffroyi</i>	チロ	メス	34	1991/7/21 生
クモザル（種間交雑） <i>Ateles hybrid</i>	エマ	メス	35	1990/11/14 生
ミナミブタオザル <i>Macaca nemestrina</i>	マリー	メス	35 以上	1991/3/19 来園
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	モズク	メス	41	1985/3/19 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	ツムギ	メス	39	1986/4/13 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	モン	メス	37	1988/7/16 生

種名	個体名	性別	年齢	摘要
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	モルゴ	オス	35	1990/4/24 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	モンペ	メス	34	1992/4/23 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	モナリザ	メス	33	1992/6/23 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	アサガオ	メス	30	1995/5/12 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	モリ	メス	30	1995/5/20 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	ツミナ	メス	30	1995/8/3 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	シエル	メス	30	1995/9/14 生
ヤクシマザル <i>Macaca fuscata yakui</i>	タイマイ	オス	34	1991/6/9 生
アヌビスヒビ <i>Papio anubis</i>	ゾヘ	メス	35	1990/9/5 生
アヌビスヒビ <i>Papio anubis</i>	ココキ	メス	30	1995/5/11 生
アヌビスヒビ <i>Papio anubis</i>	スミレ	メス	30	1996/1/7 生
アヌビスヒビ <i>Papio anubis</i>	エミリ	メス	30	1996/2/29 生
マントヒビ <i>Papio hamadryas</i>	アルミ	メス	31	1995/1/21 生
ベルベットモンキー <i>Chlorocebus pygerythrus</i>	ブルー	オス	30	1996/3/18 生
ボウシテナガザル <i>Hylobates pileatus</i>	ドント	オス	推定 58	1969 年推定 2 歳で日本平へ入園 1994/5/19 来園
ミュラーテナガザル <i>Hylobates muellerii</i>	クリケット	メス	43 以上	1982/8/11 来園
ニシゴリラ <i>Gorilla gorilla</i>	タロウ	オス	52	1973/4/20 生
チンパンジー <i>Pan troglodytes</i>	フジコ	メス	推定 55	1971 年出生と推定 1983/6/13 来園
チンパンジー <i>Pan troglodytes</i>	アキラ	オス	推定 44	1980 年出生と推定 1987/7/2 来園

5. 獣医療

(1) 年間診療件数

入院	213 件	退院	201 件
麻酔	265 件	外科手術	97 件
歯科処置	20 件	抜糸	79 件
補液・注射	625 件	避妊処置 (インプラント)	17 件
外用薬塗布	66 件	避妊処置 (インプロバック)	34 件
マイクロチップ挿入	2 件	洗浄・消毒	34 件
検便	143 件	検尿	161 件
X 線検査	118 件	エコー検査	129 件
血液検査	113 件	薬処方	1,800 件
		総診察数	3,525 件

6. 動物の給餌量 (園全体、購入分のみ、2026 年 3 月 31 日現在)

品目	週間給餌量	品目	週間給餌量	品目	週間給餌量	品目	週間給餌量
白菜	3.5 束	生サツマイモ	517.7kg	リンゴ	170.3kg	パン	206 袋
レタス	4 箱	蒸サツマイモ	137.9kg	バナナ	135.1kg	卵	255 個
葉野菜	90 袋	生ニンジン	170.4kg	ミカン	59.5kg	コオロギ	1200 匹
大根	365.2kg	蒸ニンジン	45.5kg	トマト	49.7kg	固形飼料	340kg

寄附飼料

品目	週間給餌量
パイン (芯)	24 コンテナ
ミカン (芯)	9 コンテナ
葉野菜	86 コンテナ
カボチャ	11 コンテナ

7. 月別入場人員数

入園区分	有料		無料	合計	前年比	開園 日数	休園日
	一般	団体					
2025年4月	5,177	624	1,279	7,080	93.7%	24日	火曜・水曜（4/1・4/2・4/29・4/30は開園）
5月	7,123	749	1,079	8,951	81.2%	24日	火曜・水曜
6月	3,313	886	891	5,090	90.3%	22日	火曜・水曜
7月	1,231	41	651	1,923	86.9%	13日	火曜・水曜・7/1-4・7/7-11・7/14-18
8月	2,470	61	894	3,425	109.8%	25日	火曜・水曜（8/12・8/13は開園）
9月	2,794	329	724	3,847	84.8%	16日	火曜・水曜・9/1-5・9/8-12
10月	3,732	2,715	1,170	7,617	74.2%	27日	火曜
11月	7,425	2,099	1,632	11,156	108.1%	26日	火曜
12月	3,256	594	869	4,719	94.8%	21日	火曜・水曜
2026年1月	4,225	0	898	5,123	82.0%	15日	1/6・1/7・1/13-16・1/19-23・1/26-30
2月	3,931	201	857	4,989	146.4%	14日	2/2-6・2/9-13・2/17・2/18・2/24・2/25
3月	8,564	373	1,492	10,429	137.8%	24日	火曜・水曜
合計	53,241	8,672	12,436	74,349	96.7%	251日	

（参考）過去の年間入場者数の推移（2013年度までの数値は遊園地日本モンキーパークとの総計）

年度	入場人員	年度	入場人員	年度	入場人員	年度	入場人員
2005年	594,590	2010年	595,391	2015年	154,378	2020年	66,668
2006年	734,906	2011年	560,920	2016年	118,113	2021年	85,141
2007年	773,256	2012年	562,465	2017年	112,965	2022年	93,000
2008年	725,870	2013年	548,045	2018年	107,841	2023年	78,695
2009年	604,306	2014年	147,523	2019年	104,868	2024年	76,884

8. 土地・主な施設および設備の一覧と変動

〈土地〉 (2026年3月31日現在)

地区名	面積 (m ²)
官林地区	174,780
栗栖地区	6,153.62
小野洞地区	759,061.22

〈施設・設備〉 (2026年3月31日現在)

施設名	構造	面積 (m ²)	建設・変動年
動物園管理事務所	鉄筋コンクリート2階造	565.5	平成15年
飼料調理倉庫	鉄骨造	64.8	平成15年
動物園出改札詰め所	鉄骨造	50.4	平成15年
ビジターセンター	鉄筋コンクリート造	860	平成元年
ベビールーム	ブロック積鉄柱梁組サイドボード張コロニアル葺造	16.24	平成10年
Waoランドmini	ステンレス檻 木造寝室 木造デッキ	35.1	平成21年
マダガスカル館	鉄筋コンクリート造 (建物) 芝張り、硝子、電気柵 (島)	193 235	平成13年
アフリカ館	鉄骨ブロック造	446	昭和39年
南米館	鉄筋コンクリート2階造	480	昭和41年
南米館用バコティンヒーター室	上屋鉄骨組ルーフデッキ葺 サイディングボード張りスレート葺造	9.25	平成10年
ボイラー室と変電室 (旧モンキーアパート関係)	鉄骨ブロック造	49	昭和38年
アジア館	鉄筋コンクリート造	375	昭和53年
Waoランド	木造 ブロック積 水張り 電柵併用	1,000	令和5年
アフリカセンター	鉄筋コンクリート造	2,240	昭和55年
トイレ (アフリカセンター)	鉄筋コンクリート造	60	令和6年
障害者用トイレ (アフリカセンター前)	鉄筋ALC張切板葺	10.2	令和6年
セミナーハウス白帝	鉄筋コンクリート平屋建造	261	昭和39年
駐車場			平成15年
屋外収容棟	鉄骨金網張り造	129.6	平成9年
収容棟	ルーフデッキ葺造	71.28	平成9年
診療および資料棟	ブロック積鉄柱梁組サイディングボード張 ルーフデッキ葺造	217.74	平成9年
検疫棟	ルーフデッキ葺造	91.08	平成9年
標本作成棟	ルーフデッキ葺造	18.5	平成9年
資材倉庫	プレハブ造	17	平成9年
焼却炉	プレハブ造	7.3	平成27年
ニホンザルの丘	放養式フェンス、電気柵造	1,647	平成23年
ヒヒの城	放養式鉄筋コンクリート造	415	平成15年
モンキーバレイ	放養式フェンス電気柵造	3,321.7	平成9年
エコドーム寝室	鉄筋コンクリート造	45	平成3年
休憩所 (エコドーム横)	鉄筋組ルーフデッキ葺造	85.8	平成3年
リスザルの島	鉄筋コンクリート水張り造	1,507	令和4年
テナガ・クモザルの島	鉄筋コンクリート石積水張造一部電柵併用	1,500	平成9年
ギボンハウス	鉄筋強度度セメント中空押出整形張 ALC葺シート防水SOS メッシュ張造2棟 ×2棟	164.4	平成6年
無料休憩所	鉄骨2階造	166.87	昭和55年
くすのきの森	透水式路面工法 トレーラーハウス カーポート付デッキ 軽量鉄骨造休憩室	568	平成27年
トイレ (くすのきの森横)	鉄筋コンクリートコロニアル葺造	36	平成28年
営繕小屋	鉄骨造	36	平成30年
ビジターセンター裏スタッフ詰所	プレハブ造	20	令和2年
おでかけタマリン	鉄骨造		令和2年
バックヤードおひさまエリア	鉄骨金網張り造		令和3年
新アフリカ館 原野と森の家	鉄骨造	2,860	令和4年
トイレ (Waoランド横)	鉄骨造	40.6	令和6年

9. 施設配置図



- | | | |
|----------------|--------------|--------------------|
| 1 管理事務所 | 18 セミナーハウス白帝 | 36 エコドーム |
| 2 飼料倉庫 | 19 駐車場 | 37 リスザルの島 |
| 3 資材倉庫 | 20 倉庫 | 38 テナガ・クモザルの島 |
| 4 ガレージ | 21 倉庫 | 39 ギボンハウス 2 |
| 5 ポンプ場 | 22 ポンプ場 | 40 ギボンハウス 1 |
| 6 モニュメント | 23 屋外収容棟 | 41 トイレ |
| 7 動物園正門出札 | 24 収容棟 | 42 楽猿 (レストラン) |
| 8 ビジターセンター | 25 診療棟および資料棟 | 43 無料休憩所 |
| 9 Wao ランド mini | 26 検疫棟 | 44 モンキーバー (軽食) |
| 10 マダガスカル館 | 28 資料作成室 | 45 くすのきの森 |
| 11 アフリカ館 | 30 焼却炉 | 46 トイレ |
| 12 南米館 | 31 猿塚 | 47 宮織小屋 |
| 13 ボイラー室 | 32 ポンプ場 | 48 ビジターセンター裏スタッフ詰所 |
| 14 アジア館 | 33 ニホンザルの丘 | 49 おひさまエリア |
| 15 Wao ランド | 34 ヒヒの城 | 50 おでかけタマリン |
| 16 アフリカセンター | 35 モンキーバレイ | 51 新アフリカ館『原野と森の家』 |
| 17 トイレ | | 52 トイレ |

10. 施設修繕（業者工事）

2025年4月2日

病院分包機修理（TAKAZONO）

4月8日 リスザルの島観覧デッキ修理（安江工務店）

4月11日 警備回線交換工事4か所（ALSOK）

4月21日、22日

ニホンザルの丘倒木伐採（松川林業）

4月24日、28日、29日

南米館ガスボイラーメンテナンス
（渡辺工業）

4月25日 新アフリカ館冷蔵庫修理（ホシザキ）

4月25日 事務所横駐車場アスファルト穴補修工事
（エスジェイ）

5月9日 アジア館蛍光灯交換（文化電気）

5月12日、15日

アジア館エアコン交換（文化電気）

5月13日 アフリカ館柱補修（所沢建築）

5月20日 アフリカセンター・南米館ガスタンク
通報機器交換点検（名古屋プロパン瓦斯）

5月26日～6月2日

事務所裏および栗栖研究所敷地内危木
伐採（松川林業）

5月27日 栗栖研究所敷地内電気配線・支線撤去
（文化電機、中部電力パワーグリッド）

5月27日 アフリカセンター漏電修理配線増設工事
（文化電機）

5月30日 バックヤード収容棟エアコン点検・基板
交換（ダイキン）

6月4日、6月10日

アフリカセンター屋内運動場配線交換
工事、アジア館破損蛍光灯撤去、配線
処理（文化電気）

6月10日 Waoランド換気扇漏電応急処置（文化電気）

6月18日 バックヤード入院室エアコン交換工事
（文化電気）

6月23日 ヒヒの城寝室エアコン修理（文化電気）

6月30日 軽トラックタイヤ交換
（アクセスコーポレーション）

7月1日 南米館ホールエアコン工事（文化電気）

7月7日 バックヤード収容棟エアコン交換工事
（文化電気）

ワゴンタイヤ交換（アクセスコーポレーション）

7月10日 バックヤード収容棟3新規ケージ設置
（所沢建設、伊豆木鉄鋼）

7月18日 アフリカセンターガスタンクメーター
交換（名古屋プロパン瓦斯）

7月28日 外周通路（京都大学側）竹撤去
（NTTシーキューブ）

7月30日 テナガ舎エアコン交換工事（藤克工業）

8月5日 ワゴン車点検（アクセスコーポレーション）

8月7日 軽トラックタイヤ交換
（アクセスコーポレーション）

8月19日、20日

アジア館シュート設置、シュート扉交換
（所沢建築）

9月2日 造園道具倉庫裏枯れ松伐採（松川林業）

9月5日 アフリカセンター前トイレ扉開閉調整
（津田建設）

9月8日 アフリカセンター調理場・機械室
コンセント交換工事（文化電気）

9月9日 市水ポンプ修理（所沢建築、加藤ポンプ）

9月11日、12日

アフリカセンター水圧ポンプ交換（有川設備）

9月12日 ヒヒの城エアコン修理（藤克工業）

9月16日～18日、24日

アフリカ館天窗補強工事とガラス窓枠
交換工事（所沢建築）

9月18日 事務所屋上雨どい修理（所沢建築）

9月19日 アフリカセンター屋内運動場蛍光灯交換
（文化電気）

9月30日 園内トイレ天井改修工事（津田建設）

9月30日 ビジターセンター内蛍光灯交換工事
（文化電気）

10月2日 クモザルの島吊り橋脱出防止対策ネット
及びロープ設置（スーパーホモサピエンス）

10月6日 南米館ガスボイラー部品交換工事（渡辺工業）

10月7日 クモザル電柵拡張工事（文化電気）

10月10日 アフリカ館排水つまり取り（リンエイ工業）

10月15日 WaoランドKA暖房部品交換工事（渡辺工業）

10月16日 アフリカ館FA暖房部品交換（みやかわ）

10月17日～18日

事務所屋上雨漏り修繕（所沢建築）

10月20日～23日

事務所横駐車場陥没箇所修復工事（エスジェイ）

10月21日 南米館ガスメーター交換（名古屋プロパン瓦斯）

10月21日、22日、27日

ビジター裏漏水箇所応急措置（エスジェイ）

10月22日 アジア館エアコン撤去（文化電気）

10月27日、28日、31日

ビジター裏漏水箇所所復旧工事（エスジェイ）

10月30日、31日

バックヤード大型暖房機設置（藤克工業）

11月6日 事務所横駐車場アスファルト舗装工事
（エスジェイ）

11月6日～11日

軽トラックベアリング交換修理
（アクセスコーポレーション）

11月11日 リスザルの島コンセント増設、照明器具
交換工事（文化電気）

11月11日 アフリカセンター屋内運動場エアコン
掃除（おそうじPRO）

11月14日～19日

敷地外へ突出した木々の伐採（松川林業）

11月18日 Waoランド寝室照明交換工事（文化電気）

11月25日 南米館ガスメーター取り換え工事
（名古屋プロパン瓦斯）

11月26日 敷地外へ突出した木の伐採（松川林業、
スーパーホモサピエンス）

11月28日 新アフリカ館冷蔵庫修理（ホシザキ）

11月28日 アフリカセンター配電盤工事（文化電気）

12月1日 アフリカセンター配電盤工事（文化電気）

12月1日 ギボンハウス寝室エアコン交換（藤克工業）

12月2日、3日、9日

ビジター裏（漏水箇所）埋め戻し

ヒヒの城バルブ修繕工事（エスジェイ）

12月2日、3日、10日

アフリカセンターエアコン増設工事（文化電気）

12月5日	くすのきの森エアコン交換工事(文化電気)	7月4日	クモザル放飼場～エコドーム危険木伐採
12月6日	軽トラックメンテナンス (アクセスコーポレーション)	7月7日	バックヤードスクイズケージ溶接
12月10日	ヒビの城副室エアコン設置工事(藤克工業)	7月17日	アフリカセンター屋内運動場扉穴補強
12月11日	アフリカセンターエアコンダクト延長工事 (日本キヤリア)	7月23日	ヒビの城寝室通路扉修理
12月17日	Waoランドminiエアコン交換工事(文化電気)	7月30日	ニホンザルの丘 ハチの巣駆除 モンキーバレイ寄附箱金具溶接
12月19日	南米館漏電による断線箇所復旧工事(文化電気)	8月13日	ヒビの城寝室シュート棒補修
12月22日	事務所2階エアコン取替工事(藤克工業)	8月15日	ヒビの城寝室間スライドシュート肘部分 溶接修繕
12月24日	デジタルセンタープレーカー交換工事 (文化電気)	8月16日	ニホンザルの丘寝室間扉等溶接修繕
12月24日	バックヤードKA 暖房ダクト延長追加 工事(藤克工業)	8月18日	アジア館 放飼場鉄板補修
12月25日	貯水槽(市水)壁面ヒビ補修(エスジェイ)	8月22日	くすのきの森階段修繕 タモ持ち手溶接
2026年1月7日	テナガ舎寝室シュートハンドル交換工事 (オイレス ECO)	9月3日	バックヤード隔離舎3連ケージ溶接補修
1月14日	アフリカセンター冷凍庫搬入(ライフ マークス)	9月5日	新アフリカ館寝室腕出し用間口設置作業
1月21日	エコドーム寝室ヒーター交換工事(文化電気)	9月10日	新アフリカ館寝室腕出し窓加工溶接
1月23日、27日、28日	アフリカセンター水道工事(三輪工業所)	9月16日～20日	リスザルの池脱出防止板切り出し、設置
2月3日	南米館冷蔵庫修理(Panasonic 産機)	9月22日	バックヤード屋外収容棟通路上トタン改修
2月6日	アフリカ館通路コンセント取替工事 (文化電気)	9月27日	テナガ・クモザルの池電柵補修
2月12日～14日、19日	ニホンザルの丘3重扉増設工事(後藤塗装)	9月27日、29日	ニホンザルの丘鉄材作成
2月18日	南米館給水管取替工事(渡辺工業)	10月2日、3日	リスザルの池 脱出防止パネルへの レスキューロープ設置
2月24日	バックヤード屋外収容棟散水栓補修工事 (三輪工業所)	10月7日	アフリカセンター体重計設置のため鉄板溶接
3月3日、6日	アジア館マグネットスイッチ交換工事 (文化電気)	10月9日	リスザルの島危険木伐採
3月10日	マダガスカル館漏電箇所調査と蛍光灯 交換工事(文化電気)	10月12日	リスザルの島排水桝の蓋作成(溶接)
3月16日	エコドーム横破裂水道管修理(三輪工業所)	10月17日	捕獲タモ溶接
3月24日	ニホンザルの丘給水栓増設工事(三輪工業所)	10月20日	ヒビの城寝室シュートのナット溶接取付
3月24日	リスザルの島給水管新設工事(小島施設)	10月21日～28日	市水漏水のため夜間断水
3月24日	アフリカセンター機械室高圧洗浄機交換 工事(洲本整備機製作所)	10月26日	ニホンザルの丘デッキ下 部屋間シュート作成
11. 施設修繕(自営作業、溶接など一部のみ)		11月3日	アフリカ館FA 暖房Vベルト交換
2025年4月1日	アフリカセンター 観覧通路鉄扉門溶接	11月6日	ニホンザルの丘デッキ下アングル製作取付
4月8日	南米館通路排水桝溶接外れ箇所修理	11月10日	南米館排水桝溶接補修、テント溶接修理
4月20日	アフリカ館ダクト溶接	11月17日、18日、23日	アフリカセンターゴリラ体重計鉄板溶接
5月3日	リスザルの島観覧デッキ木材交換	11月21日	Wao ランド 電撃機交換
5月5日	アフリカ館シュート取っ手溶接	11月28日	アフリカセンター寝室間鉄板外れ溶接修理
5月13日、14日	ヒビの城やぐら溶接	11月29日	新アフリカ館寝室屋内展示場間シュート補修
5月13日	クモザルの池浚渫	12月2日	モンキーバレイ池掃除
5月20日	アジア館真寝室アングル等溶接	12月5日	リスザルの島観覧デッキ2階板交換
5月23日	アジア館溶接外れ箇所補修	12月8日～30日	外周通路倒木処理
6月2日	南米館中型研究観察用カメラ取付パイプ設置	12月8日～30日	園路凸凹一部補修
6月4日、5日	モンキーバレイ放飼場外除草作業	12月9日	アフリカセンター寝室間間仕切り扉溶接修繕
6月15日	ヒビの城寝室間シュート扉溶接修繕	12月10日	みはらし広場枯れ木伐採
7月1日	クモザル放飼場、テナガ舎間伐木	12月20日	バックヤードスクイズケージ補修
7月3日、9日	バックヤードスズメバチの巣駆除	12月22日	アジア館カニクイザル寝室ヒーター設置
		12月25日	マダガスカル館 池清掃
		2026年1月5日、14日、21日	モンキーバレイ 杭打ち直し土留め補修
		1月11日	バックヤード屋外収容棟通路扉溶接補修
		1月12日	南米館 ホールシュート扉修理
		1月16日	モンキーバレイ やぐら補修
		1月17日	アフリカセンター寝室間鉄板溶接
		1月22日	アフリカセンター 予備室屋外運動場 土留め補修

1月27日、30日	ヒビの城移動ケージ用台溶接製作	③ 特定動物飼養・保管増減届出書（2025年度4月～6月分）の提出	2025年7月
1月30日	ヒビの城大型ケージシュートレバー修繕	④ 特定動物飼養・保管許可申請書（6種更新、2種許可申請、4種廃止）、特定動物識別措置実施届出書2種および特定動物飼養・保管増減届出書（2025年度7月～8月分）の提出	2025年9月
2月10日	エコドーム天井溶接外れ補修	⑤ 特定動物飼養・保管増減届出書（2025年度9月分）の提出	2025年10月
2月11日	アフリカセンター 寝室間ウインチ分解整備	⑥ 特定動物飼養・保管増減届出書（2025年度10月～12月分）の提出	2026年1月
2月20日、22日、23日、28日	モンキーバレイ土留め補修	⑦ 特定動物飼養・保管変更許可申請書の提出	2026年2月
2月23日	アフリカ館 放飼場移動のため檻一部補強	(2) 外来生物法関係（環境省中部地方環境事務所）	
2月24日	ギボンハウス床暖房および扉の溶接補修	① 特定外来生物の飼養等許可者の変更届出の提出（3種）	2025年4月
3月1日	アフリカセンター 観覧通路扉補修	② 特定外来生物飼養状況届出書の提出（3種）	2025年6月
3月4日、5日、6日	アフリカセンター ウインチのブレーキライニング交換	③ 特定外来生物使用許可内容変更届の提出	2025年9月
3月4日、5日、12日、17日	アフリカセンター 寝室ゴリラ腕出し小窓作成	(3) 獣医療法関係（愛知西部家畜保健衛生所尾張支所）	
3月5日	バックヤード屋外収容棟溶接外れ箇所補修 アフリカ館檻破損箇所溶接	① 飼育動物診療施設届出事項変更届の提出	2025年4月
3月7日、12日～14日、27日	モンキーバレイ 放飼場土留め補強	② 麻薬及び向精神薬取締法関係（江南保健所）	
3月8日	バックヤード屋外収容棟溶接外れ箇所補修	① 麻薬施用者免許申請の提出	2025年5月
3月16日、17日	ニホンザルの丘新設扉補強用部品作成	② 麻薬施用者免許更新申請書の提出	2025年10月
3月17日	エコドーム天井溶接	③ 令和7年度年間麻薬譲渡・譲受届の提出（麻薬管理者・研究者免許分）	2025年10月
3月18日	アジア館檻溶接外れ補修	④ 年間向精神薬輸入・輸出・製造届の提出	2026年1月
3月19日	テナガ舎天井フェンス補修	(5) 感染症法関係（厚生労働省および農林水産省）	
3月20日	アフリカ館シュート溶接	① 輸入サル飼育施設指定変更届出書の提出	2025年7月
3月27日	モンキーバレイ放飼場外側フェンス上部 碍子外れ復旧	② 輸入サル飼育施設指定申請書の提出（更新）	2025年8月
		③ 輸入サル飼育施設指定変更届出書の提出	2025年11月
12. 設備点検		(6) 家畜伝染病予防法関係 （愛知西部家畜保健衛生所尾張支所）	
2025年4月15日	貯水槽水質検査（愛知県薬剤師会）	① 定期報告書の提出	2026年3月
5月21日	ビジターセンター自動ドア定期点検 （ナブコドア）	(7) 道路法関係（愛知県一宮建設事務所）	
6月17日	電気設備点検（中部電気保安協会）	① 道路占用許可申請書の提出	2026年3月
6月24日	消防設備点検（ALSOK）	(8) 麻酔銃関連（犬山警察署）	
8月1日、8月29日	バックヤード外部放射線による線量 当量率測定（テクノ中部）	① 麻酔銃検査	2025年5月
9月4日	ガスボンベ点検（イワタニ東海）	② 麻酔銃従事者証追加申請書提出	2025年6月
10月6日	KA 暖房4か所点検（渡辺工業）		
10月7日	FA 暖房（アフリカ館）点検（株式会社 みやかわ）		
11月25日	ビジターセンター自動ドア定期点検 （ナブコドア）		
12月9日	消防設備点検（ALSOK）		
2026年2月6日	バックヤード外部放射線による線量 当量率測定（テクノ中部）		
2月18日	市水貯水槽清掃（輪栄工業）		
13. その他諸手続き			
(1) 動物愛護管理法関係（愛知県動物愛護センター）			
① 特定動物飼養・保管増減届出書（2024年度1月～3月分）の提出	2025年4月		
② 動物販売業者等定期報告届出書の提出	2025年4月		

(8) 研究会、講演会の開催

1. 研究会の開催

(1) 第70回プリマーテス研究会の開催

日程：2025年12月20日、21日

会場：ビジターセンター

共催：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス
リーディング大学院

参加者：会場参加70名（所員を除く）

内容：シンポジウム「野生とつながる動物園を考える」

口頭発表7題

ポスター発表17題

プログラム

2025年12月20日 第1日

13:30 開会

13:30～16:40 シンポジウム
「野生とつながる動物園を考える」

13:30～13:50
挨拶・趣旨説明
湯本貴和（公益財団法人日本モンキーセンター）

13:50～14:10
日本の動物園展示の未来に向けたいくつかのアイディア
綿貫宏史朗（公益財団法人日本モンキーセンター
学術部企画広報課）

14:10～14:40
新ゴリラ・チンパンジー舎建設における狙いと結果について
近藤裕治（名古屋市東山動植物園飼育第2グループ）

14:40～15:10
海外で見て、日本でつくる。我流展示づくりの実践
日橋一昭（那須どうぶつ王国/神戸どうぶつ王国）

15:10～15:25 休憩

15:25～15:55
野生動物の研究から動物園での「伝える」への展開
工藤宏美（京都市動物園生き物・学び・研究センター）

15:55～16:25
野生の大型類人猿研究から動物園の展示にどう参画・
助言するか
竹ノ下祐二（岡山理科大学動物学科）

16:25～16:40 質疑応答

16:50～17:20 ポスター発表 コアタイム①（奇数番号）

17:20～17:50 ポスター発表 コアタイム②（偶数番号）

18:00～20:00 懇親会

2025年12月21日 第2日

10:00～11:00 口頭発表①

O-1 霊長類の水分摂取量について
安達希¹、半谷吾郎²（¹京都大学理学研究科、²京都
大学生態学研究センター）

O-2 環境の違いが宿主の種よりも腸内細菌叢に強く影響
する—タイワンザルとニホンザルの比較研究—
南川未来¹、リーワンイ²、半谷吾郎²（¹京都大学生
態学研究センター、²京都大学大学院理学研究科）

O-3 ゴリラのあしあと ～とあるゴリラのお話～
赤井將太

O-4 伊谷純一郎資料にみる日本モンキーセンターの草創期
新宅勇太（京都大学野生動物研究センター、公益財団
法人日本モンキーセンター）

11:00～11:15 休憩

11:15～12:00 口頭発表②

O-5 ヒトの言語に認められる焦点化の程度の多様性
—サル及び他の動物の言語を考えるための試論—
星宏和

O-6 リニューアルした高宕山自然動物園と観察クラブの
活動
川本芳、丸橋珠樹、相澤敬吾、池田文隆、白井啓、
白鳥大祐、直井洋司（高宕山のサル観察クラブ）

O-7 霊長類における妊娠成立メカニズムの解明を目指し
た試験管内着床反応系の開発
松本翔馬^{1,2}、小原実穂³、山海直³、依馬正次^{2,4}
（¹大阪大学ヒューマン・メタバース疾患研究拠点
（WPI-PRIME）、²滋賀医科大学動物生命科学研
究センター、³国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養
研究所霊長類医科学研究センター、⁴京都大学ヒト
生物学高等研究拠点（WPI-ASHBI））

12:00 閉会

ポスター発表

P-1 2025年度モンキーキャンパス受講生有志による屋
久島研修ツアー
赤見理恵^{1,2}、江戸暢章²、牧原東吾¹、伊田智洋¹、
西野香緒里¹、山本達也¹、北原愛子¹、大栗靖代¹、
中村千晶¹、辰巳宏¹、湯本貴和²（¹日本モンキーセ
ンター友の会、²公益財団法人日本モンキーセンター）

P-2 動物福祉の向上を目的としたアジア館での取り組み
荒木謙太、浮瀬百々香、坂口真悟（公益財団法人日
本モンキーセンター）

- P-3 高齢・肥満・傷病個体に対するヒト用食品の適用
～お助け食品図鑑を作りたい!!～
石橋ゆき子¹, 中村千晶¹, 林直弘¹, 森香奈¹, 綿貫
宏史朗² (¹日本モンキーセンター友の会, ²公益財
団法人日本モンキーセンター)
- P-4 動物園の音環境に対する利用者の印象:年間アンケ
ート調査から見えること
打越万喜子^{1,2}, 赤見理恵², 綿貫宏史朗² (¹京都大
学ヒト行動進化研究センター, ²公益財団法人日本
モンキーセンター)
- P-5 ボリビアリスザルの群れ内に0歳個体が2頭いる場
合の infant handling
大井咲歩, 大野眞子(南山中学校女子部霊長類学入門)
- P-6 糖尿病のマンドリルの飼育管理について
奥村文彦¹, 武田直子¹, 江戸暢章¹, 小谷真智子¹,
武田康祐^{1,2}, 岡部直樹^{1,2} (¹公益財団法人日本モンキー
センター, ²京都大学野生動物研究センター)
- P-7 白内障を患った高齢クロキツネザルの終生ケアにつ
いて
川崎千穂, 阿野隆平(公益財団法人日本モンキーセ
ンター)
- P-8 アヌビスヒヒのオスにおける闘争抑制を目的とした
免疫学的去勢の効果
川原宇翔¹, 荒木謙太¹, 辻内祐美¹, 岡部直樹^{1,2}
(¹公益財団法人日本モンキーセンター, ²京都大学
野生動物研究センター)
- P-9 Decoding primate communication and emotion
through facial and bodily cues
Catia Correia-Caeiro, Takako Miyabe-Nishiwaki
(Center for the Evolutionary Origins of Human
Behavior (EHuB), Kyoto University)
- P-10 日本モンキーセンターにおけるシロガオオマキザル
とノドジロオマキザルの親子異種混合群形成の経緯
と経過
高田晃行, 坂口真悟, 星野智紀, 阿野隆平(公益財
団法人日本モンキーセンター)
- P-11 アビシニアコロブス4個体の生後90日齢までの行
動変化～個性いろいろ大家族～
竹内康江¹, 赤見理恵² (¹日本モンキーセンター友
の会, ²公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-12 日本モンキーセンターにおける飼育下霊長類の寿命
算出の試み
武田康祐^{1,2}, 綿貫宏史朗² (¹京都大学野生動物研究
センター, ²公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-13 単独飼育のアビシニアコロブスの再同居の試み
武田直子¹, 奥村文彦¹, 小谷真智子¹, 武田康祐^{1,2},
岡部直樹^{1,2} (¹公益財団法人日本モンキーセンター,
²京都大学野生動物研究センター)
- P-14 ニシゴリラの給餌内容について ～過去と現在を比
較して～
土性亮賀¹, 廣澤麻里^{1,2}, 田中ちぐさ¹, 川崎千穂¹,
星野智紀¹ (¹公益財団法人日本モンキーセンター,
²京都大学野生動物研究センター)
- P-15 オマキザル属2種の母子の同居による異種間社会行
動の変化
長崎汐音¹, 高田晃行², 綿貫宏史朗², 立脇隆文¹
(¹人間環境大学環境科学部, ²公益財団法人日本モ
ンキーセンター)
- P-16 スマトラオランウータン (*Pongo abelii*) 異母姉妹の
舌上皮組織2例の解析
中村千晶^{1,2}, 工藤朝雄¹, 添野雄一¹ (¹日本歯科大
学生命歯学部病理学講座, ²日本オランウータン・
リサーチセンター)
- P-17 ヤクシマザルの枝葉給餌と被毛改善
堀川晴喜, 赤見理恵, 奥村文彦(公益財団法人日本モ
ンキーセンター)

2. 講演会の開催

- (1) 干支講演会「ウマとヒトをつなぐ」
日程：2026年1月10日 11:00～12:00
講師：熊崎清則（ホースマンかかみが原）

3. シンポジウムの共催

- (1) 動物園学を考える会公開シンポジウム&
2025年第二回動物園研究会
「動物園学の可能性を考える 動物園学会の設立を目指して」
共催：動物園学を考える会
動物園研究会
(公財)日本モンキーセンター
後援：(公社)日本動物園水族館協会
中日新聞社
日程：2025年11月18日
方式：会場参加・オンライン参加のハイブリッド
会場：日本モンキーセンター ビジターセンターホール
- (2) 第7回 動物園水族館大学シンポジウム
「動物園・水族館が拓く未来の保全—生息域内外を
つなぐ新たな挑戦」
主催：京都大学野生動物研究センター
日程：2026年2月22日・23日
方式：会場参加・オンライン参加のハイブリッド
会場：滋賀県立琵琶湖博物館（滋賀県草津市）

4. 研究会の会場提供

- (1) 第39回日本大脳基底核研究会
主催：日本大脳基底核研究会
日程：2025年8月30日～8月31日
会場：日本モンキーセンター ビジターセンターホール

(9) 展示、保全、環境教育及び 社会普及活動に関わる人材の育成

1. 大学実習の受け入れ

- (1) 京都大学野生動物研究センター 野生動物・動物園科学
基礎論
内容：レクチャー、飼育実習、標本実習、
動物園教育実習など
日程：2025年6月20日～6月22日 2名
- (2) 中部大学応用生物学部 動物園基礎実習
内容：レクチャー、飼育実習、標本実習など
日程：2025年8月27日～8月29日 4名

2. 飼育研修の受け入れ 計3名

- (1) 国際動物専門学校
2025年5月11日～5月24日 1年生1名
- (2) モントリオール大学理学部
2025年7月1日～7月14日 1年生1名
- (3) 名古屋ECO動物海洋専門学校
2026年2月28日～3月13日 1年生1名

3. 名古屋ECO動物海洋専門学校 動物園飼育論校外実習の 受け入れ

計82名

- 2025年11月27日 40名
2025年12月25日 42名

4. 職場体験・インターンシップの受け入れ 計21名

- (1) 岐阜県立岐阜農林高等学校
2025年7月20日～7月21日 2年生1名
2025年7月25日～7月26日 2年生2名
2025年7月27日～7月28日 2年生2名
- (2) 大成高等学校
2025年7月31日～8月1日 2年生1名
2025年8月2日～8月3日 2年生2名
- (3) 岐阜県立加茂農林高等学校
2025年8月6日～8月8日（各日2名ずつ）
2年生3名
- (4) 東京都立園芸高等学校
2025年8月13日～8月15日 3年生1名
- (5) 愛知県立犬山総合高等学校
2025年8月21日～8月22日
1年生1名、2年生1名
- (6) 犬山市立城東中学校
2025年10月23日～10月24日 2年生2名
- (7) 岐阜市立岐阜中央中学校
2025年11月6日～11月7日 2年生1名
- (8) 各務原市立鵜沼中学校
2025年11月26日～11月27日 2年生2名
- (9) 犬山市立南部中学校
2025年12月3日～12月4日 2年生2名

5. 博物館実習の受け入れ 計11名

- (1) 三重大学
2025年7月28日～8月8日 4年生1名
- (2) 都留文化大学
2025年8月7日～8月18日 3年生1名

- (3) 人間環境大学
2025年8月7日～8月18日 4年生1名
- (4) 岡山理科大学
2025年8月21日～9月1日 3年生1名
- (5) 酪農学園大学
2025年8月21日～9月1日 4年生1名
- (6) 名城大学
2025年9月18日～9月29日 4年生1名
2025年10月3日～10月13日 4年生1名
- (7) 信州大学
2025年9月18日～9月29日 4年生1名
- (8) 北海道大学
2025年10月31日～11月10日 4年生1名
- (9) 帝京科学大学
2025年10月31日～11月10日 4年生1名
- (10) 愛知大学
2026年1月2日～1月12日 4年生1名

(10) その他

1. 友の会

会員数：1,052名（2026年3月31日時点）
うち、サポート会員 283名

年会費：サポート会員 5,000円以上
大人（高校生以上） 4,000円
小中学生 2,000円
幼児（3才以上） 1,500円

(1) モンキーセンター友の会 NEWS LETTER の発行
Vol. 12-1（通巻第23号）2025年9月15日 発行
Vol. 12-2（通巻第24号）2026年3月14日 発行

(2) 友の会のつどいの開催

① 第21回

日程：2025年4月6日 10:30～12:00

会場：ビジターセンターホール

（収録動画を会員限定ページで公開）

内容：講演「世界の森と霊長類を訪ねて」

湯本貴和（日本モンキーセンター所長）

JMC 活動報告

ノドジロオマキザルの人工哺育の取り組み

高田晃行

フランソワルトン人工哺育の事例報告

浮瀬百々香

モンキーキャンパスサークル活動報告

② 第22回

日程：2025年10月12日 13:30～15:00

会場：ビジターセンターホール

（収録動画を会員限定ページで公開）

内容：講演「人間社会の起源～ボノボ社会からの類推～」

伊谷原一（日本モンキーセンター理事長）

JMC 活動報告

オマキザルの新たな群れづくり

高田晃行

空調クラウドファンディング

南米館

坂口真悟

動物病院・バックヤード

藤森唯

犬山フルまちミュージアム 2025 企画展紹介

(3) サポーター専用ページの運用

2017年4月1日より運用開始

2025年度中に記事 11 本を公開

2. 日本モンキーセンター団体協賛制度

2022年4月9日より運用開始

協賛団体（2026年3月現在）

天野エンザイム株式会社

株式会社畑中建築事務所

株式会社フェイスワン

3. 日本モンキーセンター大学等賛助会員制度

会員校（2026年3月現在）

中部大学

名古屋 ECO 動物海洋専門学校

中部学院大学

人間環境大学環境科学部フィールド生態学科・

環境データサイエンス学科

4. オンラインサロン「猿分補給」

2021年3月6日より運用開始

登録メンバー数：133名（2026年3月31日時点）

月額会費：1,000円以上

プラットフォーム：

CAMPFIRE

ブログ「飼育の部屋」（限定記事を公開）

Discord

内容：飼育員による限定記事配信

オンライン交流会の開催など

5. 会議・研修

(1) 日本動物園水族館協会

① 令和7年度通常総会

日程：2025年5月21日～5月22日

会場：ホテルアソシア豊橋（愛知県豊橋市）

下村実、綿貫宏史朗

② 令和7年度生物多様性委員会テナガザル類計画推進会議

日程：2025年6月18日～19日

場所：沖縄こどもの国（沖縄県沖縄市）および

オンライン

綿貫宏史朗（19日のみ、現地参加）

辻内祐美、奥村文彦、堀川晴喜（オンライン）

③ 令和7年度第2回生物多様性委員会（三部合同会議）

日程：2025年6月26日～27日

場所：東京都井の頭自然文化園（東京都武蔵野市）

綿貫宏史朗

④ 令和7年度アマミトゲネズミ飼育管理検討会議

日程：2025年7月22日～23日

場所：熊本市動植物園（熊本県熊本市）

綿貫宏史朗

⑤ 令和7年度オガサワラカワラヒワ保護増殖事業検討会（第1回）

日程：2025年8月7日

場所：オンライン

綿貫宏史朗

⑥ 令和7年度第1回希少野生動物の生息域外保全に関する連絡会議

日程：2025年8月25日

場所：オンライン

綿貫宏史朗

⑦ 令和7年度生物多様性委員会スローロリス・

マーモセット類計画推進会議

日程：2025年8月28日～29日

場所：静岡市立日本平動物園（静岡県静岡市）

発表：話題提供「霊長類の社会的エンリッチメントと

混合飼育について」（綿貫）

綿貫宏史朗、高田晃行

⑧ 令和7年度第1回生物多様性委員会シシオザル計画

推進会議

日程：2025年9月5日

場所：オンライン

綿貫宏史朗、荒木謙太、浮瀬百々香

- ⑨ 令和7年度生物多様性委員会ニシローランドゴリラ計画推進会議
 日程：2025年9月10日～11日
 場所：東山動植物園動物会館（愛知県名古屋）
 およびオンライン
 綿貫宏史朗（10日現地、11日オンライン）、
 田中ちぐさ（現地）、武田康祐（オンライン）
- ⑩ 令和7年度生物多様性委員会霊長類作業部会
 日程：2025年10月1日～2日
 方式：オンライン
 綿貫宏史朗
- ⑪ 令和7年度第1回ハカタスジシマドジョウ保全検討連絡会議
 日程：2025年10月27日
 場所：一般財団法人九州環境管理協会（福岡県福岡市）
 およびオンライン
 綿貫宏史朗（オンライン）
- ⑫ 令和7年度生物多様性委員会小型鳥類作業部会
 日程：2025年10月29日～30日
 場所：豊橋総合動植物公園（愛知県豊橋市）
 およびオンライン
 綿貫宏史朗（29日オンライン、30日現地）
- ⑬ 第24回種保存会議
 日程：2025年12月5日～7日
 場所：新横浜プリンスホテル（神奈川県横浜市）
 綿貫宏史朗
- ⑭ 令和7年度第1回トゲネズミ類生息域外保全検討作業部会
 日程：2025年12月22日
 方式：オンライン
 綿貫宏史朗
- ⑮ 令和7年度宮古諸島の希少種保全・外来種問題に係る連絡会議
 日程：2025年1月16日
 方式：オンライン
 綿貫宏史朗
- ⑯ ハカタスジシマドジョウの飼育等に関する技術交流会
 日程：2026年1月19日～20日
 場所：熊本市動植物園（熊本県熊本市）および
 マリンワールド海の中道（福岡県福岡市）
 綿貫宏史朗
- ⑰ 第1回オガサワラカワラヒワ検討会
 日程：2026年1月27日
 方式：オンライン
 綿貫宏史朗
- ⑱ 令和7年度ミヤコカナヘビ飼育管理検討会議
 日程：2026年2月3日
 場所：東京都恩賜上野動物園（東京都台東区）
 綿貫宏史朗
- ⑲ 令和7年度タンゴスジシマドジョウの生息域外保全の実施に向けた連絡会議
 日程：2026年2月9日
 方式：オンライン
 綿貫宏史朗
- ⑳ 令和7年度第2回希少野生動物の生息域外保全に関する連絡会議
 日程：2026年2月10日
 場所：東京都恩賜上野動物園（東京都台東区）
 綿貫宏史朗
- ㉑ 令和7年度第2回ハカタスジシマドジョウ保全対策連絡会議
 日程：2026年2月10日
 方式：オンライン
 綿貫宏史朗（上野動物園から接続）
- ㉒ 令和7年度第2回トゲネズミ類生息域外保全検討作業部会
 日程：2026年2月16日
 方式：オンライン
 綿貫宏史朗
- ㉓ 令和7年度第2回ライチョウ飼育管理検討会議
 日程：2026年2月18日
 方式：オンライン
 綿貫宏史朗
- ㉔ 令和7年度生物多様性保全の推進に関する連絡調整会議
 日程：2026年2月27日
 場所：環境省（東京都千代田区）
 綿貫宏史朗
- (2) 日本動物園水族館協会中部ブロック
 ① 令和7年度第1回中部ブロック園館長会議
 日程：2025年4月17日
 会場：静岡市産学交流センター B-nest（静岡県静岡市）
 およびオンライン
 下村実（現地参加）、綿貫宏史朗（オンライン）
 ② 令和7年度第2回中部ブロック園館長会議
 日程：2025年10月6日～10月7日
 会場：飯田市地域交流センター（長野県飯田市）
 およびオンライン
 綿貫宏史朗（園長代理：オンライン）
- (3) 愛知県博物館協会
 ① 令和7年度愛知県博物館協会総会
 日程：2025年6月19日
 場所：名古屋市科学館（愛知県名古屋市）
 高野智
 ② 令和7年度愛知県博物館協会職員研修会
 日程：2026年2月5日
 場所：愛知県陶磁美術館（愛知県豊田市）
 新宅勇太
- (4) 令和7年度EHUB-JMC-KS 獣医師合同カンファレンス（Zoomによるオンライン開催）
 ① 第1回合同カンファレンス
 日程：2025年4月10日
 岡部直樹、小谷真智子
 ② 第2回合同カンファレンス
 日程：2025年6月12日
 報告：JMCにおける扁平上皮癌7症例（岡部）
 非ヒト霊長目における繁殖および闘争抑制効果の検証（小谷）
 岡部直樹、小谷真智子
 ③ 第3回合同カンファレンス
 日程：2025年7月8日
 報告：カニクイザルにおける卵巣癌を疑う一例（岡部）
 ニホンザルにおける慢性心不全の一例（小谷）
 岡部直樹、小谷真智子
 ④ 第4回合同カンファレンス
 日程：2025年9月11日
 報告：JMCにおける心疾患3症例（岡部）
 ニホンザルにおける慢性心不全の経過報告（小谷）
 岡部直樹、小谷真智子

⑤ 第 5 回合同カンファレンス

日程：2026 年 3 月 13 日、3 月 24 日

報告：ニホンザルおよびワオキツネザルの 3 症例に

対する反省と考察（岡部）

フクロテナガザルにおける食欲不振の一例

（小谷） 岡部直樹、小谷真智子

6. 助成金

(1) 一般財団法人日本宝くじ協会

令和 7 年度公益法人等が行う公益事業への助成対象事業

事業名：子育て世代が利用しやすい博物館 / 動物園の

ためのベビーカー設置

助成額：638,000 円

実施内容：ベビーカー 20 台を新規購入

入園ゲートでの無料貸し出しを開始

(2) 船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

海の企画展サポート（2025 年度）

代表者：赤見理恵

事業名：海とサルの交わる場所

実施内容：特別展および関連イベントの開催

7. その他

(1) あいちサイエンスフェスティバル 2025 第 1 回実行委員会

日程：2025 年 6 月 11 日

方式：オンライン開催 高野智

(2) 動物取扱責任者講習

日程：2026 年 1 月 23 日

場所：春日井市民会館（愛知県春日井市） 綿貫宏史朗

(3) あいちサイエンスフェスティバル 2025 第 2 回実行委員会

日程：2026 年 3 月 5 日

方式：オンライン開催 高野智

II 収益事業

(1) 動物園における物品並びに飲食物販事業

1. ミュージアムショップの運営

- 場所： ビジターセンター内
取扱商品： 書籍、海外民芸品、美術作品、
オリジナル雑貨、菓子類、委託販売品等
新規商品の開発：
フォトブック、甲子園関連グッズ
山極壽一前理事長監修ゴリラぬいぐるみなど

2. 他企業との商品開発

(1) 澤田酒造（愛知県常滑市）

- オリジナルラベル商品の販売
第11弾：「白顔酒」 2025年10月3日～
第12弾：「ころころ」 12月20日～
「タロウさんとこのみかんのおさけ
2025ver.」 2025年4月20日～
「爛猿 2026ver.」 11月29日～

(2) GMO ペパボ株式会社

- オンラインサイト SUZURI にてオリジナルデザイン
商品のオンデマンド販売（衣料品、スマホケースなど）

(3) LINE 株式会社

- クリエイターズスタンプの販売

(4) Amazon

- Merch by Amazon にてオリジナルデザイン商品の
オンデマンド販売（日・米・独・伊で展開、衣料品）

(5) 柳沢製茶かつき園（鹿児島県志布志市）

- オリジナルラベル商品の販売

(6) 和ここ（愛知県犬山市）

- 奇跡のミカンを使った米粉フィナンシェの販売
2026年2月14日～

(7) 竹田本社（愛知県犬山市）

- オリジナルラベル商品の販売

(8) 森のマルシェ Passport（愛知県犬山市）

- オリジナルラベル商品の販売

3. 自動販売機の設置

- オリジナルラッピングを施した自動販売機を
園内15か所に設置

4. YouTube 動画配信の収益化

- 広告およびスーパーチャットの導入

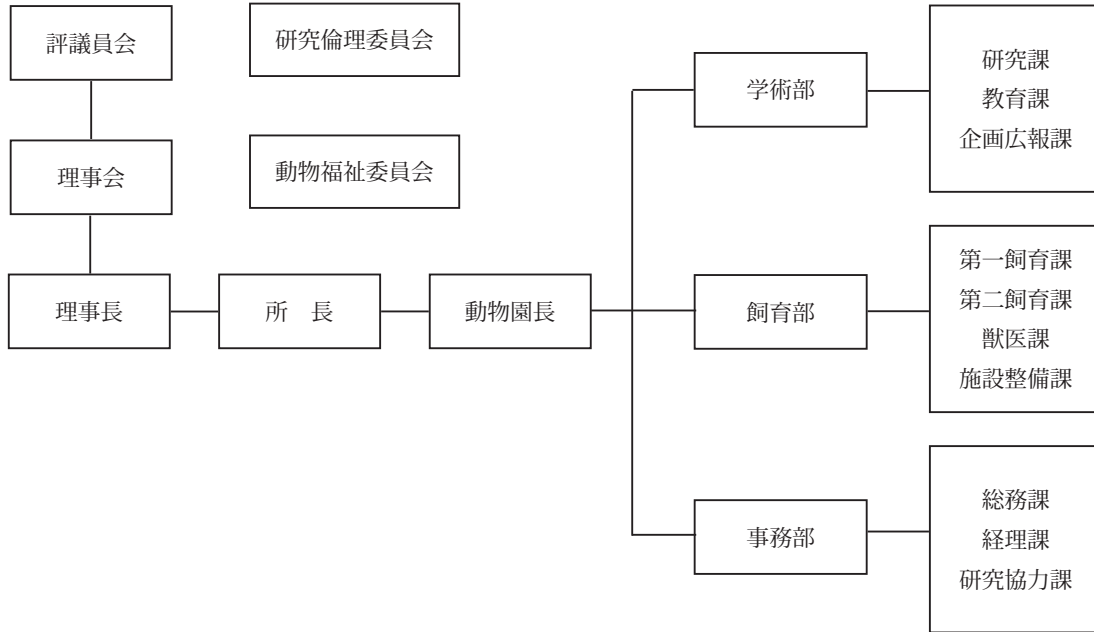
(2) 所有する土地・建物の賃貸事業

1. 犬山市大字犬山字官林他 土地建物
賃貸先：京都大学
目的：サルの飼育・繁殖・観察並びに教育研究
2. 犬山市大字善師野字小野洞他 土地
賃貸先：京都大学
目的：サルの飼育・繁殖・観察並びに教育研究
3. 犬山市大字犬山字官林 建物
賃貸先：京都大学
目的：教育等
4. 犬山市大字犬山字官林（JMC管理棟） 建物
賃貸先：（株）名鉄インプレス
目的：日本モンキーパークの運営
5. 犬山市大字犬山字官林 駐車場施設
賃貸先：（株）名鉄インプレス
目的：駐車場
6. 犬山市大字犬山字官林 土地
賃貸先：グレー株式会社
目的：太陽光発電

III 総務

(1) 組織

1. 組織図 (2025年3月31日現在)



2. 役員 (2026年3月31日現在、50音順、敬称略)

理事長		
伊谷 原一	京都大学名誉教授	
常務理事		
湯本 貴和	日本モンキーセンター 所長 日本フードスタディーズカレッジ 学長	
中村 美知夫	京都大学大学院理学研究科 准教授	
明和 政子	京都大学大学院教育学研究科 教授	
理事		
牛田 一成	中部大学創発学術院 卓越教授	
加藤 悟司	名古屋鉄道株式会社 常務執行役員	
坂本 英房	京都市動物園 動物園シニアアドバイザー	
下村 実	日本モンキーセンター 動物園長	
長谷川 壽一	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 参与	
吉川 泰弘	共和化工株式会社環境微生物研究所 所長	

監事		
安達 宗徳	名古屋鉄道株式会社 常任監査役	
中野 雄介	清友税理士法人 代表	
評議員		
今井 啓雄	京都大学ヒト行動進化研究センター副センター長	
小川 秀司	中京大学国際教養学部 教授	
川上 文人	中部大学人文学部 准教授	
川本 祥子	国立遺伝学研究所 准教授	
齋藤 亜矢	京都芸術大学文明哲学研究所 教授	
鷺見 勝彦	株式会社名鉄インプレス 代表取締役社長	
田中 正之	京都市動物園 生き物・学び・研究センター長	
茶谷 公一	名古屋市東山動物園 園長	
村山 美穂	京都大学野生動物研究センター 教授	
平田 聡	京都大学野生動物研究センターセンター長	

3. 職員 (2026年3月31日時点)

理事長

伊谷 原一 (京都大学名誉教授)

所長

湯本 貴和 (京都大学名誉教授)

動物園長・飼育部長 (兼任)

下村 実

学術部長・研究課長

林 美里 (中部学院大学・教授)

事務部長

三島 昭吾

学術部

綿貫 宏史朗 企画広報課長
 高野 智 エドゥケーター
 赤見 理恵 エドゥケーター
 新宅 勇太 キュレーター
 (京都大学野生動物研究センター・特定准教授)
 江藤 彩子 エドゥケーター・事務部兼任
 徐 沈文 広報補佐員
 田中 ちぐさ 飼育部兼任
 打越 万喜子 研究員(京都大学ヒト行動進化研究センター・
 非常勤研究員)

國枝 匠 研究補助員
 (京都大学野生動物研究センター・技術補佐員)

飼育部

岡部 直樹 獣医課長・獣医師・病院長
 (京都大学野生動物研究センター・特定研究員)
 星野 智紀 第一飼育課長
 辻内 祐美 第二飼育課長
 坂口 真悟 施設整備課長
 阿野 隆平
 荒木 謙太
 浮瀬 百々香
 江戸 暢章
 奥村 文彦
 武田 康祐 獣医師・学術部兼任
 (京都大学野生動物研究センター・特定研究員)
 川崎 千穂
 川原 宇翔
 小谷 真智子 獣医師
 高田 晃行
 武田 直子
 土性 亮賀
 廣澤 麻里 (京都大学野生動物研究センター・特定研究員)
 藤森 唯
 堀川 晴喜
 宗像 大和
 木村 陽子
 柴田 彩子

事務部

安倍 由里香
 今井 由香
 根本 真菜美
 大岡 幸男
 阪倉 若菜 学術部兼任
 仙石 久子
 大坊 早苗
 鈴木 かさね

(2) 人事

1. 役員変更

理事長 伊谷 原一	2025年4月1日就任
常務理事 明和 政子	2025年4月1日就任
理事 坂本 英房 古橋 幸長 加藤 悟司	2025年4月1日就任 2025年6月19日辞任 2025年6月26日就任
監事 松下 明 安達 宗徳	2025年6月19日辞任 2025年6月26日就任
評議員 川上 文人 細江 航 茶谷 公一	2025年4月1日就任 2025年6月19日辞任 2025年6月19日就任

2. 採用

2025年4月1日付	
所長	湯本 貴和
事務部長	三島 昭吾
学術部	徐 沈文
飼育部	小谷 真智子

3. 着任

2025年4月1日付	
学術部 研究員	打越 万喜子

4. 退職

2026年2月28日付	
飼育部	奥川 みらい

(3) 総務

1. 理事会、評議員会の開催

- (1) 第30回公益財団法人日本モンキーセンター理事会
日程：2025年6月4日
- (2) 第17回公益財団法人日本モンキーセンター
定時評議員会
日程：2025年6月19日
- (3) 第31回公益財団法人日本モンキーセンター理事会
日程：2026年3月6日
- (4) 第18回公益財団法人日本モンキーセンター
臨時評議員会
日程：2026年3月20日（みなし決議）

2. 訓練の実施

- (1) 大型類人猿脱出時対策訓練（捕獲訓練）
2025年12月9日

(4) 寄附

1. 寄附受領

(1) 寄附金の受入

別紙議事のとおり

(2) 寄附物品の受領

① 動物用飼料の寄附

年間で 88 品目、331 件以上を受領

② Amazon ほしいものリストの運用

2019 年 4 月 25 日運用開始

③ 中古でもいいからほしいものリストの掲載

2019 年 8 月 20 日開始

④ その他寄附物品の受領

(3) 株式会社 OHANA「Hello! OHANA」

生産者から直送される飼料を Web サイトを通じて寄附
動物の採食動画を返礼として受け取るサービス

2023 年 10 月 1 日開始

(4) クラウドファンディング

① 空調クラウドファンディング第一弾

南米館ホールのエアコンを新しくしたい

期間：2025 年 5 月 26 日～2025 年 6 月 17 日

目標金額：1,900,000 円

支援金額：1,901,000 円

2025 年 7 月 1 日 エアコン搬入・設置

② 空調クラウドファンディング第二弾

動物病院&バックヤードの大型暖房機を

買い替えたい！！

期間：2025 年 8 月 3 日～2025 年 9 月 6 日

目標金額：2,500,000 円

支援金額：2,718,000 円

2025 年 10 月 30 日・31 日 暖房機搬入・設置

令和 7 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

令和 8 年 6 月

公益財団法人日本モンキーセンター